

2013年春セミナー



～沖縄講演録～

「最終時代における神の真の伝道方法」

講師：デイビッド・カン／ソン・ケムン／金城重博

2013 春セミナー

最終時代における神の真の伝道方法

～ 沖縄講演録 ～

ディビッド・カン
ソン・ケムン
金城重博

目次

Contents

講義 1 「翼を広げなさい」	1
講義 2 「神の友」	7
講義 3 「後の雨の聖霊を受けるための四つの条件」	15
講義 4 「日は延び幻はむなしく」	22
講義 5 「神の火」	31
講義 6 「仲保者なしに」	40
講義 7 「いま悔い改めなければならぬ」	47
講義 8 「霊的な心」	53
講義 9 「救いの方程式」	60
一般公演 1 「3つの災い」	66
一般公演 2 「偽福音の欺瞞を暴露する」	77
一般公演 3 「獣の刻印」	87

※ 2013 年春季に行われたサンライズミニストーリーでの講演内容を収録したものです。

講義 1

「翼を広げなさい」

ソン・ケムン

愛する日本の兄弟姉妹たち、天
で私たちが会う前にこの地で
会えたことを感謝します。今日は、「翼
を広げなさい」という題でお話ししま
す。ヨハネ黙示録 14：6 「14:6 わた
しは、もうひとりの御使が中空を飛ぶ
のを見た。彼は地に住む者、すなわち、
あらゆる国民、部族、国語、民族に宣
べ伝えるために、永遠の福音をたず
さえてきて、」この言葉をご存じだ
と思います。この天使は誰でしょうか？
本当の天使ではなく、このメッセージ
を伝える人々です。飛んでいるとい
うのは実際に飛んでいるのではなく、
迅速で、効果的に伝えるということ
です。飛ぶ前にすることがあります。
私たちが地上につながっているひも
を断ち切らなければなりません。私た
ちはこのひものせいで空を飛ぶこと

ができません。このひもとは何でしょ
うか？皆さんは日本での希望です。命
の水がこの国に流れるようにしなけ
ればなりません。イエス・キリスト
をこの国に伝えなければなりません。
偽りの教えを全て断ち切らなければ
なりません。福音を伝えなければなり
ませんが、このひもがそれを邪魔して
います。皆さんがこの翼を広げられな
いようにしているひもがあります。み
なさんを縛り付けているそのひもは
なんでしょうか？ある人にとっては、
そのひもは傲慢、利己心、自分の子ど
も、夫、妻などです。これらが飛べな
いように私たちをしばっているのだ
です。まず切らなければならぬものが
まだあります。それは何でしょうか？
それは SDA という一つの幻です。教
団に対する盲目的な従順です。ある人
は SDA は最後の教会だから、何が何
でもこの教団に留まらなければなら
ないと思っています。SDA とともに働
かないことは誤りだと考えます。こ
のような考えを断ち切らなければ、私
たちは中空を飛ぶことは出来ません。
このことをもう一度考えて頂きたい
と思います。まだこのことを理解でき
ない人もいるかもしれません。しか
し、聖霊に従うならば、このことが何
のことか分かるでしょう。私は SDA
を愛しています。この中で起こって
いる理解できないいろんなことで私
は心を痛めていました。仕事も出来
ず、眠る

こともできませんでした。泣きながら主に嘆願しました。妥協している教会の姿を見て悲しんだ経験をしたことはありますか？エルサレムで行われていることに対して嘆き悲しんでいない人は黙っていてもいいです。ある方は、SDAはバビロンだから、そこから出なさいと言います。だから新たな組織が必要だと言います。しかし、それは神の御心ではありません。私たちはSDAから真理を学び、ここまで来ることが出来ました。しかし、なぜ、SDAはここまで落ちてしまったのでしょうか？何よりも私たちは飛ばなければなりません。そのために縄を断ち切らなければなりません。画面の向こうで説教を聞いている人達はこのメッセージを吟味していただきたいのです。韓国も日本も指導者たちが至聖所のイエス様を否定しています。この日曜休業令はエレン・ホワイトが昔のことを言っているのものであって、現代には関係ないことだということです。デスモンド・フォードは2300日を間違っただと表現しています。SDAが他の教会と違うところは何でしょうか？基礎教理の52%は他の教派と同じものです。プロテスタントの中には保守的な教理を持っている人々もいます。人が死んだら、眠るといふ教会、安息日をまもる教会があります。91%のSDAは他の教派と同じだという結論になります。9%だけ

が他の教派と違うものです。それは何でしょうか？それこそ、SDAのアイデンティティーであり、他からカルトと非難される原因になっています。その教理は、御子が天の至聖所で行われる審判です。他教派との3つの違いをサタンは壊そうと試みています。韓国やアメリカだけでしょうか？日本もそうではないでしょうか？SDAの中で想像しにくいことが行われています。このことを見て再臨は近いと感じます。なぜこのようなことが起きているのでしょうか？

ライトフォーライフでアルベルト・リベラ神父を呼んでセミナーを開きました。この人は7歳からイエズス会に入って学んでいました。14年間を経て、27年間プロテスタントを抹殺する働きに携わりました。そして、聖書の真理に触れました。そしてその後イエズス会の陰謀を暴露する働きを始めました。全世界を巡って、法王教の誤りを伝えました。結局、その結果、暗殺されました。彼の妹も暗殺されました。

イエズス会はまず最初にSDAに入り、それからバプテスト、メソジスト、長老教会、ルーテル教会に侵入しました。彼らはSDAの神学

を突き崩そうとしました。マリア会、
コロンボス団、SDA を狙ったカトリッ
クの働きは当然です。SDA はカトリッ
クの欺瞞を暴露したからです。イエズ
ス会が出版や、いろんな働きに浸透し
ています。ホワイト夫人を知っている
と言っていました。自分の身分を隠し
ている神父がいます。アメリカではワ
ラワラ大学があります。リベラ博士は
そこに招かれてセミナーをしようと
しましたが、邪魔されてできなくな
りました。通知が来て、彼に話させるな
と言ったそうです。

ウォルターマーティンもイエズ
ス会と言われています。サム
エル・バキオキ先生もイエズス会と言
われています。どこの教会よりもイエ
ズス会が一番浸透しているのは SDA
と考える人もいます。

沸いているお湯にカエルを入れ
ると、カエルは跳んで逃げま
す。一番適切な温度にカエルを入れる
と逃げませんが、だんだん温度を上げ
ると死にます。

最近、プロテスタント牧師たち
への伝道に励んでいます。が、
ある牧師に SDA はフリーメイソンで
しょ？といわれました。SDA の歩み

方がフリーメイソンの道に見えるか
らだと言っていました。

WCC (世界キリスト協議会)
は同性愛者にも聖職を与え
ます。共産主義、これもイエズス会
が広めています。インターネットで
WCC の働きを見て頂きたいです。こ
れはカトリックから発信されて、全
世界のキリスト教会を一つにする目
的を持っています。しかし、SDA は
WCC に参加してはいけないのに、
もっとも密接な関係を持っています。
WCC の公的な文書も持っています。
私は決して教会を非難しているの
ではないのです。SDA が本当に目を覚
ましてほしいと思っているのです。皆
さんは大贖罪をご存じですね。大贖罪
の日の前にラッパの祭りがあります。
大贖罪が来るので、目を覚まさない
、準備しなさい、悔い改めなさい
とラッパを鳴らすのです。その為に
罪を捨てます。天の父が用意したラッ
パがありました。ペテロは自信満々
で、自分の霊的状态を知りません
でした。ペテロのために天父が用意
したラッパは鶏でした。それを聞いて、
彼は神に屈服しました。教会の背教を
警告する声、これが鳴らされるとき、
悔い改めるために、鶏の声を聴かな
ければなりません。わたしが SDA と
共に協力して働くのはいいことです。

しかし、初めは SDA がこのように病んでいることを知らず、SDA と協力して働こうと思っていました。多くの人は今もそう考えます。そのことを私は理解できます。私もそう考えていたからです。SDA の福音こそ、私を変え、力を与え、キリストを知らせてくれたので、これこそ真の教会だと思っていました。あの人にこの福音をのべ伝えたいので、私たちが SDA と良い関係を持つと福音をのべ伝えやすいと考えます。韓国では SDA はライトフォーライフをととても嫌います。私は SDA と協力しようと努力してきました。私を教えて下さった先生方にも手紙を書きました。協力することを願っていますと書きました。話し合いを持つこともお願いしました。教団に従いますから、私たちの願いを聞いて下さいと手紙を書きました。カン先生はそういうことをやっても無駄だよと言われました。アメリカでそれは経験済みだったそうです。でも私は経験してなかったので、やりました。手紙の返事が来ました。ライトフォーライフをあきらめるなら、みなさんと協力できるよ。との内容でした。私はライトフォーライフの働きを選びました。SDA はバビロンではありません。SDA はそれなりの役割があります。私たちが SDA と協力しないことは間違いでしょうか？私たちが SDA から離れたのではありません。SDA が私たちか

ら離れたのです。私たちは崖っぷちに立たされて落ちる寸前に羽が与えられました。皆さんにもそのような経験をしていただきたいのです。いくら立派なことをしていても、教会につながっていなければカルトだと言われました。このような立場にある人は私たちだけだと思っていました。しかし、日本にもそのような動きがあることを今回知りました。これは 80 年代からアメリカでこの動きがあったのでした。多くの雑誌を見て、教会の妥協を見て、心を痛めました。危機感をもった牧師たちは、教会を覚醒するかわりに自分の働きを始めました。そして彼らは教会から除名されてしまったのでした。彼らは独立教会だと初めから思っていたのではありません。彼らは教会として認めて下さいとお願いしましたが、教団は認めませんでした。そして、独立した状態が続いてしまいました。ラジオの放送で、大争闘の内容を放送しました。カトリックはこの放送を妨害しようとしてきました。多くの SDA 信者は彼らと共に教会からでました。そして、大争闘に書かれているように三天使の使命を伝えました。そしてカトリックから抗議を受けました。そのような人たちを異端として見てはいけません。私たちは罪を罪だと言わなければなりません。磁石が南北を指示して変わらないように、良心が義務に忠実な人に私たちはな

らなければなりません。エゼキエル9章にあるように、エルサレムで行われていることを悲しんでいる人を見て、教会非難だと非難されます。罪を指摘すると、譴責されます。エリヤもそうでした。彼はイスラエルを悩ます者と非難されました。使徒パウロも神殿を汚す者と非難されました。真理に対して忠実である時、いつもカルトであると非難されます。しかし、それを恐れて黙っているべきでしょうか？ 11時（5時）の働きをするのは誰でしょうか？ SDAの本当に生まれ変わった信者です。ただの盲目的な教会を打ち壊さなければなりません。彼らこそ、11時の働き人を呼び集めなければなりません。私はここに来てびっくりしました。生まれ変わったSDAが沢山いるからです。働きの最初の条件が整ったと思いました。イエス・キリストの弟子であっても、使徒パウロを理解できませんでした。彼を理解するのに教会は時間がかかりました。先入観を打ち壊して、ライトフォーライフの働きを皆さんは既に理解しておられると思います。働きはライトフォーライフを通して本当になされているのでしょうか？ SDAの中にもライトフォーライフの働きを理解しています。彼らは言います。絶対にSDAと協力してはいけません。このまま続けて下さいと私に頼んできます。アメリカは独自で伝道する機関は30くら

いありますが、本当に神の御心になつたところは10位だと私は思います。韓国には2つくらいでしょうか？ 日本はいくつあるでしょうか？ 何よりも真理を持ったミニストリーがあるべきです。真理を伝える真のミニストリーが必要です。皆さんはこのミニストリーを発展させることに関心があるでしょうか？ そして魂を導くのに関心があるでしょうか？ ミニストリーを発展させることに関心があるのか反省すべきです。魂を導くのに関心があるべきです。私はお祈りします。真理を伝える人がいるならば、彼らを用いて下さいと。真理をのべ伝える人やグループに会うのが何よりもうれしいです。私たち以外にこの真理を伝える人たちに会えることはどんなに感謝でしょうか？

あるプロテスタントの牧師が私たちと同じ真理をもったのですが、私たちに信者のリストを欲しいと連絡がありました。私は葛藤しました。私たちが成し遂げたことなにと。しかし、真理が伝わることに心が燃えてきて、「彼は必ず栄え、私はおとろえる」という精神が湧きあがってきました。日本のあちこちで真理を伝えるミニストリーが現れることを皆さんも願いましょ。イスカリオテのユダにならないように気

を付けましょう。働き人の中に一人でもそのような人がいるならば、その働きは滅びるでしょう。イエスの再臨が間もなくあると毎日聞きながらも、イチジクの葉を見て、夏が近いことがわかるように、世の動きが私たちに時を教えてくれています。みなさんをつないでいる綱はなんですか？この綱を断ち切って、高く飛び上がって、自分の翼を広げなければなりません。ウェスレーは「10人の青年を与えて下さい」とお祈りしました。天のお父様が皆さんを通して、日本の歴史を締めくくるでしょう。日本のリバイバル(復興)を願います。お祈りします。「天のお父様、私たちはあなたの為に命も捨てる準備ができるように助けて下さい。日本にこの火が広がるように助けて下さい。主の御救いを望むものたちに、水が海を覆うように覆ってください。このミニストリーとともに働きを促進させてくださり、ねむっている魂を起こさせ、イエス様を紹介できますように。主に従います。聖霊の力を注いでください。再び来られる、イエス様の名によってお祈りいたします。」アーメン

講義 2

「神の友」

デイビット・カン

昨年、心臓の大手術をしました。もうダメかと思いましたが、復活できて沖縄に来れた事を心から感謝しています。皆さん一人一人の心に聖霊が宿られますように祈ります。皆さんの心がイエス様のおいでに準備できるようにと願っています。私がこうしてみなさんの前に立っているということは、神さまの奇跡です。死んでもおかしくなかった状況から神様が私に新しい命を与えて下さいました。私の人生にあのような奇跡を起こしてくれた神様なら、皆様にも新しい霊的な奇跡を起こしてくれると思います。健康状態のために話すときは座らせて頂くことをご了承ください。心臓のみならず足もやけどをしてしまいましたので。

非常に単純かつ最も重要な事柄を聖書から話します。私の話を聞く皆さんは、アブラハムの子孫であるということを、考え直す必要があります。皆さん天国に行きたいなら皆さん一人一人がアブラハムの子孫と

なる必要があります。天の教会の一員として永遠に渡って生き続けたいと思っ
ていますか？だとすれば、アブラハムの子孫となる必要があります。聖霊を受けたいと思っ
ていますか？だとすればアブラハムの子孫となる必要があります。単純な事柄ですが、
深い意味があるテーマです。アブラハムについて話したいとおもいます。アブラハムは
霊的のみならず、特殊な経験をしています。信仰の父と言われています。つまり彼は私
たちの本当の模範です。彼の全生涯は、私たちの霊的な天国への旅を描いています。ア
ブラハムの生涯そのものが私たちの生涯の譬えになっています。ヤコブ 2 : 21 - 23
「わたしたちの父祖アブラハムは、その子イサクを祭壇にささげた時、行いによつて
義とされたのではなかったか。 2:22 あなたが知っているとおり、彼においては、
信仰が行いと共に働き、その行いによって信仰が全うされ、 2:23 こうして、『ア
ブラハムは神を信じた。それによって、彼は義と認められた』という聖書の言葉が
成就し、そして、彼は『神の友』と唱えられたのである。」と聖書には信仰による
義について書いてあります。私たちは信仰によって神様から義と見なされるとあり
ますね。にもかかわらず、イエス様の兄弟ヤコブは行いによって義と認められたと
ありますが、これは奇妙な事と思います。

マルチン・ルターもこの聖句を理解できませんでした。ルターはこのヤコブの書をわらの書と言いました。しかしヤコブは深い霊的経験について述べています。「あなたが知っているとおりに、彼においては、信仰が行いと共に働き、その行いによって信仰が全うされ」ヤコブは信仰と行いを調和させています。多くのクリスチャンが誤っている点は、信仰は単なる概念、思いだと考えています。信仰とは行動であり命そのものです。ある事を信じて受け入れ、行動に移すということが信仰に含まれています。23節「こうして、『アブラハムは神を信じた。それによって、彼は義と認められた』という聖書の言葉が成就し、そして、彼は『神の友』と唱えられたのである。」信仰によって義と認められたことを重要な概念によって打ち出しています。彼は神の友と唱えられたとあります。人類史上、アダムから最後の世代に至るまで神の友と言われたのはたった一人です。

皆さんは神の友と呼ばれたいですか？なんと名誉な事でしょう。実際に私は日本人で無いので、日本人の友人の概念については分かりませんが、韓国ではウイリーという言葉があり、信頼関係、気高い関係を意味しています。非常に大切な友情関係

を意味します。義理の意味でもありません。友達に対して義理人情がなければ友達ではありません。友人がどのような状況であれ、包み込むこと。たとえ友人が誤った道を行っても受け入れて愛することを友人と言います。死に至るまで友達としての義理をつくします。あいつは義理がないな—という時は、友達ではないですが、義理堅いと言われたら最高の友達と評価されたことになります。日本には義理という概念があるのですね！どちらが先かわかりませんが、韓国と日本には同じ概念があると感動しました。今日みなさんは、ここに私の話を聞きに来られました。いろんなところで私は悪評判がありますが、皆さんがここにおいてになったのは皆さんが義理堅いということですね。アブラハムはそのような関係を神様と築き上げました。その関係を発展させていました。どのように関係を習得したのでしょうか？神様との関係を学んで、理解したのでしょうか？ついに神の友と呼ばれるに至ったのです。そこには経験を伴いました。私たちは神様にほとんど義理を持っていません。イエス様に信仰がありますと言いますが、多くの場合心からの義理をもっていません。一日にして心変わりをする場合があります。アブラハムは私たちと同じように人情を持っている人でした。

友達関係、友情を築くには二つあります。一つは互いに理解すること。二つめはお互いに完全に信頼すること。このことは非常に重要です。ガラ3：26－29「あなたがたはみな、キリスト・イエスにある信仰によって、神の子なのである。3:27 キリストに合うバプテスマを受けたあなたがたは、皆キリストを着たのである。3:28 もはや、ユダヤ人もギリシヤ人もなく、奴隷も自由人もなく、男も女もない。あなたがたは皆、キリスト・イエスにあって一つだからである。3:29 もしキリストのものであるなら、あなたがたはアブラハムの子孫であり、約束による相続人なのである。」まず、聖書が私たちのことを神の子であると言っています。

私たちがどんな人であろうともそのようなことは関係ありません。イエス・キリストを救い主として認めたものは神の子と認められます。パウロは論理的に説明をしています。まず私たちが神の子であると言っています。イエス・キリストと共に相続人であると言っています。それは一つの経験を通してです。まずアブラハムの子孫になることによってです。私たちはイスラエルの血統ではありません。中東のユダヤ系の血統ではありません。しかし聖書は、私たち

はアブラハムに属するなら一つであると言っています。字義通りのユダヤ人のことを言っているのではなく、霊的経験について述べられています。もし私たちがアブラハムのような信仰を持っているなら私たちも彼のように義なるものと認められます。すでにご存じの単純な教えです。現時点まではただの情報にすぎません。アブラハムの物語は情報にすぎません。たとえ何度読んだとしても。

イエス様は間もなくお出でになります。昨日の出来事をふりかえっても特に何のこともありません。つい二年前に東京から北の方で恐るべき災害が起りましたが、日本は特に大きな変化はありません。通常これが自分の身近に起こらなければ生活状況は変わらないのでそれでよしとします。何千、何百万の魚が一気に死んで浜辺に打ち上げられたことは世界中で起きています。飛んでいる鳥がいきなり大量に死ぬことも起きています。科学者もどうしてこのようなことが起こるのか不思議に思っています。過去に恐るべき地震が起り、近い将来も起こると言われています。地球の周りに隕石がいきなり落ちてくるとも言われています。最近新しいローマ法王が立ちましたが、例を見ないイエズス会からおこっていま

す。これらの事件は再臨を間もなく迎えることであることを知っていますか？いまこそ神の友とならなければなりません。

アブラハムは二つの個人的な特殊な経験で神の子となりました。このことを話したいと思います。ある日神はアブラハムに「天を見なさい」と言いました。「空の星を数えなさい」と言われました。あれほどたくさんの星を数えることは出来ないと考えました。しかし数えきれない星があります。あなたの子孫も天の星のようになると神様は言われました。アブラハムは神様のおかげでたくさんの祝福を頂きましたが、子供はまだ授かりませんでした。後にイサクがアブラハムに与えられました。奇跡でした。この約束の子が死んだ身体から生まれてきたのです。これは私たちの霊的経験を象徴しています。これが神さまの友となる第一段階です。神様はアブラハムが子を授かることを約束しました。この時までには選択肢が与えられていました。現実的に年をとっていました。妻も年をとっていました。日本人は長生きな方が多いです。皆さんの生活を見ると粗食、小食です。アブラハムも年老いていました。人間的に考えるとそのような二人に子供が生まれることは不可能でした。しかし神

様は子を授けると言いました。しかしご存じのように、約束の子が与えられる前にイシマエルが生まれました。イシマエルが約束の子ならそれでいいと考えました。イシマエルは女奴隷の子でした。自由な女性の子ではありませんでした。これは象徴で、私たちもアブラハムと同じ経験が必要です。もし私たちが神さまの友となっていなければ悩みの時を通過することは不可能です。神の印が額におさされていないければ通過できません。神様はアブラハムにイシマエルが約束の子ではないことを言いました。自分の方法で神の友となろうとしているがそれは間違っています。神の働きを知るなら神様を知るようになります。来年の今頃は約束した通りに約束の子をサラがみごもって生まれると言いました。サラも信じることをしないで笑ってしまいました。こんなおばあちゃんの私が妊娠することはないと。

イスラエルが40年間荒野でさまよいました。12人の斥候がカナンに送られました。10人は神様の約束を信じませんでした。彼らは肉においてはアブラハムの子孫でしたが、霊的には子孫ではありませんでした。神様からお言葉を受けてアブラハムは、信じることにしました。彼は神様の言葉を信じたのです。皆さんも

信じますか？私たちも朽ちるべき体を持っています。私たちの古い行いから義を生み出すことは不可能です。神様のすべての戒めを行えますか？心の奥底にある罪の傾向に打ち勝つことが出来ますか？サタンの誘惑に打ち勝つことができますか？すべての快楽に打ち勝つことが出来ますか？どうやったら可能になるのでしょうか？不可能な状況になってアブラハムは信じました。

罪深い状態にあって二つの選びがあります。信じるか信じないか。皆さんの信仰はどのようなものですか？信じるか信じないか。中間はありません。アブラハムが信じた時に、生命の力が起こりました。死の状態、不義な状態、弱い祖先から受け継いだ遺伝子、退化した状態、教養もないし学歴も高くない、道徳的力も非常に弱い。ありとあらゆる言い訳をするかもしれません。みなさんの人生背景、どれだけの背丈で、顔立ちがどうであるか、過去の失敗、このようなことは重要ではありません。皆さんの人生でただ一つのこと重要です。信じるか信じないか。アブラハムは信じました。特別なことが起こっていない間に、何を信じましたか？神様のお言葉を信じたのです。神様の約束を信じました。単純なことですよ。何も

見えていないときに彼は信じました。彼が行った一つのこととは神様の約束を信じたのでした。罪の奴隷である私たち、そのような状況の中でも神様の約束を信じるなら新たな生命が起きます。福音の働く力が私たちに臨みます。そうすれば義を生み出すことが出来ます。これがアブラハムの経験です。妻のサラがみごもりましたね。これもある意味で受肉の経験でした。サラのお腹に宿ったイサクはアブラハムの物ではありませんでした。天から与えられたものでした。奇跡でした。創造の御業です。アブラハムが信じたからこのようなことが起きました。きわめて単純なことです。

皆さんがどれだけか弱い人生を送ってきても、神様の約束を信じるならイエス様はあなたを義なるものとすると言います。私の父の家に永遠に住むことが出来るように勝利者、征服者としてあげると言います。信じるならば。約束をつかむならその時、私たちは思いの内の概念、情報でなく生きた力となって勝利者となります。私たちは本当の意味で神様の生き方をたたえることが出来ます。勝利の生き方が出来ます。人生の問題、葛藤試練に打ち勝つことが出来ます。サタンが攻撃して誘惑、迫害された時にも私たちの内に生命一人子が

宿ります。これがアブラハムの経験なのです。皆さんが信じる時に、皆さんの人生に約束の子が宿ります。これは現実的な信仰、義なる生活をする事が出来ます。問題に直面しても心をイエス様に委ねることが出来、聖霊の臨在を実感することが出来ます。クリスチャン人生が本物だと実感できます。ガラ3：8－9「聖書は、神が異邦人を信仰によって義とされることを、あらかじめ知って、アブラハムに、『あなたによって、すべての国民は祝福されるであろう』との良い知らせを、予告したのである。3:9 このように、信仰による者は、信仰の人アブラハムと共に、祝福を受けるのである。」私たちは全員異邦人です。しかしこの聖句によるとアブラハムによって祝福を受けたのです。日本人であれ、韓国人であれそれが私たちのものになります。信仰があるならばアブラハムと共に祝福を受けます。カナン地を受けることではありません。14節には「それは、アブラハムの受けた祝福が、イエス・キリストにあって異邦人に及ぶためであり、約束された御霊を、わたしたちが信仰によって受けるためである。」わかりましたね。祝福とは、約束によって受けるもので、聖霊です。アブラハムの物語は霊的経験を例示したものを描いています。死んだと同然の体からアブラハムは生きた子供を授かりました。お父さんお母さ

んは子孫を通して永遠に生きています。子孫から子孫へ受け継がれていきます。私の生命が子孫を通して生き続けます。ある意味で永遠に生きるのです。神様の約束を信じるなら聖霊、新しい命を受けます。聖霊とは新たな命、力です。問題に直面しても聖霊によって力をうけ、様々な理解をして神の声を聴くことが出来ます。ひざまずいて神の御心を識別することが出来ます。聖霊が人生に新しい希望、幸福を与えます。その聖霊が私たちを勝利者にしてくれます。これは現実なことです。聖霊を宿したものは永遠に渡って生き続けます。これこそがアブラハムを通して頂いた経験なのです。

イサクは20歳の若者に成長しました。そのころイサクを連れて燔祭として捧げなさいと神様から命令されました。奇妙な命令でした。これはいわゆる人間をいけにえとしてささげることであり、無意味な要求に思えますね。息子を殺せというならなぜ、息子を与えたのか理解できませんでした。神様は沈黙を保たれました。アブラハムの忠誠をテストしておられました。アブラハムの義理を神様は試しておられました。このものは本当に私の友と言われるのにふさわしい者かどうか。毎日私たちに同様な質問をしています。不可能な状況にあっ

て約束の子を与えられました。危機的状況になって神様を信じました。イサクを燔祭として捧げなさいと命令された時に神様に信頼しました。このような信頼を築くには経験が必要です。

日 曜休業令が実際やってきたときに多くのクリスチャンが獣の刻印を受けることでしょう。日曜休業令の法令が敷かれるときに多くの安息日クリスチャンが獣の刻印を受けるでしょう。彼らは信じてきたかもしれないが、神様に義理をおこななかった。彼らは聖書の知識をすでに持っている、霊的スタミナを持っていないので、間違いを知っていても神様にどこまでも従うことが出来ないのです。

今、今日、現在、神様に忠誠をつくしていないなら、あれほどの試練がやってきたときにどうやって忠誠を尽くすことが出来るのでしょうか。アブラハムは一人でイサクを捧げるためにモリヤの森に行きました。御言葉を信じ神様を信じ刃物をふりおろそうとしました。すべての信頼を神様におき、今にも息子の胸に刃物を突き刺そうとしたのです。ヤコブは行いによってアブラハムは義とされたとあります。隣人に親切にする

ことによってでしたか？伝道に熱心だったからですか？どの行いによってですか？神様の約束を信じ神様の命令に従いました。これが神様の戒めを守る聖徒たちの忍耐です。しかしそれが皆さんの人生において考えられないようなことかもしれません。もしかしたら自分の夫や妻を失うかもしれません。大事な人を失うかもしれません。名声を失うかもしれません。あるときには神様の命令を選ぶがゆえに周りのすべての人を敵に回すかもしれません。神様はある事を皆さんに求めます。必ず神様の完全な子とするために、みなさんの人生の偶像を放棄するようにもとめられます。それをキリストに捧げなければなりません。そうすれば神様の子とすることが出来ます。

信 仰経験に何等かの混ぜ物が入ってきたら、サタンはそれを利用して皆さんを堕落させようとします。ですから完全な献身が必要です。神様への屈服降伏が必要です。自分の欠点が分かっていないこともあります。

私 の若い時の経験です。ある事に対して非常に情熱的に成功させようと思っていました。しかし神

様は様々な失敗の経験をさせ、神様だけが聖霊だけが重要な方である、神様だけが信頼できることを経験させられました。今になっていうことが出来ます。このように祈っています。特に人前に立って話す前にこのような祈りをします。まず、主よ、私は罪びとであります。あなたの御霊の約束を私は必要としています。あなたにのみ栄光を帰したいと思っています。そのことを私は悟り自分の状況を受け入れます。あなたに屈服する境地に達したいと思います。あなたにさらにゆだねることをもっと理解したいと思っています。そうする時に自分の一人子を捧げる経験と同じ経験をしてあなたの御心を行うことが出来ます・・・と。乙女マリヤに生命が宿りました。イエス様は十字架の死に至るまで神様に委ねました。神様は皆さん一人一人がアブラハムの子孫としてそのような証をたてることを望んでいます。まず神様は全宇宙の前に証明する必要があります。144000は、神の子羊がどこへ導こうとしても、その人たちは何処へでもついていかなければなりません。完全な屈服をして。

お祈りします。「天のお父様、あなたの聖霊の祝福を心から感謝します。私たちは過去において弱い点を表しましたが、あなたの真の友

となりたいです。私たちの手を取って歴史最後の道を歩ませて下さい。あなたのことを理解させて下さい。アブラハムは一人息子を失う事の痛みを理解しました。アブラハムはイエス様を十字架につけることを許されたあなたの心を理解しました。どうぞ私たちをお助け下さい。イエス・キリストの御名によってお祈りします。」アーメン。

講義 3

「後の雨の聖霊を受け るための四つの条件」

ソン・ケムン

後の雨を受けたいですか？最近の教会は後の雨について話をしないので、知らない方もいるとおもいます。私たちはただ茫然と再臨を待っているのではなく、働きを促進しなければなりません。五旬節に2階の部屋に聖霊が臨みました。メッセージを伝えなければなりません。そのために私たちに必要なものは、後の雨です。神の民が、後の雨で満たされるとき、働きが終わります。最高の福音をのべ伝えるには、この後の雨が必要です。どのようにしてそれを受けるのでしょうか？どうすれば、私たちは、それを受けるのでしょうか？五旬節にどのように聖霊が与えられましたか？後の雨もそのように受けるでしょう。御言葉にしたがって、御言葉を受け入れる人々にそれが与えられるでしょう。

彼らは病を負っていました。食べ物もなく死んでいく人がいました。イエス様を知らず死んでいく人がいました。宣教団体は彼らにイエスを伝えました。宣教者たちは聖霊によって、病を癒しました。原住民の人々はその結果、イエスを受け入れました。アフリカの他の地域に他の宣教団体が行きました。専門医療、相談を専門に行う人達を派遣しました。彼らも無料で、人びとをたすけました。サタンを拜んでいる人々、人食い人種によって、何人もの宣教師たちが死んでしまいました。そして、この派遣は失敗となりました。なぜ、この宣教は失敗したのか？教えて下さいと初めに成功した宣教医団体に訪ねました。何が違いだったのでしょうか？二つの団体の違いは聖霊の臨在でした。偶像礼拝者たちは屈服しません。彼らはただ一つ聖霊に屈服することです。なによりもこのようなセミナーをするには建物、資金、メッセンジャーが必要ですが、何よりも聖霊が必要です。聖霊は三天使の使命に最も力を与えます。最も必要なものです。後の雨は大きな力です。みなさんは、プロテスタントが行っているセミナーに参加したことがありますか？今まで、見たものは、バビロンから呼び出された一人です。今、8か月くらいになりました。まだプロテスタントから出たばかりです。彼らの集会は聖霊を

受ける為に大きな声を発しながら、ステージを走り回ったり、倒れたりします。「パワー」と言って倒れていました。聖霊というのはそういうものではありません。私たちは聖霊に屈服しなければなりません。それによって神の福音が伝えられる働きがなされます。

マタイ 7:21 「わたしにむかって『主よ、主よ』と言う者が、みな天国にはいるのではなく、ただ、天にいますわが父の御旨を行う者だけが、はいるのである。」

ヨハネ 13:24 「わたしは、新しいいましめをあなたがたに与える、互に愛し合いなさい。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互に愛し合いなさい。」天国に入るのは、天のお父様の説教する人ではなく、教える人ではなく、御言葉を行う人とおしえています。

マタイ 7:23 「そのとき、わたしは彼らにはっきり、こう言おう、『あなたがたを全く知らない。不法を働く者どもよ、行ってしまえ。』」不法というのは戒めを行わないということだけでなく、愛によっておこなっていないこともいうのです。信仰による生涯で聖霊の実があるかど

うかで識別することができます。

「**教**理を流暢に語ったり、キリストが、自ら語った言葉を、反復する事は出来るかもしれない。しかしキリストのような、柔和と愛を所有しなければ、キリストを認める事ではない」。(各時代の希望上 351)

この中でイエスを否認する人はいますか？この言葉を見ると、愛がなければ、イエスを否認することだと言っています。私たちがいくら真理を伝えても、その中に愛がなければ、キリストを否定することと同じであるということです。主よ、いつ私があなただを認めなかったでしょうか？夫を愛していない者、妻を愛していない者、教会を愛していない者、この人たちは、キリストを認めていなかった人です。

10人のおとめのたとえ。彼らは純潔な者でした。5人は汚れていたと聖書に書いていません。眠っていたから譴責されたのでしょうか？いいえ違います。10人とも寝ました。夜中の叫びがあり、みな目を覚ましました。二つのグループともみな目を覚ましました。聖書は、5人は賢く5人は愚かだったと教えています。その差は油でした。この油は何を指していま

すか？聖霊です。私たちは聖書を持っています。聖書の知識も持っています。私たちのように聖書の知識を持っている人はあまり多くありません。しかし、私たちは油を持っているとは言えません。経験のないただの知識だけ積んではいませんか？聖霊とは神と共に歩んだものに与えられます。愚かなおとめは、神をただ知識だけでしか知りませんでした。5人は油をもっていたかどうかで違いがでました。救いは聖書の知識だけでなく、聖霊によって品性を変えられているかどうかで決まります。一番不幸なものは食べ物があってもそれを食べずに死んでしまうことです。命のキリストが聖書に書いてあったにもかかわらず、命のキリストが側におられたのに、一度もそのパンを食べずに死んでいくもの、それは不幸な人です。真理を尊重した人々、御言葉に感動していた人々、主の再臨を求めていたと思います。皆さんもそうでしょう。だからこそ、このセミナーに来られたと思います。しかし、この愚かなおとめたちは日常生活で体験できていませんでした。生活に油がありませんでした。油のないおとめの状態は、みなさんの状態と似ていませんか？そうでないことを願っています。真理と誤りを識別するのは、私たちの生き方そのものです。教理でだますことは出来るかもしれませんが。しかし、生活は隠すことがで

きません。生活に天父の愛が反映されていますか？私たちを苦しめる人を愛すること、敵を愛することは難しいですね。一番目の条件を十分にもっていますか？

2番目の条件は、後の雨の前に先の雨を受けることです。イエス様が昇天なさり、弟子たちは集まって、聖霊を受けるまで、何をしていたでしょうか？弟子たちは互いにねたみがありました。しかし彼らは互いに許し合いました。互いに罪を告白しながら、互いに謙遜になったとき、彼らの悔い改めにつながりました。そして聖霊を受けました。私たちもそのような経験が必要です。使徒5章を見ると、ヨエル書2章の言葉が書かれています。しかし、ヨエル2章の完全な成就是その時になされたのではなく、私たちの時代に成就するでしょう。ヨエル2：28, 29「その後わたしはわが霊をすべての肉なる者に注ぐ。あなたがたのむすこ、娘は預言をし、あなたがたの老人たちは夢を見、あなたがたの若者たちは幻を見る。2:29 その日わたしはまたわが霊をしもべ、はしために注ぐ。」その後とは、何の後でしょうか？その前の聖句を読めば分かります。ヨエル1：13, 14「[13] 祭司たちよ、荒布を腰にまとい、泣き悲しめ。祭壇に仕える者たちよ、泣け。

神に仕える者たちよ、来て、荒布をまとい、夜を過ごせ。… [14] あなたがたは断食を聖別し、聖会を召集し、長老たちを集め、国の民をことごとくあなたがたの神、主の家に集め、主に向かって叫べ。」なぜ悲しまなければならぬのか？罪を悲しむのです。ヨエル 2：12、13、17 「[12] 主は言われる、『今からでも、あなたがたは、断食と嘆きと、悲しみとをもってわたしに帰れ。[13] あなたがたは衣服ではなく、心を裂け』。[17] 廊と祭壇との間で泣いて言え、」私たちの罪が御子を十字架につけたという事実のために私たちは悲しむべきです。五旬節の時、弟子たちは自分の罪を悲しみ、互いに自分の罪を告白し、悔い改めていました。後の雨の役割で、品性を固定させ、患難の時代を通り抜けさせるのです。品性が固定されるのであれば、ある人にとって、それは最大の呪いとなるでしょう。今の品性が固定されるならば、本当に呪いです。本当に麗しい香りとはイエス様の香りです。私たちが後の雨を待つのではなく、天の父が注ぐために待っているのです。「多くの者は秋の雨を受ける事に、大きく失敗してしまいました。彼らは、春の雨によって不足が満たされると思っているが、しかし、光に伴っている人のみが、より大きな光に預かるであろう。私たちが、実際にキリストの徳を行う働きにおいて、日々前進しないなら

ば、後の雨の時、聖霊の表れを認識する事は出来ないのである。(聖霊に導かれて下巻 309 (牧師への勧告)」本当に先の雨を受けるのに失敗したと書いてあります。私こそ後の雨を受け、真理の中にいるのだからと勘違いしている人がいます。真理の光に浴しながら、ひかりに従った歩みをしないならば、後の雨の聖霊の表れを認識することは出来ません。となり人をのしる心、自分の失敗はおおめにみて人の失敗をいつも覚えている人、平気でうそをつく、人の心を痛めて傷つけること、このような罪の習慣は今捨てなければなりません。今が機会です。真理によって清められた人が現れなければなりません。私たちがそのように変えられていたならば、もうキリストの再臨はあったかもしれません。私たちが主の来臨を遅らせているかもしれません。

3番目の条件。福音の働きを終わらせるために聖霊が必要です。五旬節で聖霊が降ったのは、福音を宣べ伝えるためでした。同じくこの時代もその目的はそれです。福音が全地を明るくしなければなりません。後の雨は、自分を捨て、主に屈服するものに注がれます。真理を全地に伝えるために後の雨が必要です。五旬節のときの弟子たちは、私たちがこんなに足りな

いのはどうして、世界の果てまで福音を伝えることが出来るでしょうかと考えると、聖霊の必要を感じました。今日、どうやって魂を救おうか常に考えているのでしょうか？それが後の雨を受ける条件なのか？と考える人がいるかもしれません。このような疑問が生じるかもしれません。どのようにして、魂の救いのために献身することが出来るでしょうか。自分のものを惜しまず、主に捧げて頂きたいと思えます。主の真の真理を聞いていない人達に、DVD や CD, 本を渡すことが出来ます。結局、地の財産のすべては火に焼かれるでしょう。

4 番目の条件。皆さんの教会の牧師は健康管理をよくなさっていますか？私が教会にいたとき、正しくやっている人は約3%でした。日本はどうでしょうか？沖縄は何処の地域よりも新鮮な刺身があると思います。新鮮な刺身が大好きだとおっしゃる人は、獣の刻印を受けるかもしれません。この沖縄で、刺身を食べなければ何を食べるのか？とおっしゃるかもしれません。しかし、刺身を食べると獣の刻印を受けるかもしれません。神が聖霊を注ぐとき、脳に注ぎます。天の御国から私たちを感動させるのは私たちの脳を通してです。

出エジプト 19：12「あなたは民のために、周囲に境を設けて言いなさい、『あなたがたは注意して、山に上らず、また、その境界に触れないようにしなさい。山に触れる者は必ず殺されるであろう。』」天父がおられるところが聖なるところです。コリント 3：16, 17「[16] あなたがたは神の宮であって、神の御霊が自分のうちに宿っていることを知らないのか。[17] もし人が、神の宮を破壊するなら、神はその人を滅ぼすであろう。なぜなら、神の宮は聖なるものであり、そして、あなたがたはその宮なのだからである。」コリント 6：19, 20「[19] あなたがたは知らないのか。自分のからだは、神から受けて自分の内に宿っている聖霊の宮であって、あなたがたは、もはや自分自身のものではないのである。[20] あなたがたは、代価を払って買いとられたのだ。それだから、自分のからだをもって、神の栄光をあらわしなさい。」皆さんは脳と神経がつながっていることをご存知ですか？間違ったものを食べて脳に影響を及ぼすことになります。私たちが健康を保とうと思うならば、神が定められた健康の法則に従わなければなりません。獣の刻印と食べ物とを引き換えにすることが出来ますか？主にのみ従わなければなりません。天の父は世の救い、私たちの救いのために健康の法則を定められまし

た。

後の雨に備えて4つの条件を話しました。「憐れみに満ちた最後の光、世界に伝えるべき最後の憐れみの使命は、神の愛の啓示である。神の子らは、神の栄光をあらわさなければならぬ。彼らは、その生活と品性において、神の恵みが彼らのためにどんなことをなしたかを表さなければならぬ。(実物教訓 392)」私たちの暮らしの中で、主を表さなければなりません。先の雨の経験はまごころの悔い改めでありました。花婿が来たと言われるときにはもう遅すぎるのです。

「**あ**なたは、現在の義務をおろそかにして、将来驚くべきリバイバルが起こる時、何の努力もしないで大なる祝福を受けることができると考えてはなりません。きょう、あなたは自分自身を神に捧げ、神によって誉れある器としていただき、神のご奉仕にふさわしいものとしていただかねばなりません。自己を空しくし、そねみ、ねたみ、悪い推量、争いや神を辱めるすべてのことを取り去るために、今日、あなた自身を神に捧げましょう。今日、あなたの器を清めていただいて、天の露を受ける準備をし、後の雨を受ける備えをしてく

ださい。(セレクトメッセージ 第4部 23章 255,256)」私たちが聖霊を受けるためにはその準備をするのは、今です。今こそ、心を神に捧げなければなりません。3番目の条件は福音を地の果てまで伝えることでした。この使命に燃えていることが大事です。完全にキリストに献身する。この人こそ後の雨をうけるでしょう。

「**神**の民は覚醒しなければならぬ。彼らの真理を述べ伝える機会は増さなければならぬ。なぜならば、その機会は、長く留まる事はないからである。私は苦難と、混乱と飢饉が地上に降って来るのを見た。サタンは今、神の民を、無活動状態、すなわち、真理を伝える事において、彼らそれぞれの役割を出来ないように、企んでいるのだ。これは、後に彼らが、量りで量られる際に、足りなさを示す為である。(1TT 87).」このようにまごころから福音を今伝えなければ、遅すぎることになります。4番目の条件は脳を通して聖霊が与えられる。私たちは屈服しなければならぬ。天のお父様は聖霊を与えないことがあるでしょうか。私たちの最大の日は過去ではなく、未来です。神は私たちに五旬節の経験を再び与えて下さるでしょう。先の雨よりも大きなものになるでしょう。神はそれぞれの使命

講義 4

「日は延び 幻はむなしく」

金城重博

イスラエルのことわざ、「日は延びた、幻はむなしくなった。時は延びてしまった。」イエスが来られる（初臨）ときも預言されていた。しかし、何百年、何千年が過ぎ、彼らは救い主の来臨に気が付かなかった。

ISM 406 「イスラエルの子らの試練とキリスト初臨の直前の彼らの態度は、キリスト再臨前の神の民の経験における彼らの立場を例証することを私は幾度も幾度も示された。」幾度も示されたということは重要だということです。再臨直前の神の民の経験と同じです。

4 T 27 「我々の歴史と古代イスラエルの歴史との間には著しい類似点がある」古代イスラエルと現代のSDAはそっくりで、同じ危険な道を歩んでいる。

エゼキエル書 12:22 「人の子よ、イスラエルの地について、あなたがたが『日は延び、すべての幻はむなしくなった』という、このことわざはなんであるか。（イスラエルはほとんど危険な道を歩んだ。預言者は拒まれた。400年も預言者が与えられなくなった。突然バプテスマのヨハネが現れた。）

1 2:23 それゆえ、彼らに言え、『主なる神はこう言われる、わたしはこのことわざをやめさせ、彼らが再びイスラエルで、これをことわざとしないようにする』と。しかし、あなたは彼らに言え、『日とすべての幻の実現とは近づいた』と。

1 2:24 イスラエルの家のうちには、もはやむなしい幻も、偽りの占いもなくなる。

1 2:25 しかし主なるわたしは、わが語るべきことを語り、それは必ず成就する。決して延びることはない。ああ、反逆の家よ、あなたの日にわたしはこれを語り、これを成就すると、主なる神は言われる」。現代SDAも再臨運動から160年以上がたった。預言者に対する軽視、無関心が蔓延している。しかし、神様は必ず

預言を成就する。)

イエス様は私の時はまだ来ていないと言われた。兄弟たちに急がされたが、こう彼はいった。そして、私の時は近づいたという局面になった。それは最後の晩餐のときだった。そしてゲッセマネに行かれた。

そして、私の時は来た。と言われた。父よみこころならば、この杯を取り除いて下さいと言われた時だった。2回お祈りして弟子の所に行ったら、弟子たちはまだ眠っていた。その時は来ていたのに。そしてユダが裏切った。それからいっきにゴルゴダに向かった。私の時が来たと言われた時から素早く十字架になった。アンナスとカヤパはローマに訴える口実を見つけようと努力した。イエスはローマに反逆しているという訴えをしようと、イエスの言葉尻を見つけようとしたが、出来なかった。ピラトの所にも連れて行かれた。ヘロデ王の所にも連れて行かれた。そして、またカヤパの所に戻された。選民と言われていたイスラエルだが、現代のSDAも同じ道を歩んでいる。ピラトは私には罪がないと言って、手を洗って、イスラエルにその運命を決めさせた。

異例の出来事が最近起こった。600年ぶりにベネディクト16世が生きている間に次の法王に選ばれた。そして、もう一つの異例な出来事は、イエズス会から新法王が選ばれた。イエズス会の総長はアドルフ・ニコラス、日本にも長い間いた人。そして、2人の法王が対面した。これも異例なできごとであった。日本でも、災害、経済界の動き、政治、オスプレイいろいろあるが。これは秘密結社の組織図。フリーメーソンがあるが、その上にはイルミナーチがコントロールしている。フリーメーソンの下には多くの慈善団体がある。しかし、その上にイルミナーチがある。しかしその上でコントロールしているのはだれかわからないと大体の本に書いてある。しかし、ある人達は、最高院はイエズス会だと言っている。1534年にイグナチウス・ロヨラが組織した。日本に初めてザビエルによってキリスト教が伝えられたといわれているのは嘘で、もっと前から原始キリスト教は来ていた。しかし、カトリックがキリスト教と思わせる為にフランシスコ・ザビエルが持ってきたと歴史に言われるようになった。その時カトリックによって、日本はいろんなひどいことをされたので、キリスト教を禁止して、鎖国にした。そして、開国時は、自由平等をといてペリーによって行われたが、これもイエズス会が裏にい

た。ペリーが沖縄に来たとき、沖縄は極東における理想的な位置にあると本部に報告した。それ以来、どんな反対があっても沖縄から基地が動かされることはない。意図的に、アジアで危機感を作って、沖縄から基地をなくしてはならないと暗示するように世界情勢を作っている人が裏にある。国会の近くにある大学は上智大学、カトリックの大学である。麻生副総理はカトリック。アメリカの国会議事堂の近くにある大学はジョージタウン大学。これもカトリック。日本では、沖縄担当の山本大臣はカトリック、小泉純一郎はジョージタウンで教育を受けた。カトリックはこっそりと働いている。新共同訳聖書もカトリックがこっそりと準備していた。カトリックとプロテスタントが仲良くなったように見えた時、いっきにそれを出版した。1964年の第二バチカン公会議でカトリックとプロテスタントの仲を良くすることが決められて以来、こっそりと準備されてきた。

イエズス会とは？大争闘上 293-294 「プロテスタント主義は、全キリスト教国において、恐るべき敵に脅かされた。改革事業の最初の勝利は過ぎ、ローマはその全滅を期して新たな勢力を奮い起こした。この時、法王教の全闘士中、最も残酷で無法で強

力なイエズス会が創設された。彼らは、世俗のきずなや人間関係から切り離され、人情も理性も良心もいっさいを無視して、彼らの会以外のどんな規則もきずなも認めず、ただ、その権力を伸張することだけを義務とした。」イエズス会がプロテスタントの力の秘訣を用いた。

「**キ**リストの福音は、その信者たちに、危険を冒し、苦難に耐え、寒さ、飢え、労苦、貧困にもめげず、真理の旗をかかげ、拷問も投獄も火刑も恐れぬ力を与えてきた。この勢力に対抗するために、イエズス会は、その会員を狂信的にさせ、同様の危険に耐えるように、またあらゆる欺瞞の武器をもって真理の力に対抗するようにさせた。」「彼らは、どんな罪を犯しても罪にならず、どんな欺瞞を行ってもかまわず、どんな偽装もわけなくできた。彼らは、一生の間貧困と質素な生活を送ることを誓ったが、その目的とするところは、①富と権力の獲得であり、②プロテスタント主義をくつがえし、③法王至上権を復興することであった。」

皇室にもすでにカトリックは入っている。あんなにイエズス会を嫌って日本は鎖国したのに、福沢諭吉によって、自由・平等・博愛という美名のもとに、見事に入ってきた。

もう一つ異例なことは1月21日、アメリカ大統領の2期目の就任式があった。その日の朝、大統領就任演説朝食会で、ジョナタン・カーン牧師がメッセージを語った。その内容は「イスラエルは神に立ち返って繁栄したが、王たちは背教したので、国もまた滅びに向かった。現代のアメリカは古代のイスラエルとまったく同じ道を歩んでいる。アメリカは初め、神を求めて始まり、急速に繁栄した。しかし、神から離れて墮落した。」彼ほど熱烈に語ったのをこれまで私は見たことがない。「神の刑罰が降り注がれる前に、アメリカは神に立ち返らなければならない」その場にいた全米の議員たちは拍手喝采でアメリカの道徳的、経済的墮落から回復されなければならないと感じた。「神のみ言葉によって建国されたアメリカほど、祝福され、繁栄した国はどこにもない！しかし、古代イスラエルと同じように神の道から離れて今崩壊へ向かって、神の刑罰が注がれようとしている。今、全能の神、エシュア＝イエス・キリストに立ち返るべき時だ！

歴代志下 7:14 を引用「わたしの民が、もしへりくだり、祈って、わたしの顔を求め、その悪い道を離

れるならば、わたしは天から聞いて、その罪をゆるし、その地をいやす」その朝食会の直後にオバマは就任式で、同性愛の結婚を認めることを演説した。オバマはその朝食会に出席していなかった。

1 コリント 10:11 「これらの事が彼らに起ったのは、他に対する警告としてであって、それが書かれたのは、世の終りに臨んでいるわたしたちに対する訓戒のためである」

イエス様の初臨のとき、どれだけの人が準備していただけるか？ SDA のどれだけの人が再臨に準備できるだろうか？十字架のときのアンナスとカヤパのときも私の時が来たとイエス様が言われた時から、いっきにその時になった。今も同じではないだろうか。

「幾世紀もの時が過ぎ去った。そしてついに預言者の声もやんだ。イスラエルは、圧迫者の手に強くおさえられていた。イスラエルは神から離反するにつれて信仰はうすらぎ、希望はほとんど将来を明るく照らさなかった。多くの者は、預言者の言葉を理解しなかった。そして、信仰を堅く持ち続けるべき人々が、『日は

延び、すべての幻はむなしくなった』
というに至った(エゼキエル 12 :
22)」。国と指導者下 301

キリスト初臨の時

●ダニエル 7 章のメシヤ出現の預言

●一つの国語 = ギリシャ語が広く話
されていた。

1 希望 22、今は英語、当時はギ
リシャ語

●異教の教師たちもメシヤの来臨を
預言してい

た。釈迦、孔子….

**選民ユダヤ人の腐敗、墮落はキリ
スト来臨の印**

「イスラエルの衰えて行く勢力はメ
シヤの来臨が近づいている証拠だっ
た」。1 希望 21 今の SDA も繁栄し
たと自分たちで言っている。しかしキ
リストは建物や、教会員の人数で教会
を評価なさない。

「マタイ 15:9 人間のいましめを教と
して教え、無意味にわたしを拜んでい
る』」。教会指針を強調している。

SDA の信仰を持っている人々は
1844 年に誕生したが、まだ組
織されていなかった。1863 年に組織
された。それから、健康改革 (1863
年)、教育改革 (1872 年)、教育機関
の認可 (1930 年)、神学改革 (1888
年) 1950 年には福音主義との妥協が
始まった。アイデンティティーを失っ
た。日曜休業令は突然やってくる。そ
の時に向かって、SDA は第三天使の
使命を信じると告白しながらも、離れ
ていく。そして日曜休業令の事件で離
れる。その代り、プロテスタント諸教
会やカトリックから真の神の民が靈
的 SDA に加わる。「新教教会が手を伸
ばし、深淵の向こうにあるローマ教会
の権力の手をとり、奈落の向こうにあ
る降神術と握手しようと手をのぼす
時、また、この三者の結合による勢力
下に米国が新教共和国政体としての
憲法の原則をことごとく放棄し、ロー
マ法王のいつわりとあざむきの宣伝
に道を備えるその時こそ、われわれ
は、サタンの驚くべき働きがやってき
たこと、また、世の終わりの近いこと
を知るのである」 5 T 4 5 1

日曜休業令が起こるとき、最後が近
いということである。

「ド
」
ドラマの終幕—真理と偽りを
すり替えることがドラマの
終幕である。このすり替えが全世界的

なものとなる時、神もご自身を現されるであろう。人間の法律が神の律法より高められ、この地上の権力が週の第一日目を守るように人々に強制しようとする時、神が働かれる時が来たことが分かるのである。彼は王として立ち上がり、地をすさまじくゆり動かすであろう。彼は、世界の住民の罪を罰するために、そのおられる所から出て来られるであろう (RH 1901年4月23日) スタディバイブル(新)「詩篇 119:126 彼らはあなたのおきてを破りました。今は主のはたらかれる時です。」

アメリカは日曜休業令の時に破たんする。「プロテスタント諸教会が偽りの宗教を支持するために世俗の力と結びつく時、合衆国は法令を強制する力を用い、またその教会制度を支持するであろう。その時新教国アメリカは、法王の像を作るであろう。そして米国は国家的背教をし、ついに国家的破滅にいたるであろう。」(7BC976)「新教徒たちは、自分自身を神であると示しながら、神の宮に座っている罪の人の失われた支配権を回復する法律を作るよう、国の統治者たちに働きかけるであろう。ローマ・カトリックの原則は国家的配慮と保護のもとに置かれるであろう。この国家的背教は急速に国家的破滅という結果をもたらすであろう。…プ

ロテスタント政府は予想外の道へたどり着くであろう。彼らは世に転向するであろう。神から離れた彼らはまた、偽りと神からの背教を国家の法律にするよう働きかけるであろう。」(RH 6-15-1897 p. 370)

印される前の神の民の状態

- ① 教会の背教：「古代イスラエルと現代イスラエル」のプリントを見よ。
- ② 2SM383「背教は増すであろう」
- ③ 5T209：神の民が印される直前、すなわち日曜休業令が立つ時、「教会の最大の危機と沈下（低下、減退、不振）」は最高潮へ。1SM 203（特別な証 Series B, 51-59 Published in 1904）「しばらくするとオメガが続くのを知っていた。わたしは我が民のために身震いした」

2SM 380「教会は今にも倒れるかのように見えるが倒れはしない。

- ④ 8T250:「今背教が膨らんでいる教会がその過ちを認めて悔い改めな

ければ、彼は、自分自身をひ

どく嫌悪するまで、自分の行
いの実を

食べることになるであろう」

- ⑤ 2SM114：「分裂が教会の中
に来るであろう。二つのグルー
プが発展

するであろう。麦と毒麦が収
穫の時まで育つであろう」

- ⑥ 6T400：「試練が濃くなるに
つれ、分離と一致が教会に見
られるであ

ろう」

エゼキエル書 12:22「人の子よ、
イスラエルの地について、あ
なたがたが『日は延び、すべての幻は
むなしくなった』という、このことわ
ざはなんであるか。

1 2:23 それゆえ、彼らに言え、『主
なる神はこう言われる、わたし
はこのことわざをやめさせ、彼らが再
びイスラエルで、これをことわざとし
ないようにする』と。しかし、あなた
は彼らに言え、『日とすべての幻の実
現とは近づいた』と。

1 2:24 イスラエルの家のうちに
は、もはやむなしい幻も、偽り

の占いもなくなる。

1 2:25 しかし主なるわたしは、
わが語るべきことを語り、それ
は必ず成就する。決して延びることは
ない。ああ、反逆の家よ、あなたの日
にわたしはこれを語り、これを成就す
ると、主なる神は言われる」。

私たちの教会の中で預言者の言葉の
軽視が目立っている。

民数記 12:6「彼らに言われた、
『あなたがたは、いま、わた
しの言葉を聞きなさい。あなたがたの
うちに、もし、預言者があるならば、
主なるわたしは幻をもって、これにわ
たしを知らせ、また夢をもって、これ
と語るであろう。』」

黙示録 12:17「龍は、女に対し
て怒りを発し、女の残りの子
ら、すなわち、神の戒めを守り、イエ
スのあかしを持っている者たちに対
して、戦いをいどむために、出て行っ
た。」

1 SM 48「サタンの最後の欺瞞
は、神の御霊の証を無効にす
ることである。」

4 T 211「神の民の、あかしの書に対する信仰を弱めさせることが、サタンの計画である。次に我々の重要な信仰の重要なポイント、我々の立場を明らかにする柱(複数)に関する懐疑が続く。それから聖書に関する疑いが続く。そして破滅に降下していく。」

1919年の聖書会議

聖書教師、編集者、世界総会指導者北アメリカ支部指導者らが出席。

出席者の過半数が、預言の霊〔証の書〕の信憑性と権威に反対意見を表明。

少数の物だけがエレン・ホワイトの言葉の権威に賛成していた。エレン・ホワイトが死去したほんの四年後だった。

「**ま**だ眠っているのか、休んでいるのか。見よ、時が迫った。人の子は罪人らの手に渡されるのだ。」マタイ 26:45

「**わ**たしは、地上でなすべき働きを持っていた4人の天使たちが、その働きを成し遂げる途中に

あるのを見た。イエスは祭司の衣をまとっておられた。彼は憐れみの情をもって残りの民をごらんになった。それから、両手をあげて、深い憐れみのこもった声で、『わたしの血、父よ、わたしの血!』と叫ばれた。すると、白い大きなみ座に座っておられる神から、非常に輝かしい光がでてきて、イエスのまわり一面を照らすのを、わたしは見た。それから、イエスからの任務を帯びた1人の天使が、地上でなすべき働きを持っていた4人の天使たちの所に、速やかに飛んで行って、手に持った何かを上下に振って、大声で『神のしもべたちの額に印が押されるまで、待て、待て、待て!』と叫ぶのを、わたしは見た。」初代文集 99

エレン・ホワイトが書いた最も大事な本、もっともひろく配布しなければならない本は大争闘だった。ここにちいさなポケット版の大争闘がある。いつの間にか配布されて、送り返されてきた。見ると、バサバサにはさみで切り刻まれていた。嫌いであれば、捨てればいいのに、サンライズが嫌なのか、金城重博が嫌なのか、わざわざ、送り返してきた。

別の話。だれが、これを私にくれたか覚えていないが。南米

アマゾンで文書伝道をした人の話。帰る前最後に、カトリックの神父にも本を売りに行くことをおもい立った。イタリア人の神父はとても親切に奥の部屋に案内してくれた。自分がいろいろな本を売っていることを説明した。神父さんはうなずいた。自分の引き出しをあけて、あなたが売っている本の中で私が好きな本はこれだよと、大争闘を見せてくれた。私はエレン・ホワイトのファンなんだよ。そして、奥の本棚に案内された。そしたら、証の書がずらっと並んでいた。彼は SDA が真の教会だと知っていた。なぜ、彼は SDA に改心しなかったのか？それは、SDA が悪い証をしているからだ。教えはいいが、生活はその教えとは矛盾していて、私の信者にそれを紹介することはできない。しかし、カトリックの中には多くの神の民がいるんだよと教えてくれた。別の話をしてくれた。カトリックの司祭たちが、ばれないように、夜中に大争闘を共に研究している。もし、日曜休業令が始まったら、SDA が終わらしきれない働きを私たちカトリックの司祭たちが終わらすのですと言っていた。

イエズス会のように攻撃する人もいれば、SDA の真理に協力しようとする人もカトリックの中にいる。

聖書を読ませない方法が考えられているが、大争闘が配られる。ある人が大争闘を読んでいると、ある SDA 牧師にこんな古い本を読んでいるのですか？とばかにされたことがある。しかし、最も古い本は聖書である。では、聖書も読むべきではないのだろうか？そうではない。

私たちのイエスは、まず SDA のためにとりなしておられるが、SDA はキリストがどこで何をしているのかが分からなくなっている。私たちは真理を知って、用意しよう。

お祈りします。「私たちのために御言葉が書かれています。激震がおこる前触れが現れています。イエスの至聖所の最後の祝福にあずかることができますように。少数でも祝福してください。イエス様の名によってお祈りします。」

講義 5

「神の火」

デイビット・カン

私たちは創造主なる神様を礼拝しています。創造した神様が皆さん一人一人を呼吸させてくれています。心臓の鼓動を与えてくれています。ゆえに神さまこそ私たちの讚美とほめたたえることを永遠に渡って受けるのにふさわしい方です。私たちが生きて呼吸し続けている限りすべて、神様に負っています。私たちが天国に参りました時には礼拝の形は全く異なっているでしょう。私たちの捧げる礼拝は、実際は汚されています。人間ですので各自異なった思いを持っています。しかし天国で捧げられる礼拝は純粹で神聖な完全なものです。その礼拝を目指して安息日ごとに練習をするのです。まず私たちがしなければならないのは神様の血によってすべての罪を取り除かなければなりません。それを必要としています。ここで祈りのひと時を持ちます。「天のお父様、再びあなたの御前で礼拝を捧げることを感謝します。あなたの御座に近づくときに清めて下さいます

ようにお願いします。幼子の様な心を私たちに与えて下さい。あなたの霊と真を持って祝福してください。そして捧げる礼拝があなたに受け入れられるようにして下さい。イエス様の御名によってお祈りします。」

本論の前にこの場を借りてサンライズミニストリーに感謝の意を示したいと思います。様々な反対攻撃迫害にあいながらこのような伝道機関を維持するのは大変であります。この伝道機関を長年にわたってリードしてきた金城先生に感謝を示したいと思います。私も独立伝道機関を維持するのは大変であることは知っています。孤独な人生を通ります。神様からの恵みによって可能なことです。長年気が付いたことは私の語る言葉を注意して上げ足を取ろうとする人たちがいることを知っています。何であっても不完全な言葉に対して攻撃をします。私の真理に対する理解は年を追うごとに発展して行って深く高くなっています。この真理全体の理解は一朝一夕で得られたものではありません。徐々に神の恵み・聖霊を通して理解をはぐくまれてきました。そして三天使の使命の真の理解へと神様自身が私を導いて下さっていると確信しています。同時に長年にわたってさまざまの偽りの

真理、間違った福音の教えを耳にしてきました。その中で真理の中をきちんと正道を歩むことが出来たのは神の恵み以外の何ものでもありません。

神様からの力を頂いて私たちのライトフォーライフミニストリーは国境を越えて発展してきました。そして私たちの働きによって多くの人達、韓国、中国、アメリカの人たちの心を揺り動かしてきました。すべての功績は神様です。お金もなく、必要な機材も初めはありませんでした。当初は私と私の妻と二人の子どもで小さな家に住んでいてライトフォーライフミニストリーに捧げていました。最初は何をすべきかどこに行くべきか分かりませんでした。神様の恵みによって一步一步導かれました。今日多くの日曜教会バビロンに属する人たちに会うことが出来ます。インターネット配信は多くの方々に届いています。中国政府、警察から警告を受けていますが、発展しています。過去100年にわたって最終メッセージをのべるのは実際にここ以外では見たこと聞いたことはありません。私たちは神様の恵みの幻を持っています。イエス様の来臨を早めるために力の限り働くつもりです。この世は長くありません。ぜひイエス様においでになってほしいのです。日本の兄弟姉妹もイ

エス様のおいでを早める三天使の使命の働きに参加してほしい。

皆さんの人生の目的は何ですか？皆さんが息をしている目的は何ですか。皆さんが世的な願望野心を抱いているなら再臨の時は無に帰してしまいます。みなさんのすべてのすべてがイエス様に帰すように。サンライズの方々は完全な人達ではありませんし、彼らの働きも神様から見ればきっと不完全でしょう。しかし神様は私たちの心を見られます。教会が正しいメッセージをのべ伝えることなく、妥協するなら、世界の各地でバプテスマのヨハネの様な人を起こします。皆さんがヨハネのようになれるように。力をつくして魂の救いのために働いて下さいますように。

あるとき引退した牧師が別の教会を訪問したことがあります。その教会の牧師さんが訪問した年老いた引退牧師を会衆に紹介しました。この年老いた方は私の命を救う為に、自分の息子さえも犠牲にしましたと言いました。会衆は、どうせ大したことはないと思っていました。それを聞いた教会の人たちは牧師の言ったことに関心を払いませんでした。礼拝が終わって数人の若者が引退牧師の

ところにやってきました。彼らは冷やかした感じで質問をしました。先生はどうしてあなたのことを命の恩人だと言ったのですか？疑ってかかっている態度でした。この年老いたか弱い牧師さんはしばらく黙って、語り始めました。ある日、ある父親は、自分の息子と息子の友達と3人で釣りに行きました。その時海で嵐に遭いました。小さな船で釣りに出かけて戻ることが出来ずに転覆しました。3人とも海に投げ落とされました。激しい風でした。そして救命道具は1人分しかありませんでした。自分以外に一人だけしか助けることが出来ません。見たら自分の息子と友達が溺れかかかっていて、助けてと叫んでいました。お父さんはどちらをたすけようかと。父親は一瞬祈ってから、自分の息子ではなく、息子の友達に救命道具を投げました。父親は溺れかかっていた息子に、言いました。お前はクリスチャンだからキリストを個人的救い主だと知っているよな。お前の友達はそれを知らない、友達はまだ生きて救い主を受け入れるための機会を与えなければならない。息子よ、さよなら。平安の内に亡くなりなさい。復活の時にまた会おう。息子は静かに海の中に沈んでいきました。この物語を聞いた若者たちは信じられない感じでした。さらに質問しました。「その人たちを知っているのですか？どうして父親はこの

ようなことが出来るのですか？」と。引退した牧師は答えました。「その父親は私です。あなたたちの牧師は息子の友達だったのです。」若者たちの目には涙があふれていました。自分たちの牧師が「命の恩人だった」といった意味がやっと解りました。他の人が救われる機会のために、全てを犠牲にしなければいけません。これこそが真の伝道です。すべてを神様に捧げる時神様が私たちを用います。

毎日このように私は祈ります。同胞の人が生きられるように私を導いて下さい。三天使の使命が全世界に述べ伝えられることを神様は望んでいます。第一の天使は永遠の福音をのべ伝えています。第二の天使はそれに続いてバビロンの倒壊を宣言しています。第三天使が続いて獣の刻印の警告を伝えています。天から舞い降りてくる永遠の福音を拒絶するなら彼らの心も墮落してしまいます。ついに彼らは獣の刻印を受けるままになってしまいます。この福音は一度も変えられたことはありません。これこそが罪人の将来を変える力があります。イエス・キリストの力は人の心を変える力があります。私たちの品性の修理ではなく再創造をなさろうとしています。私たちが安息日を守るのは創造の力を信じ受け入れるからで

す。私たちが福音の力を信じているという信条を態度で表しているのが安息日です。それを全世界に伝えるのです。皆さんはこの福音を日本の人々に伝える特権が与えられています。この国に住んでおられる人々の関心を引くために皆さんは何が出来ますか？どんな単純な言葉で伝えることが出来ますか？私は毎日そのことについて祈っています。日本や韓国、中国に対して重荷を負っています。人々が関心を抱きさらに献身をしたいと思うように、どうしたらよいか毎日毎日考え祈っています。彼等の関心をつかむために何を言ったらいいのか、何を書いたらいいのか祈っています。日本人の心の琴線に触れる為にどのようなアプローチをすればいいのか神様は知っています。ライトフォーライフミニストリーはその為に祈り続け研究し続ける所存です。

日本の方々の心をとらえる為に単純な方法を神様が近いうちに示されます。神様が救霊の働きを私たち一人一人に任命なさっているからです。その為に私たちを召されています。その任命を果たすために神様の期待にそう為に私たちの時間金銭を捧げるべきです。その為以外に生きるなら何という浪費でしょうか。無に帰してしまいます。1ヨハネ5:16「も

しだれかが死に至ることのない罪を犯している兄弟を見たら、神に願い求めなさい。そうすれば神は、死に至ることのない罪を犯している人々には、いのちを賜わるのであろう。死に至る罪がある。これについては、願い求めよ、とは言わない。」ここで皆さんと共に単純な聖書研究をしたいと思います。聖書は二種類の罪があると言っています。一つは死に至る罪、もう一つは死に至らない罪。どういう意味ですか？犯しても大丈夫な罪があるということでしょうか？たいていの場合真に生まれ変わる経験をするなら、私たちの弱さから出てくる間違った罪です。意図的に罪に向かうようなことはありません。罪を犯したときは心から悔い改めます。それは必ずしも罪のために面目を失って恥ずかしいからではなく、神様に対して申し訳ないと思います。心から悔い改めるなら。死に至る罪は、私たちがつかんで離そうとしない類のものです。習慣的な罪とも言います。悪いと知りながらそれを捨てないで抱き続けること。抵抗しないこと。大事にしている罪は非常に危険です。私たちが聖霊の声に抵抗するたびに、内にある罪はますます強力になっていきます。その罪が凝り固まってきます。

アメリカのカリフォルニアのある場所にはたくさんの化石を見る場所があります。かつては生きた植物だったわけです。年輪も見ることが出来ます。石が生き物だったことも分かりますが、それが今は石になっています。今こそ私たちの心を清める必要があります、悪習慣を捨てる時です。品性の欠陥を正すのは今であります。その働きを怠るなら習慣的罪はますます凝り固まって化石のようになり、罪に勝利することが出来なくなってしまいます。動かすことのできない品性の特徴となります。私たちの心には欠陥が残っています。そのような罪を捨て去らなければ死に至ります。許しを得ることは出来ません。聖霊の声に応答することが出来ないからです。その過ちの内に凝り固まってしまうのです。言わんとしていることが分かりますか？非常に深刻な問題です。日に日にその問題に取り組まなければなりません。ヨハネ1:26、7「ヨハネは彼らに答えて言った、『わたしは水でバプテスマを授けるが、あなたがたの知らないかたが、あなたがたの中に立っておられる。それがわたしのあとにおいでになる方であって、わたしはその人のくつのひもを解く値うちもない』。」33節「わたしはこの人を知らなかった。しかし、水でバプテスマを授けるようにと、わたしをおつかわしになったそのかたが、わた

しに言われた、『ある人の上に、御霊が下ってとどまるのを見たら、その人こそは、御霊によってバプテスマを授けるかたである』。」

ここで語っているバプテスマのヨハネは二種類のバプテスマのことを言っています。水によるバプテスマと火によるバプテスマ。水はきれいにします。外側の汚れをきれいにします。ただし問題の根底を取り除いてはくれません。聖霊による火のバプテスマとは違います。火は焼き尽くしてしまいます。皆さんの汚れを焼き尽してしまう作用があります。心を清め形造ってくれます。イエス様はこのようなことをしてくれます。印する働きをする時代に生きています。過去に何度もそのような話を聞いていると思いますが、単なる真理の知識にすぎません。その知識を得たら単にもっとよく知ったにすぎません。真理が個人的な経験において現実なものにならない限り単なる真理を知っていることはやがて呪いとなります。ある人は繊細な心を持っていると言います。人の言動によって傷つきやすいと言います。そのような心の状態は利己心が元気に生き続けているからです。皆さんの利己心は死んでいないのです。もしかしたら皆さんは他の人から見たら素晴らしい人格のクリスチャ

ンに見えるかもしれませんが。誰かが憤慨するようなことを言ったり、プライドを傷つけられたりしたら怒ります。心の王座をイエス・キリストに明け渡していないのです。我慢ができないのです。利己的な思いを抱いているのです。不平不満を多く抱いているなら何か間違っています。もし皆さんが何らかの間違ったことを言っている団体に対して恨みを抱き続けているなら、あなたの霊的生活が間違っています。憎しみ恨み不平不満を心に抱いたままにいませんか？誰かにあるいは神様に対して。今日皆さんどのような精神を抱いていますか？このような病んだ精神を抱き続けていると死に至ってしまいます。恨みつらみを持ち続けること、すぐに人の言葉に傷つくような品性を持ち続けるなら決して生ける神の印を受けることはありません。死に至ります。危険です。聖霊に心の内に入って頂いてそのような罪を焼き尽して頂きましょう。外側だけの洗い清めだけではなされることはありません。神様の真理を知っているだけではいけません。聖霊に心に入って頂いて心の汚れを全て焼き尽くして頂く必要があります。イエス様がおいでになるとき朽ちるべき肉体は朽ちない肉体になります。そのことが起こる前に心を備えて魂を清めていただかなければなりません。そのような心の準備をして始めて永

遠に生きることが出来る体を頂くことが出来ます。みなさんの罪深い習慣はどのようなものがありますか？人の心を巧妙に傷つけたり、利己的な思考、自分のことしか考えない人。そのような利己心が皆さんの心にあるのは周りからは分かりませんが、自分自身では知っています。ですから自分自身で祈り、主に心を探って試してもらう必要があります。

創造の業を受けて聖なる者たちと調和できるものになりたいのです。私の利己心によって誰も傷つけたりしたくありません。聖霊を頂いて変えて頂けますように。なぜならあなたの創造に属するものになりたいのです。私の心を読んでください。新しい心を創造してください。私の内に正しい心を与えて下さい。私には出来ませんが、あなたは出来ます。そのような祈りをささげる必要があります。

聖霊のバプテスマを真に経験するなら神の力が皆さんに注がれます。その時私たちの携わる伝道を誰も阻むことは出来ません。その時永遠の福音の御業は全世界にのべ伝えられます。多くの人はそのを見て驚くでしょう。多くの教会の指導者たちや教団が驚くでしょう。神様の働きを見

ておおくの人がショックを受けるでしょう。その為にも私たちは魂を備える必要があります。ヘブル12:27「この『もう一度』という言葉は、震われないものが残るために、震われるものが、造られたものとして取り除かれることを示している。」28、29節「このように、わたしたちは震われない国を受けているのだから、感謝をしようではないか。そして感謝しつつ、恐れかしこみ、神に喜ばれるように、仕えていこう。わたしたちの神は、実に、焼きつくす火である。」

まだ皆さんの内にふるわれるものがありますか？天国の教会にふさわしくない何ものかです。ヘブル12章では聖徒たちの集いについて書いてあります。それにあずかるのにふさわしいものにならなければなりません。邪悪な状態にありながら神様はイエス様を私たちの模範として与えてくれました。他にもダニエル、エノク、バプテスマのヨハネがいます。ある人は生まれた時から彼らは善良だったと言います。しかし彼らも自分の罪と格闘して勝利したのです。これから大切なことを言います。神様は皆さんの過去に関心はありません。皆さんが今日、明日何をするかについて関心を持っています。私たちの真の心の意図は何でしょうか？本当に神様に

全的な信頼を置きたいと思っ
ていますか？その心に神様は関心を持っ
ています。神様は焼きつくす火です。

私も過去において聖霊の働きに抵抗したことがあり、その実を刈り取って学んだことがあります。例えば心臓の大手術をして初めて目覚めた時私の生涯は全く異なりました。なぜ生き残ったのか？医者には死ぬでしょうと言われたのに。この治療の過程を通っていたときに非常に困難な状況でした。回復段階にあって指を動かす力もないほどでした。ものすごい痛みも経験しました。実際には望ましくない経験をさせていただきました。非常に困難な経験を通らせていただきました。今皆さんの前に元気そうに見えるかもしれませんが困難な経験をしたのです。今でも何をするにも妻の助けが必要なのです。やけどをしなければ歩くことは出来たのですが、心臓の手術後は体がかくんと弱りました。家内は私を愛してくれますから結婚して38年生きてきました。時々、「今となって僕を捨てたいとおもわないでしょ？」と言います。彼女の真の愛が試されてきました。彼女はまごころから看護をしてくれます。悪いなあと思うこともあります。2人の子どもも大人になりましたが、この大きな子供の世話は大変だと思います。

心臓手術後目覚めてある事を考えた時間がありました。術後4日間眠り続けました。徐々に眠りから覚めて生きていることが分かりました。自分の肉体の問題を抱えたまま。あの時死んでいたら楽だっただろうなど考えることもありました。リハビリを頑張っ行って行いました。又再び二本の足で立ち上がるには大変でした。神様がぱっと一瞬に癒されて神様の素晴らし癒しを見せること出来れば人々は私の説教に耳を傾ける・・ような筋書にはなりませんでした。他の心臓疾患の患者と同じ道を歩ませました。私たちの心は汚れています。私たちはイエスキリストによって心の大手術を受けなければなりません。日に日に成長を遂げ再び歩くことを習得しなければなりません。適切な言葉を語る、正しい考えを持つことを学ばなければなりません。ペテロの生涯が変えられたことを知っています。多くの聖徒たちの生涯が変えられたことを見聞きしています。私たちも聖霊の手術を受け、思考パターンを変える必要があります。すぐに感情的になる心、利己心を持っています。それが心に詰まっています。どのようにして変えられるのでしょうか？聖霊の火によって焼き尽して下さいます。私たちを変えてくれます。変えられた後イエス様に似たものとして下さいます。単に行動が親切になるばかりではありませ

ん。心の意図、思い、感情を変えてもらい真の人生の目的を持たなければなりません。イスカリオテのユダはそのような働きに抵抗しました。聖書によると彼は夜出て行きました。獣の刻印を受けました。今こそ聖霊の火のバプテスマを受けるべきです。主よどうぞ心を探して下さいと祈るべきです。魂の価値を再評価すべき時です。神様の祝福が皆さんの内にありますように。この場にいなくてもCDを聞いて祝福があり一人一人をたすけ、後の雨を受けるのにふさわしいものにして下さいますように。すみやかに収穫されて故郷に帰りたいです。ちまたでは真理を求めている魂があります。この魂に出会うことが出来ますように。

祈ります。「天のお父様、今日あなたに特別なお願いをしたいと思います。私たちの誤りを通して訓練してくれました。すみやかに備えられたいと思います。あなたの伝道の力になりたいと思います。魂を救う働きのためにあなたの道具になりたいと思います。あなたの栄光が私たちにのぞんで、光となれますように。このどうしようもない弱い状態から私たちを救ってください。すみやかにおいで下さい。この世に留まりたくありません。特別に日本という国を祝福してください。クリスチャン人口はわずか

です。私たちの失敗を告白します。心の誠実な魂に出会うことが出来ますように。多くの魂に何を言ったらよいか力を与えて下さい。日本で短期間に働きを完成すること出来るように助けて下さい。あなたが達成なさることを信じます。イエス様の御名によってお祈りします。」アーメン

講義 6

「仲保者なしに」

金城重博

「仲保者なしに」というテーマです。仲保者なしとはどういうことでしょうか？ SDA の先駆者がしっかり持っていた真理が教会で今説かれなくなっています。ユダヤ制度に福音がぎっしり詰まっている！とエレン・ホワイトは言っています。聖所のすべては、イエスを象徴しているのです！外庭から至聖所までに、真理の全体系があります。しかし、キリスト教は一部分だけ取ってこれが真理だと思っています。

贖罪の 1,2,3 真理の全体系を表す

「天の聖所は、人類のためのキリストのお働きの中心そのものである。… どんなにか重要であろう。… 何よりも重要である。… 天の聖所における、人類のためのキリストのとりなしは、キリストの十字架上の死と同様に、救いの計画にとって欠くことのできないものである。キリス

トは、ご自分の死によって開始された働きを、復活後、天において完成するために昇天されたのである」大争闘下 222

「しかし、人々（1844 年の再臨信徒）は、まだ主に会う準備ができていなかった。まだ、彼らのためになされねばならぬ準備の働きがあった。彼らは、まず光を受けて、天にある神の宮に心を向けねばならなかった。そして彼らが、そこで奉仕しておられる彼らの大祭司に、信仰によって従っていくときに、新しい義務が示されるのであった。もう一つの警告と教えの使命が、教会に与えられるのであった。

預言者は語っている。『その来る日には、だれが耐え得よう。そのあらわれる時には、だれが立ち得よう。彼は金をふきわける者の火のようであり、布さらしの灰汁のようである。彼は銀をふきわけて清める者のように座して、レビの子孫を清め、金銀のように彼らを清める。そして彼らは義をもって、ささげ物を主にささげる』（マラキ書 3: 2、3）。天の聖所におけるキリストのとりなしがやむとき地上に住んでいる人々は、聖なる神の前で、仲保者なしに立たなければならない。彼らの着物は汚れがなく、彼らの品性は、血をそそがれて罪から

清まっていなければならない。キリストの恵みと、彼ら自身の熱心な努力とによって、彼らは悪との戦いの勝利者とならなければならない。天で調査審判が行なわれ、悔い改めた罪人の罪が聖所から除かれているその間に、地上の神の民の間では、清めの特別な働き、すなわち罪の除去が行なわれなければならない。この働きは、黙示録 14 章の使命の中にさらに明瞭に示されている。

この働きが成し遂げられると、キリストの弟子たちは、主の再臨を迎える準備ができるのである。『その時ユダとエルサレムとのささげ物は、昔の日のように、また先の年のように主に喜ばれる』（マラキ書 3:4）。その時、主が再臨されてご自分のもとに受け入れられる教会は、『しみも、しわも、そのたぐいのものがいっさいなく、……栄光の姿の教会』である（エペソ 5:27）。また、その教会は、『しののめのように見え、月のように美しく、太陽のように輝き、恐るべき事、旗を立てた軍勢のような者』である（雅歌 6:10）」大争闘 下 140,141

イエスは十字架の後、天の聖所の第一の部屋にお入りにな

りました。その後、1844年に最後の働きをするために、奥殿、至聖所に入られました。

天に入るためにはどんな経験が必要でしょうか？

人は皆罪を生まれながらに持っています。罪を告白すると、その罪はイエス様に移され、不思議なことに、人の心には平安が与えられます。良心のとがめは去りとパウロはヘブル書で言っています。しかし、尚、私たちの心には罪の傾向が残っています。だから、夢などで、自分の過去の過ちを思い出したりします。そのたびにサタンはほら見ろ、あなたはあんな罪を犯したじゃないかと攻撃します。このようにして、罪を告白していながらも罪の記録はまだ人の心に残っているのです。人は聖霊によって、罪が示されたならば、悔い改めて、心は平安を得ます。しかし、キリストを眺めれば眺めるほど、自分の罪深さに気が付くようになります。クリスチャンの経験が深まれば深まるほど、自分の罪深さ、無価値さを悟るようになります。イエス様にもっと近くはべった人は、自分の罪を意識するようになります。もし、自分の罪深さを感じないならば、キリストから離れている証拠だそうです。人は死んだ後裁きを受けます。裁かれるのは怖い

ですね。徹底的に調べられます。天使はすべて記録しています。しかし、罪の記録は我々にも残っているのです。天の記録だけでなく、本当の原本は人の脳にある記録です。天の聖所は人の心の写しだと大争闘に書いてあります。だから、コピーだけ清められて原本は清められないというのはおかしいです。記録は残っています。裁きのことを調査審判と言います。裁きを受けてその後、罪が消されて、復活するときには、イエス様の御かたちになっています。ある人達は裁きの前に完全になっていないと救われないと教えます。裁きの前に、罪の一つ一つに勝利しなければなりません。まだ罪はのこっているのです。再臨の時には心も、また体も清まっているのです。ある人は、生きている間に裁きを受けます。国下 193 - 196 を見ると、彼らは自分の罪深さのために絶望すると書いてあります。生きて主を迎える人は、悔い改めていることを条件に、日曜休業令の後、もろもろの罪が消されて、清められるのです。認知症になると、理性がなくなり、欠点があらわになってきます。なんて人間は汚いのだろうと思うほど。このような性質は天に行く前に消されなければならないのです。私たちの教会で調査審判が教えられていました。清められないと救われないうと人々は恐れていました。しかし、さばきは福音だと教えられて

います。ダニエル書にも聖徒のために裁きがなされると教えています。大祭司が、罪びとのために「わが血、わが血」といってとりなして下さる。罪を消されなければ、天に行くことが出来ません。生きて主を迎えない人は死んで後、清められるのです。罪が清められるのが福音なのです。しかし、やがてイエス様の仲保のはたらき、清めの働きが終了します。そして、7つの災害が始まります。死んだ人は死んだあとに裁かれ、清められます。しかし、生きている人は、悔い改めの故に生きたまま罪が取り除かれます。仲保の働きの後災害がくだります。まもなく人類の恩恵期間が閉じられます。

キリストが仲保の働きを終えると、黙示録 8:5, 6 に書いてあることが成就します。黙示録「8:5 御使はその香炉をとり、これに祭壇の火を満たして、地に投げつけた（仲保の働きが終わったとの意）。すると、多くの雷鳴と、もろもろの声と、いならずまと、地震とが起った。8:6 そこで、七つのラッパを持っている七人の御使が、それを吹く用意をした。」

黙示録 16 章には 7 つの災害が描写されています。かつてないほどの大地震が起こります。一タラ

ントの雹も降ってきます。一タラントとは100斤だそうです。さまざまな疫病もあります。人類の運命が決定されたのち、「不義な者はさらに不義を行い、汚れた者はさらに汚れたことを行い、義なる者はさらに義を行い、聖なる者はさらに聖なることを行うままにさせよ」。黙示録 22:11。そして七つの災害が起こります。そのとき、仲保者なしに人は生きなければなりません。罪の執成しをしてくれるお方はいません。新垣三郎先生が若い時、上司の命令で、サイパンで人を殺しました。自分でやったと言いなさいと上司に言われていたので、裁判のとき、三郎先生は自分がやりましたと言いつづけました。三郎先生はその上司が一人で日本に逃げたと後で聞き、びっくりして、初めて裏切られたことを悟りました。そこで、裁判のやり直しを求めましたが、もう裁判はおわっていたので、彼の有罪は取り消されませんでした。私たちが恩恵期間中に告白して、罪が取り除かれていないと、手遅れになります。後ではもうどうにもならないのです。

初代文集 149 「わたしは、また、悩みの時に、聖所に大祭司がおられないで、神のみ前に生きるためにはどのような状態でなければならないかを、悟っていない人が多く

あるのを見た。生ける神の印を受け、悩みの時に保護される人々は、イエスのかたちを完全に反映していなければならない。(これは人間わざではありません。ただ悔い改めて、神の功績に頼らなければ、ならない。罪の許しは瞬間的に与えられる。そして聖化は一生のはたらきだが、罪の除去は瞬間的に与えられる。)

わたしは、多くの人々が、必要な準備をおろそかにしていながら、主の日に立ち得て神のみ前に生きるにふさわしいものとなるために、「慰めの時」と「春の雨」(後の雨)とを待っているのを見た。ああ、わたしは、なんと多くの人々が、悩みの時に、避け所がないのを見たことだろう。彼らは必要な準備を怠った。だから、彼らは、聖なる神の前に生きるのに適したものと彼らをするために、すべての者が持たなければならない慰めを受けることができなかった」。これは多くの人々が持たなければならない経験。

準備するのは今 大争闘下 396-397、レビ記 16:30、ダニエル 8:14、エペソ 5:27

「かつてなかったほどの悩みの時が、まもなくわれわれの前に展開する。それだからわれわれに

は、1つの経験—今われわれが持つておらず、また多くの者が怠けて持とうとしない経験—が必要なのである。現実の困難というものは、予想したほどではないということがしばしばある。しかし、われわれの前にある危機の場合は、そうではない。どんなに生々しく描写しても、この試練の激しさには、とうてい及ばない。この試練の時に、人間は、みな、自分で神の前に立たなければならない。『主なる神は言われる、わたしは生きている、たとえノア、ダニエル、ヨブがそこにいても、彼らはそのむすこ娘を救うことができない。ただその義によって自分の命を救いうるのみである』(エゼキエル 14:20)。

今、われわれの大祭司がわれわれのために贖いをしておられる間に、われわれは、キリストにあって完全になることを求めなければならない。救い主は、その思いにおいてさえ、誘惑の力に屈服されなかった。サタンは、人々の心の中に、なんらかの足場を見つける。心の中に罪の欲望があると、サタンはそれを用いて誘惑の力を表わす。しかし、キリストはご自身について、『この世の君が来る……。だが、彼はわたしに対して、なんの力もない』と宣言された(ヨハネ 14:30)。サタンは、神の子の中に、彼に勝利を得させるなんのすき

も見つけることができなかった。神のみ子は、天父の戒めを守られた。そして、サタンが自分に有利に活用することのできる罪が、彼の中にはなかった。(われわれにはまだある。)これが、悩みの時を耐えぬく人々のうちになければならない状態なのである。」わたしたちは救い主を受け入れる時、神の子として認められるが、まだ罪があります。贖罪の犠牲の全能者の仲保の働きで、イエス様のような完全なものに変えられます。

この大真理が教会で説かれなくなりまして。祝福がまっているのに、これをうけないと7つの災害をとおりぬけることはできないのです。仲保者を必要としない人：①罪を犯す前のアダム、②地上におけるイエス、③罪が除去された144,000。プリントが回っていると思いますが、完全主義と完全は違います。エレン・ホワイトが説明しています。完全主義はもう罪はないと主張する。しかし、144,000は違います。自分の罪深さを強く意識する。聖書に書いてある事を素直に受け入れる。イエス様は完全に父に依存しました。ルシファーは、自分たちは完全なのだから、なぜ天父に依存する必要があるのか？と天使たちを惑わしました。完全になって7つの災害を通り抜けます。これは神の最後の仕上げです。なぜ、イエスさま

は私たちから、罪を取り除くのでしょ
う。「イザヤ書 43:25『わたしこそ、
わたし自身のためにあなたのとがを
消す者である。わたしは、あなたの罪
を心にとめない』。」これが最後の贖い
です。何で SDA は十字架の力を信じ
ないで、贖いにもう一つの働きがある
というのかと 50 年代にマーチン博士
たちに言われて、それを言わなくなり
ました。キリストの恵み、聖霊によっ
て、彼らの罪が除去されて、再び罪を
おもいだすことがないようにしてく
ださる。全宇宙のために人は神の律法
を守ることが出来ることを証明する。
最後の贖い。罪の除去。これが教会
で説かれていますか？イエス様はご
自身のためにこの働きをしなければ
ならないのです。この宇宙のもの全
ては、御子にあって、御子によって、
御子のために造られました。だから
私自身のためにイエス様は罪を消す
と言われるのです。「岩橋武雄の経験。
だんだん目が見えなくなり、大学で学
業を続けることが出来なくなった。自
殺しようとした。母親がそれに気が付
き、止めた。『なぜそんなことをする
の！』『生きていてもしょうがない！』
と言って、二人の間答が続いた。最
後に『お母さんの為に生きてくれ！』
とお願ひした。それなら彼女のために
生きようと決めた。妹と散歩をしてい
た。教会から讚美歌が聞こえたので、
入っていった。牧師が盲人の話をし

ていた。盲人について、弟子たちが、
彼が盲人なのはその人の罪のためで
すか？親の罪のためですか？イエス
はそうではない、神の御業が現れるた
めだと言った。武雄は感動し、牧師に
感謝した。妹と大学に行くことにし
た。学校は初め無理だと思っていたが、
彼の情熱におされて許可した。優
秀な成績で卒業した。ある女性にあっ
て、『私を一生あなたの杖にしてくだ
さい』と行って結婚を申し込まれた。
結婚して、留学した。2つも博士号を
とって帰ってきた。同窓会があった。
彼のスピーチ『世界で一番強い人は、
自分の弱さを知っている人である。世
界で一番、ほほえむことができるのは
涙の味を知っている人だ。』と言いま
した。何がこのような成功に導いたの
でしょうか？「お母さんのために生き
てくれ」という母親の切なる願ひから
でした。イエス様のために生きるとい
うことは大事なことです。

大争闘下 140 「天の聖所におけ
るキリストのとりなしがやむ
時地上に住んでいる人々は、聖なる神
の前で、仲保者なしに立たなければ
ならない。彼らの着物は汚れがなく、
彼らの品性は、血をそそがれて罪から
清まっていなければならない。キリス
トの恵みと、彼ら自身の熱心な努力と
によって、彼らは悪との戦いの勝利者

とならなければならない。天で調査審判が行われ、悔い改めた罪人の罪が聖所から除かれているその間に、地上の神の民の間では、清めの特別な働き、すなわち罪の除去が行われなければならない。この働きは、黙示録 14 章の使命の中にさらに明瞭(めいりょう)に示されている。

この働きが成し遂げられると、
キリストの弟子たちは、主の再臨を迎える準備ができるのである(マラキ 3:4)。…その時、主が再臨されてご自分のもとに受け入れられる教会は、『しみも、しわも、そのたぐいのものがいっさいなく、……栄光の姿の教会』である(エペソ 5:27)。また、その教会は、『しのめのように見え、月のように美しく、太陽のように輝き、恐るべき事、旗を立てた軍勢のような者』である(雅歌 6:10)。

イエス様のみ姿を反映させたいと神は望んでおられます。キ道 10「私どもの贖いのために払われた価、私どものためにそのひとり子に死をさえおゆるしになった天の神の測り知れない犠牲を考えると、キリストによって私どもは非常に高潔な状態に到達することができるという

観念をおこさずにはおられません。」

罪の記録さえもなくなって仕上げられるほどの高い理想をイエス様は持っておられるのです。体は朽ちてゆき、再臨の時に栄化されます。しかし、再臨の時、心に変化はありません。イエス様が仲保者として働いておられる間に、私たちの心は清められなければならないのです。清められないで、7つの災害を通り抜けることができますか？神の律法をイエス様が守られたように私たちも守れますか？イエス様の全能の仲保が無駄にならないように、イエスさまのために信じようではありませんか。人には出来ないが、神には出来ないことはない。人間の神学で、目標を低くすることがないようにしましょう。我々の内に願いを起こさせ、実現にいたらせるのは神様です。これは行いによる義ではなく、信仰による義そのものです。

講義 7

「いま悔い改めなければならぬ」 ソン・ケムン

私達は主が間もなく来られます。ということで目が覚めます。主が来られることを言葉だけでなく実際に信じていますか？切迫していることを信じていますか？再臨は目前です。どのような説教が必要ですか？私の心の負担は、真の悔い改めについてです。最近信徒プログラムがありました。クリスチャンに対して間違ったことを指摘するプログラムでした。大きな教会の牧師の間違いが指摘されました。牧師はイエス様を信じて伝えることに情熱を持っています。しかし彼らの生活には何の変化もありません。罪の重さに心は苦しいはず。その為に早天祈祷会をもって罪の許しを請うています。罪を犯した一日を送る生活を繰り返しています。それでもイエス様を一生懸命伝えています。十字架で私たちの身代わりになって下さったイエス様を信じるならすべての問題は解決すると思っています。例えば熱心な教会の信徒です

が、罪を犯していてもイエス様を信じれば救われるのでしょうか？この人の罪が重そうですので、救われなかな？と思いますか？他の譬えです。昨日夫婦ケンカをしました。朝から子供たちを怒りました。あの長老は本当に嫌だと思っています。その人は安息日に一生懸命奉仕します。そのような人だから救いは間違いありませんか？どうですか？なぜはっきりと皆さん答えられませんか？多くの一人一人がそのような状態だから答えられないのです。私は皆さんの前で悔い改めなければなりません。10年前に広島でこう語りました。あんなに一生懸命するならそれは律法主義です。神様を信じればいいと。しかしそんなものなら世の中の人と私たちとの違いは何ですか？同じ罪、貪欲、利己心をもっていてその違いは何でしょうか？罪を認めて朝早く祈ればいいのですか？かえって私の罪はあの人より少しはましだと思っているかもしれません。緋色の文字という小説があります。この小説の時代背景は、アメリカが建国しピューリタンの精神があったころです。主人公の女の人はAという頭文字がありました。Aは姦淫を犯す者でした。村人は彼女を指さし姦淫を犯す人だと言いました。このような女がこの村にいることを村人は許せません。しかしこの女と姦淫を犯したのは、村で一番尊敬されていた牧

師でした。私たちの罪は現れている罪と、隠された罪があります。ゼカ3：1－4「3:1 時に主は大祭司ヨシュアが、主の使の前に立ち、サタンがその右に立って、これを訴えているのをわたしに示された。3:2 主はサタンに言われた、『サタンよ、主はあなたを責めるのだ。すなわちエルサレムを選んだ主はあなたを責めるのだ。これは火の中から取り出した燃えさしではないか』。3:3 ヨシュアは汚れた衣を着て、み使の前に立っていたが、3:4 み使は自分の前に立っている者どもに言った、『彼の汚れた衣を脱がせなさい』。またヨシュアに向かって言った、『見よ、わたしはあなたの罪を取り除いた。あなたに祭服を着せよう』。」福音の確信の課題です。サタンはこの言葉を安物と曲解させ信じさせようとします。主は罪びとに衣を与えて罪が許されると教えています。イエス様は罪びとのためにとりなしをしてサタンは罪びとを訴えています。金城先生を通して調査審判のことを聞いたことがあると思います。このことは、本をもとにして人々を審判するということです。イエス様が至聖所でとりなしながら審判をすることだけでなく、ゆるしも含まれているので、わたしは調査審判より、大贖罪の日に至聖所の審判と言いたいのです。至聖所の審判はイエス様が私たちのためにとりなしをしています。許しだけでなく、罪か

らの勝利を与えてくれます。救いはたやすいことであればいいが、出来るだけたやすい道を多くのクリスチャンは求めています。許してくれればいい、と思い違いをしています。戒めを守ることを教えなければ、らい病人を扱うようになってしまいます。主は全てを受け入れる。信仰による義だと錯覚します。言葉では皆さんに教えながらもそのような考えにおちいったことがありました。完全という言葉は負担に思ったことがあります。私たちは罪びとだから罪を断ち切ることは出来ない、と。そして罪に勝利する教えをする人たちを変な目で見ていたことがありました。完全というのは我慢できない言葉。それは話すだけでも忌まわしい。それを語る人は異邦人より悪く扱われる。なぜ罪を好むのか？この罪から勝利できる教えをするものをこのように扱うのか？

この聖化もイエス様の行ってくださる神の御業です。聖化は自分自身を主に捧げた者に与えられる主の賜物です。自分の力で得るものではありません。1888年の靈感の言葉「イエス様はジョーンズとワグナーの教えをとおして、大切なメッセージを伝えた。このことによって後の雨がそそがれるようになるであろう」。1888年にこのメッセージを受け入れ

ていたならば、働きは終わり、イエス様は再臨なさっていたでしょう。しかし、教会はこれを拒みました。もし今私たちがそれを受け入れるなら、働きを進めて完成するでしょう。

天の父の戒めへの従順に表されます。信仰による義認というのは、彼らがイエスの内にいる故に、義が生活に現れるという意味です。

「イエス・キリストは自ら律法に従った故に、アダムの子孫が全て律法を守れることを示された。」「キリストは墮落した世界、サタン、とその追従者、墮落していない世界に対して、見せる為に、肉の身を負ってこの世界に来られました。父の律法を守れることを証しました。」「この神の民が十字架の力をとおして、十分に勝利することができるために私たちに見せました。」本当の福音と偽の福音を区別することが出来ます。イエス様は罪から勝利されたように、私たちもそれが不可能ではなく、可能であることが証明されました。これが1888年の信仰による義認が伝えたものでした。この世の中の歴史を全うする福音、後の雨を伝える福音を私たちは伝えたいと思います。私たちは何の力もありませんでした。わたしたちは、自分で生まれてくる力はありません。

同じように義となることはできません。しかしキリストが助けて義を行うようにして下さい。上から下る力です。私たちの伝える神は全能の神です。私たちが罪と関係ない状態になれるように導く神です。皆さんが信じていても信じなくても、私たちが従うことのできない律法を要求する神ではありません。多くの者は完全という言葉を誤解しています。完全というのは私たちが行うことを強調するのではなく、神が私たちを助けて行うことが出来るようにして下さいの恵みです。罪に勝利することが出来る知識はただの理論ではなく、経験とならなければ、意味がありません。自分のものとしてこれを経験できなければ、義認について説くことは出来ないと思います。ゼカリヤの言葉の文脈をみると、罪を指摘するのではなく、すでに悔い改めた罪について攻撃することです。私は罪を犯したことがないという人は一人もいません。しかし悩まないでください。この忌まわしい罪は赦されてきました。私たちは罪びとです。すべての罪をすてましたか？はい。すてました。しかし、まだ罪をいだいていますか？その人は十字架のもとに来て下さい。まだ恩恵期間です。許されることが出来る時期です。この間に、すべてを捧げて主に従わなければなりません。イエスが嘆願する時2つの根拠を持って嘆願します。彼が流

された血です。そして、人間の悔い改めです。私たちには恵みの時間がまだ残っています。天のお父様は訴える方ではありません。皆さんは祈るとき、何と祈りますか？私には子供がいて、皆さんにもいると思います。子供が一番かわいい時はいつですか？子供が罪を告白してくる時です。その子をだきしめることしかできません。ゼカリヤ書の中でヨシュアに白い衣を着せる時はただの茫然とした許しではありません。父は本当にこの人が許されたことを証明するために清めて下さいます。私たちは罪無しとされて神のみ前にたち、働き人として立たせて下さいます。ゼカリヤをみると白い衣を着せられます。4章を見ると、オリブの木に象徴された聖霊の注ぎが書かれています。聖霊の力によって勝利するゼルバベルです。真理の敵は平安だ、無事だと罪びとに安心感を与えます。だれかが皆さんの所に来て、人を非難する言葉を聞いたら、「サタンよ、出て行け」と言うべきです。みなさんもこのようにしていただきたいと思います。まだ憎んでいる人がいませんか？習慣的に罪をおかしつづけていませんか？人々は他人をののしって、喜びを感じるようです。イエス様はそのようなことをなさいませんでした。人々が自分を愛するようにサタンは導きます。汚れた人間の姿がそこにあります。人に指をさす習慣から離れ

なければなりません。間もなく主がこられます。間違ったことを考えることから救出される必要があります。改革される必要があります。私は罪びとです、無価値なものです。罪を徹底的に悔い改め、罪と反対方向に向かうことです。多くのものが救いの確信があるのに、それを覆そうとするのかと言うものもあります。罪から分離しなければなりません。罪に執着するなら永遠の滅びによって火に焼き尽されます。恵みの時代の今こそ聖霊が私たちの内を清めて下さり、主の言葉にすべてを屈服させることが大事です。私たちはこの末の時代に主の福音をのべ伝えなければなりません。福音が力をもたらすのでしょうか？福音をのべ伝えるものがその生活を一致させるからです。長老教会で20年間信仰生活を送りました。15年間真理について改革をしました。勇気がいりました。20年過ごした仲間から分離するには勇気がいります。新しい友、職場を見つけなければなりません。真理はともし火で友人です。その中であって新たな敵が見つかりました。それは自分自身のジェラシーと自我でした。家族に嫌な思いをさせました。自分に勝利できませんでした。律法のもとにいて思っていたのに、私は罪に執着しているのに気が付きました。私たちがこの中で生き方を改変する聖霊の支配に従っていないなら罪について知らな

いのです。私たちは神以外の中で救出されなければなりません。教団や新神学で救出されなければなりません。イエス様は自分の民を罪から救う方です。罪から救われることなしに真理のことで論争しても無意味なことです。罪に対する正しい理解なしに救われるとサタンは惑わします。一生懸命真理を聞くから救われると勘違いしてはいけません。真理は教理を伝えることでなく、自分の生き方を示すことです。変化された心を持つと言うことはこの世の中の愛着を捨ててキリストに対して愛着を持つことです。新しい動機を持つことです。新しい心を持った証拠はそれこそ変わった生涯、時々刻々、自分に死ぬことです。これこそ最終時代を生きる聖徒の姿です。私を信じるならばすべての戒めを守る事であるとあります。月が明るかったフランスであったお話です。2人の男女がいました。美しい女性の心を得ようと若者は戦っていました。一緒にいた男性はどんな心だったのでしょうか？女性の為なら何でもしようと思っていました。風が吹いて女性の長い髪の毛で男性の顔を撫でていました。あなたが私を本当に愛しているなら、あなたのお母さんの真珠を持ってきてくださいと女性に言われた男性は、遠くまで走っていき母親の真珠を持ってきました。一刻も早く走っていきたいと思いましたが、思わず転んでしまい

ました。転がった真珠を持って立ち上がりようとしたら、母親が、息子よ、だいじょうぶ？と言いました。これは実在の話ではないのですが、私たちは自分の欲求を満たそうとしてこの世を一生懸命走っているのです。自分の欲求を満たそうとする相手を見つける為に走っているのです。そしてついたところはゴルゴタの十字架です。誰かが十字架にかけました。ローマ兵は心臓を突き刺します。「父よ、彼らをお許してください。彼らは何をしているのか分からないのです。」とイエス様は言います。この意味が皆さん分かりますか？この意味を知ってもイエス様を利己心のために十字架にかけるのですか？私たちは罪の中に捕らわれた哀れなものです。私たちの悪がイエス様を罪に定めました。イエス様を信じると公言しながら主の御手を釘打ちながら、自分で何をしているのか分からないのです。私たちは十字架の経験を生きているうちにしなければなりません。罪に死ぬ経験をする必要があります。その経験をしないならイエス様がこの世を全て清くするとき、私たちは罪と共に焼き尽くされます。罪から清くなるか、罪と共に焼き尽くされ清くされるでしょう。愛する日本の兄弟姉妹たち単純なことです。私を生かすためにイエス様が十字架にかけられました。私の為です。私自身がイエス様を殺したのです。イエス

様は十字架の苦しみで死んだのではなく、十字架の下で自分の子らがあざけりながらいるのを見て、イエス様の心臓が破裂して死んだのです。今こそ悔い改めなければなりません。遅れてはいけません。祈ります。「天のお父様、私たちは罪びとです。罪から引き上げる力を神様は持っています。イエス様の心臓を破裂させる罪から解放してください。私たちを通して主が栄光を受けられるように助けて下さい。天のお父様が私たちを愛して下さい、私たちを受け入れて下さり、迎えに来る約束があります。主を迎えることが出来るように準備させて下さい。主イエス・キリストの御名によってお祈りします。」アーメン

講義 8

「霊的な心」

デイビット・カン

今日の話のテーマは非常に重要でありながらも、多くのクリスチャンが気付いていないことを話します。きっと助けとなる事でしょう。多くのクリスチャンがイエス様との歩みで倒れてしまうと考えています。何が、彼らを倒れさせるのでしょうか？私たちの霊的経験は科学なのです。神様は私たちの体である宮をとおして働きかけます。聖書は私たちの額に印が押されると述べています。なぜ、でしょうか？エゼキエル9章を見ると、「9:4 彼に言われた、『町の中、エルサレムの中をめぐり、その中で行われているすべての憎むべきことに対して嘆き悲しむ人々の額にしるしをつけよ。』」タル（しるし—ヘブル語）を押しなさいと書いてある。一つの意味は、タルは最後まで忠実であることを意味しています。タルはヘブル語で最後の文字だそうです。タルは後に簡素化されて十字架そっくりになりました。タルという文字、印される働きについて詳しく話す時間は、

今日はありませんが。神様は私たちの額に働きかけます。この額のこの部分に、善悪を見極める機能があります。印とはポーンと押すものではなく、過程です。真理を信じて受け入れて、聖霊を招き入れて私たちの内に働いていただくならば、品性から聖徒にふさわしくないものを取り除いて下さるのです。そして宇宙で、永遠に生きるのにふさわしい品性を形作って下さるのです。ちょうど像を作るようにです。神の御心、律法に従う、そのような像です。私たちが神さまに委ねる時、神はそのように形作ってくださいます。私たちは見るものによって変わります。これは重要なことです。生きているこの時代は娯楽にあふれています。俗的なものは、そのようなことを考えるように私たちをいざないます。そうやって俗的なものに捕らわれると、わたしたちは正しく考えられなくなります。混雑した状態になっています。映画、音楽、広告、新聞、ラジオ、ありとあらゆる情報が私たちを攻撃します。考える暇が無くなります。瞑想する時間も無くなります。常に何かを見聞き、自分で考える余裕がなくなってきました。そして知らずして世の影響に染まっていきます。私たちが霊的な人間にならないようにサタンは私たちの思いを攻撃してきます。そしてサタンは勝利します。私の健康問題は過去2年にわたって

ありました。昨年、心臓手術を受けました。私が生きて話ができることは神様の恵みです。私の経験は、他の人には分かりませんが、こうして話せるのは奇跡なのです。心臓手術を受ける前、右目の問題がありました。はっきり見えなくなりました。妻はミニストリーの働きにあまりにも打ち込むので体を酷使しているのだと言いました。不摂生だよと言われました。もうひとたび 20,30,40 代の肉体に戻れたらなと思いますが。私の肉体が弱ってきたとき、いろんなことを瞑想するようになりました。以前のように読書に打ち込むのが困難になったので、瞑想するようになりました。すると気が付きました、私たちの考え方は、どのように瞑想するかによって影響されることが分かってきました。御言葉を聞き、瞑想することです。私たちは飲んだり食べたりで生きるのではなく、神の御言葉によってです。どうやって食べますか？御言葉を聞くことです。耳のある者は聞くがよいとイエス様はよく言われました。多くのクリスチャンにとって、神の御言葉の理解は極めて表面的な理解に終わっています。神様の思い、意志を知らなくてはなりません。神の御心、真理をもっと思いめぐらさなければなりません。そうして思考、感情がかたちづくられます。私たちの道徳的品性を形作るのです。どうやって？考えること、瞑想すること

によってです。よく咀嚼（そしゃく＝噛む）する。一定の方向を考えていくと、思考パターンができます。だれかが、あなたをたたいたら、どのように反応しますか？ある人はせっかちに口を出します。常にしゃべっている人がいますね。待たずにしゃべりまくる人がいます。ずっとしゃべっています。また反対にしゃべらない人がいます。人と会ったら会話したいと考えます。そして話します。すると、妻が私に言います。あなた、もう少し黙って聞いてあげたら？私は話すことが好きで、言いたいことがたくさんあります。世界中を見てきて、話すことが沢山あります。しかし重要な事を発見しました。あまりしゃべらずに、考えることをするようにしました。ハバクク「2:20 しかし、主はその聖なる宮にいます、全地はそのみ前に沈黙せよ。」学生たちが騒ぐことをします。お互いに討論しています。先生が入ってくると、教壇に立ったら全員が静まり返ります。教えられるときだから、教える時ではなく、討論する時でもありません。イエス様の足元で教えられる訓練をするべきです。神のみ言葉によって。健康問題を抱えているためにかつてのように聖書研究をすることが出来ません。それで以前より考えるようになりました。かつて理解に達していたことをおもいだしてかみしめ咀嚼します。そうしたら私の魂にもものすご

い有益な経験となりました。単純なことを申し上げます。皆さんが永遠の命にふさわしいものになるように品性建設をしています、どのようにすれば正しく建設されますか？

昨年の7月4日スイスのジュネーブで科学者たちがこういいました。ついに神の要素、断片を見つけました。多くの人が理解できませんでした。しかし科学界では驚くべき発見でした。ファンタム物理学とも言います。宇宙で小さな粒子を集めて大きなものを形作るものの研究のことです。この物質を形作る最小の単位は、かつては原子とされていました。原子の核の中性子が最も小さいと思っていました、その微粒子が集まって宇宙の物資を形作っていたと思われていました。そして昨年科学者が発見したのは、さらに世界でもっと小さい微粒子「神の微粒子」を発見したのです。神様は神の粒子を使って何ものかを創造なさっているのです。それを科学者はヒークスリゾンと言いました。その記事を見て興味深く思いました。2種類の宇宙があり、この広大な宇宙が見えます。巨大な宇宙です。さらにほかに小さな宇宙がありそれは私たちの肉体です。絶えず私たちの脳の中で宇宙が存在しています。思いの中で宇宙全体を網

羅しています。興味深いことではないですか？概念の内に大きな宇宙を取り込むことが出来るのです。何億もの星を思いに取り込むことが出来ます。驚くべきことではないですか？神様の奇跡です。神様は私たちにどうやって思いを巡らすようにして下さったのでしょうか？今皆さんは私の話を聞いていますが、皆さんの頭の思考がどこにあるのか私は分かりません。ここにおいて、いろんな所に行くことが出来ます。アーあそこに美味しいものがあった、今晚あれを食べよう・・・など考えることが出来ます。ある女性はあの韓国に住んでいるハンサムな男性にまた会いたいな・・・皆さんの思考がどこに向いているかどうしてわかりますか？一瞬にどこにでも行くことが出来ます。この思考は神の奇跡なのです。私には三歳半のかわいい孫がいます。世界で一番美しい男の子です。皆さんはどう思っているかわかりませんが私にとっては一番です。私の所に来るたびに「おじーちゃん・・・」と言うと、私の心は溶けます。孫は特別な存在です。若い時に自分の子どもを育てますが、孫が出来たら特別な経験です。今話しても孫のことを考えます。世界中で話していても、スカイプで顔と顔を合わせて話します。孫がオジイチャーンといいます。素晴らしいです。アメリカから遠く離れています。しかしあっという間

に思いにおいて孫の所に行くことが出来ます。どうしてこのようなことを話していますか？私たちの品性を形成する粒子は私たちの思いです。品性形成は思いから始まります。どのように考えるか何を考えるかは本当に重要です。天の故郷にもっていけるのは私たちの品性です。座っている間に、誰かに憎しみを抱くことも出来、愛することも出来ます。思いにおいて誰かさんをぶんなぐって戻ってることが出来ます。思いを通して。神様はみなさんの思考をご覧になれます。心の中核部分を見えています。私たちの思考パターンを、何を好んで、何を欲しているか、何について話したいか、どのようにして人と接したいか。すべて思っています。そしてそれに基づいて神様はどういう人間かを見て私たちをさばかれます。思考は本当に重要です。詩編139：1-4「主よ、あなたはわたしを探り、わたしを知りつくされました。あなたはわがすわるをも、立つをも知り、遠くからわが思いをわきまえられます。(神様は全てをご存じです。思いを知っておられます。私が立って歩いている時も私の思いをご覧になり、絶えず記録の文コンピューターに記録されています。すべての思いが記録されています。復活の経験はどのようなものでしょうか？若い人は質問します。ある人が海でおぼれて死んでしまって魚が群がって食いち

ぎってしまい、ばらばらになります。体の一部は日本に、一部はオーストラリアに。あるときは肢体が大きな魚に飲み込まれてしまうこともあります。魚が血と肉となりその魚を漁師が食べたとしたら、その人の体が漁師の一部となると考える人がいます。肉体の断片があちこちに散らばってしまったら、神様は肉体の要素をどのように集めることが出来るでしょうか？私はこう答えます。復活というのは創造の御業です。神様は私たちのために新しい朽ちない永遠に生き続ける肉体を造って下さいます。私はこの肉体は欲しくありません。性能のいい肉体が欲しいのです。皆さんはどうかわかりませんが、私は完璧な肉体が欲しいのです。せっかく蘇らされてもおなじものをくれても、新しいものが欲しいと言います。天使のような肉体を頂くのです。その肉体を頂いて永遠に生き続けるのです。命を食し消化することが出来ます。命の木の実をたべることが出来ます。一口食べたとします。かつて味わったことのない味を経験します。本当に元気になるような甘いのか酸っぱいのか分かりませんが。いろんな国に行ったことがあります。いろいろな種類の果物を食べました。サボテンの実には信じられないほどおいしかった。砂漠のサボテンです。韓国のことわざで三人の人と同じものを食べたら死のうがどうしようがどうでもよくなる

と言うのがあります。これを食べながらこう考えました。命の木の実はどのような味がするのだろうか？イエス様が私たちのために用意して下さった賜物はわくわくしませんか？永遠の命にふさわしいものになるために今品性を形作らなければなりません。いかなるものにも邪魔されてはなりません。最も重要なのは永遠の命を獲得することです。）あなたはわが歩むをも、伏すをも探り出し、わがもろもろの道をことごとく知っておられます。わたしの舌に一言もないのに、主よ、あなたはことごとくそれを知られます。」神様は私たちの生涯に何を望んでいますか？特定のことを望んでおられます。それを得られたら私たちを救うことができます。それを神にささげるなら神様はそれを使ってイエス様の御かたちに形作ることができます。私たちは品性を形作ってもイエス様と全く同じになることは出来ません。イエス様ほど愛情深いものになるわけではありません。しかし模範であるお方をまねることができるのです。どうやってでしょうか？知らない人のことをどうやってまねることができるのでしょうか？どうやって、あるものを思いに取り込むことができるのでしょうか？思いによってです。思いめぐらすことによってそれを取り込むことができます。カメラがあそこにあるなどかんがえます。そし

て目を閉じて考えると、私の前に夫婦がいます。新婚生活を満喫していると思います。口げんかなんかしませんよね。あっという間に自分のうちに取り込むことができます。思考によつてです。私たちの思考、想像力をもって、神様を知らなさいと神は求められます。同時にサタンも私たちの思いを通して、自分の考えを入れようと考えます。テレビ、音楽をとおして。例えば「ヨン様」と。いろんな映像を吹き込もうとしています。一瞬一瞬です。いろんな思いを暗示しようとしています。音楽、テレビ、新聞、スマートフォンをとおして。私たちの思いに汚れた情報が取り込まれます。聖書によると洪水前の人々の思いは常に悪いことばかりであったと書いてあります。サタンはそうして成功していました。ですから神は洪水をもたらし世界を滅ぼさなければならませんでした。そしてその思考パターンが人生のパターンとなりました。一方に凝り固まって、もう動かなくなりました。そしてイエス様は、私たちはノアのような時代に生きていると仰いました。若い人は気を付けて下さい。どこにでも行ってしまふ馬のように思考を放縦にしないでください。神様はむさぼるなど仰います。むさぼるのは思いにおいてなすことです。讚美歌を歌いながら、姦淫を犯すことができます。それを行動に起こしませんが、思いに

おいて犯しています。再臨の準備をしていきたいですね。キリストのようになりたいですね。こうしたことをおもいめぐらしてください。2コリント「10:3 わたしたちは、肉にあって歩いてはいるが、肉に従って戦っているのではない。10:4 わたしたちの戦いの武器は、肉のものではなく、神のためには要塞をも破壊するほどの力あるものである。わたしたちはさまざまな議論を破り、(次、よくきいてください。)10:5 神の知恵に逆らって立てられたあらゆる障害物を打ちこわし、すべての思いをとりこにしてキリストに服従させ、(これは救いの科学の秘訣です。救われたいですか？すべての思いと想像をイエスのとりことなさなければなりません。イエスにすべての思いと想像を捕えて頂かなければなりません。)10:6 そして、あなたがたが完全に服従した時、すべて不従順な者を処罰しようと、用意しているのである。」私たちの従順がところからの喜びとなるならば、イエス様が思いを虜として下さっているのです。神様はみなさんの思いを求めておられます。私たちの思考を御心に従って形作りたいと願っておられます。

何か強い誘惑を受けて悪い思いをいただくことがありますか？
ああいう人になれたら幸福になれる

のに。あれだけのお金があるなら幸福になれるのに。韓国には美しい女性が沢山いるそうです。時には、前よりもいっそう美しくなっているな？と思うことがあります。どうしてそう感じるか？1. あまりにも化粧をしているから。化粧業界の技術が向上している。あるときには化粧前と後にショックを受けることがあります。まゆげがない女性に会うことがあります。しかし、街で会うと、まゆがあるんですよ。2. 整形手術を受ける。髪の色も染める。医者がこういいました。多くの患者がきて、こう要求する。美しい女優の写真をもってきて、先生、わたしの顔をこのようにしてください。ばかげているとおもうそうです。あまりにもその人の顔がその写真と違うから。しかし、技術が進歩して、顔全体を変えることができるようになってきているそうです。男性でも整形手術を受けるようになってきているそうです。町をあるいている多くの人々がにせものなんだそうです。しかし、私たちは神の形を形成しなければならぬときです。思いをすべて神にささげるとき、いろんな思いが襲ってきても汚れた思いをするようにうながされても、覚えて下さい、自分の思いをイエス様の虜にしてください。力には自分にはない。自分で抵抗しても誘惑は強くなっていきます。私たちの思考はそういうようになっているのです。私たちの食べたり飲ん

だりするものが思考に影響を及ぼします。消化不良があれば、病的状態になります。思い、想像も、胃腸の状態に影響されます。そして外から入ってくる情報に左右されます。誘惑を受けた時、決して思考を失ってはいけません。馬のように走らせてはいけません。こう祈ります。私の思いをあなたの僕としたいです。私にはできません。救ってください。私の思い全てをあなたの御前におきます。誘惑を受けても、衝動に引っ張られても、サタンが思いを捕えて引っ張っていかうとしても、まだ負けてはいません。そのとき叫んでください。神様助けて下さい。あなたが心を支配してください。ペテロが水の上を歩けたのは奇跡でした。ペテロは歩けるようにして下さいとお願いしました。イエスは少し難しいな、ピタッと足をおきなさい、あなたは体重が重いからねとはいいませんでした。不可能なことをペテロはお願いしていました。罪に勝利すること、不可能なことをペテロはお願いしていました。イエス様はただいらっしゃいと言いました。わたしも出来るのだからあなたにもできることを示されました。そしてペテロは歩けた。その後、彼は他の弟子たちを見て、優越感に陥りました。そして沈みました。彼は考えました。イエス様においてのみ不可能が可能になりました。ペテロは泳ごうと思えば泳ぐことも

出来ました。長年漁師でしたから。しかし、今の状態は靈的経験においてどういう状態か悟りました。イエス様助けて下さい。みなさんもそうなるべきです。私たちにとって勝利者になることは不可能なことです。イエスの力のみがそれを可能にします。私たちの思い、想像力をキリストに捧げましょう。多くのクリスチャンがこういう経験を必要としています。祝福が皆さんにもありますように。神様が印を押されるとき聖霊を送って下さいます。神聖な思いが与えられます。私たちの伝道の業はこうして終わります。できるだけ多くの人にこれを伝えなければなりません。そして証をするのです。後の雨の力がみなさんに与えられるでしょう。自らの思い、想像力をイエス様に委ねる人に後の雨が下るでしょう。

講義 9

「救いの方程式」

金城重博

僕は医者になりたくて中学高校で学びました。幼い時骨膜炎になり野口英世を目指しました。しかし数学に失望したことと、方程式を学んでいると実用的でなく、先生の教え方もさっぱりわかりませんでした。先生が不思議そうな顔をして分からないんですか？と言われて嫌いになりました。私の息子は数字を見るのが大好きです。私のおやじは会計をしていたのでその影響でしょうか？クリスチャンになっても幾度も試練に合いますよね。本当につまずき倒れてがっかりして教会に行くのも嫌になります。クリスチャン生活を成功させる方程式を学びましょう。手元のチャートを見て下さい。救いの方程式が二つあります。1、キリストが私たちのために何をしたか。2、聖霊が私たちの内に何をなさるか、です。これは聖書に両方あります。順序を間違わないようにすることが大事です。聖霊が私の内に働くだらうか？と自分の主観的体験を中心にするると救いの確信はいつ

までもありません。キリストが私たちの内に何をして下さるかということ眺めることが大切です。眺めるとは英語では考えめぐらすことです。イエス・キリストは我々のために何をしたかを考えます。ピリピ2：6－8「キリストは、神のかたちであられたが、神と等しくあることを固守すべき事とは思わず、2:7 かえって、おのれをむなしうして僕のかたちをとり、人間の姿になられた。その有様は人と異ならず、2:8 おのれを低くして、死に至るまで、しかも十字架の死に至るまで従順であられた。」この従順というのはある訳では空しくとあります。聖書は、キリストは神と等しい方であるとあります。コロサイ1章には「1:16 万物は、天にあるものも地にあるものも、見えるものも見えないものも、位も主権も、支配も権威も、みな御子にあって造られたからである。これらいっさいのものは、御子によって造られ、御子のために造られたのである。」とあります。初めに天と地とを創造された方はイエス・キリストです。万物を創造なさった方が銀河系の小さな宇宙に来られました。天の至聖所に神と共におられたのに、一步一步己を空しくしてこの地上に来られました。旧約時代には天使として仕えていました。さらに一步一步下られて人間となりました。我々と同じ血と肉となりました。謙遜な姿になりました。罪びとは

永遠に神から離反されました。イエス様はあらゆる誘惑に遭いましたが、罪を一瞬も犯さなかったのは三つの秘訣があったからです。一つは、ヘブル5:7「キリストは、その肉の生活の時には、激しい叫びと涙とをもって、ご自分を死から救う力のあるかたに、祈と願いとをささげ、そして、その深い信仰のゆえに聞きいれたのである。」イエス様は自分では生きることが出来ませんでした。香壇であらわされている、祈りと願いとをささげつつ、100パーセント父に依存して神の戒めを守ることを証明しなければなりません。二つ目は、7つの燭台で表される、聖霊の力に頼りました。いつも聖霊によって油注がれ正しい生活ができるようになることを証明なさいました。三つ目のパンの机は、聖書にこう書いてあるということ。イエス様は証明して罪に勝利しました。私たちもどんな困難や、誘惑にも打ち勝つことが出来ます。洗盤はバプテスマを意味します。バプテスマという言葉自体が沈めるということです。彼は三年半の公生涯を送られました。十戒は神に対する愛と隣人に対する愛を表しています。キリストはその十戒を守られました。イエス様が我々のためになして下さったことは、救いの門を開かれ復活して天の第一の部屋に入られ、現在は奥の第二の部屋に入っています。キリストの再臨に備え

る為に、7つの災害に備える為にキリストは至聖所で備えをなしています。このあいだ牧師が今帰仁に来て、教会では至聖所のことを話さなくなったと言いました。ヘブル6:20「その幕の内に、イエスは、永遠にメルキゼデクに等しい大祭司として、わたしたちのためにさきがけとなって、はいられたのである。」流された血と注がれた血が必要です。多くのキリスト教はただ十字架しか言いません。さきがけとして入っていかれたということは、我々も信仰によって後について入っていかねばなりません。本当のクリスチャンは小羊の行く所へはどこへでもついていきます。キリストが至聖所に入ったなら、そこで何をしておられるのか、我々もその働きを知らなければ信仰を働かすことも出来ません。1ヨハ4:8-10「愛さない者は、神を知らない。神は愛である。神はそのひとり子を世につかわし、彼によってわたしたちを生きるようにして下さった。それによって、わたしたちに対する神の愛が明らかにされたのである。わたしたちが神を愛したのではなく、神がわたしたちを愛して下さって、わたしたちの罪のためにあがないの供え物として、御子をおつかわしになった。ここに愛がある。」神の自己犠牲と自己否定の愛が明らかにされました。私たちもイエス様についていくときにイエス様の心

を心とするために、このプロセスを踏まなければなりません。御自分は人類のために十字架に掛かりましたが、私に従ってきたいなら、自分を捨て自分の十字架を負ってついてきなさいと言いました。ここから始まります。クリスチャンのIDを考えましょう。IDとは身分証明です。神様はご自分に近づいてくるものに何を求めますか？キリストが我々のために何をして下さいかを知り仰いで生きなければなりません。民数記には、毒蛇にかまれた時に、青銅の蛇を仰げば救われた事が書いてあります。神様の言われたことをするなら救われました。仰いで生きるとは、悔い改めと信仰です。これがキリスト教の出発点です。悔い改めは「ごめんなさい」で、信仰は「ありがとう」です。これは人生の幸福の秘訣であり対人関係でも最も大事なことです。しかしなかなかできません。「ありがとう」からは感謝と賛美が生まれます。それは心身の健康を増進します。悔い改めさせるのは、神の慈愛が導きます。悔い改めてからキリストのもとに行こうと思ってもうまくいきません。親鸞和尚のことを聞いたことがあるでしょうか？和尚の弟の息子がなかなか言うことを聞かないので和尚の言う事なら聞くだろうと思って弟は息子のことを頼みました。1週間たちましたが、和尚は息子に何も言いません。和尚が帰ろうとし

て、わらじをはくのを手伝った息子の手に温かい涙のしずくが落ちました。見上げると和尚の目に涙がたまっていました。息子はそれを見ました。和尚は「お前もつらかろうな」と一言だけ言いました。それを聞いた息子は心から悔い改めました。ペテロはキリストにどこまでもついていきますと公言しました。しかし本当にペテロが悔い改めたのは、キリストの裁判の時。ペテロは本当に愛されていました。本物の悔い改めの経験をしていませんでした。キリストの慈愛に触れて初めて変わることが出来ました。ガラ5：6「キリスト・イエスにあっては、割礼があってもなくても、問題ではない。尊いのは、愛によって働く信仰だけである。」本当の信仰は行いに導きます。クリスチャンになっても心がころころ変わるのは本当の信仰を持っていないからです。私は中学三年生の時、第七日目安息日を守る教会が本物だと分かったので、医者になることを止め、牧師コースに進みました。あの頃の熱意あふれた教会と、今の教会は大きく変わりました。50年前から変わったと言われていますが、私は驚いています。

神が与えられた良心、自主思考
これを私たちは持ち続けることが大事です。指導者によって心がコ

ロコロ変わるクリスチャンにはなりたくありません。イエスはあざけられても威厳をうしなうことがありませんでした。「父よ、彼らをおゆるしてください」といのりました。鶏が鳴く前に私を知らないと言うであろうと言われたペテロは否定しましたが、実際は主を裏切ってしまいました。そして男泣きして、真の悔い改めをしました。私たちは神にごめんなさいと言って、神のもとに行く必要があります。そのとき、許し、義認が与えられます。ローマ1－3章にかけて、信仰による義認が書いてあります。3－5章には許しが与えられると書かれています。許されたら律法を無にしてもいいのか、断じてそうではないと言いました。教会は今日十字架を前に律法は後にといいますが、パウロはそういいません。神は悔い改めるものに義認と許しを与えます。しかし、律法を無にはしません。そして自我に死ぬと、律法に従う力が与えられます。ゆるし、服従、罪から離れる、これはパッケージで与えられる義認です。ダビデは、セブンスデーアドベンチストでした。小さい時から、神の力を経験していました。ゴリアテをやっつけました。そんな奇跡を経験しながらも、ある日、屋上から裸の水浴びをしている美しい女の人を見た時、サタンの誘惑があって、使いを送って、女を呼ぶことにしました。欲望

を抑えることが出来なかったのです。そして寝ます。そればかりでなく、その夫を戦場に送って戦死させるように指図しました。そしてナタンによって神からの譴責を受けました。それを心から受け入れて、真実な悔い改めをしました。詩編51編にその告白が書かれています。何故このようなことが記録されているのでしょうか。それは私たちも悔い改めれば許され、清められることを知るためです。イザヤ「55:7 悪しき者はその道を捨て、正しからぬ人はその思いを捨てて、主に帰れ。そうすれば、主は彼にあわれみを施される。われわれの神に帰れ、主は豊かにゆるしを与えられる。」罪から離れるものは許されるのです。これが大事なクリスチャン経験です。パウロはそれをどこにいても説きました。使徒20章。これはクリスチャンのID(身分証明書)といっても過言ではありません。「20:21 ユダヤ人にもギリシヤ人にも、神に対する悔改めと、わたしたちの主イエスに対する信仰とを、強く勧めてきたのである。」クリスチャンもこの方程式に従えば成功します。人間だれでも失敗をします。しかし神様は悔い改めと信仰をごらんになるのです。このID(証明書)を見せて、許しを得るのです。クリスチャンは、自分の無価値さを悟れば悟るほど、キリストの功績に感謝し、頼るようになります。バプテスマの時に、「功無き

われを、・・そのままのすがたで、みもとに行く」と歌います。イエスは罪人を救う為に来られた。私は罪人の頭である。とパウロは言いました。自分の罪深さをますます意識するのでしょうか？「自分は真の教会のメンバーである。あの人はまだ罪を犯している。」こんな考えをもっていないでしょうか。1コリント15：31「兄弟たちよ。わたしたちの主キリスト・イエスにあって、わたしがあなたがたにつき持っている誇にかけて言うが、わたしは日々死んでいるのである。」キリストに近づけば近づくほど、自分の欠点が見えてきます。キ道「イエスに近づけば近づくほど、ますます欠点が多く見えてきます。それは自分の目が開けて明らかになり、イエスの完全さに比べて、自分の不完全さが大きくはっきりと見えるからです。これは悪魔の惑わしの力が失われ、人を生かす神のみたまの力が働いている証拠であります。」

聖霊が与えられているもつとも
王確かな証拠は、十字架をながめて自分の無価値さを悟ることです。伝道活動をする。教会の役員になる。指導者である。講演会もやる。しかし、悔い改めと信仰の「ごめんなさい」と「ありがとう」だけが受け入れられるID—入国許可書です。ある人はどう

やって救いの確証が得られるのですか？一度でいいから天使を見せて下さいという。こんなものではありません。御言葉によって、義人は生きるのです。サタンは許されたはずの罪を指摘して、お前はそれでも救われるつもりかと責める。そして、不安に襲われる。八重山の長老が、眼の前が真っ暗になりイエス様が見えなくなった。私は滅びるのだろうか？と感じました。そしてサンライズに電話してきました。病気にもなっていたのです。現代の真理を知りたい。資料を全部送って下さいとお願いされました。そして、イエス様が今どこでなにをしておられるかという確信を得たのです。イエスが至聖所で、個人的に私たちのためにとりなしをして下さることを知りました。それから確信を得て、観光客の青年にも伝道しました。私はその青年にも会いました。その長老は病気のために亡くなりましたが、救いの確信をもっていました。裁きの前に完全な品性になっていなければならないというのは間違いです。裁きの時に完全にされ神の印が押されます。大下216「イエスは、彼らの罪の弁解はなさらないが、彼らの悔い改めと信仰を示して、彼らの許しを主張なさり、天父と天使たちの前で、ご自分の傷ついた両手をあげ、わたしは彼らの名を知っている、わたしは彼らを、わたしのたなごころに彫り刻んだ、と言われるのであ

る。」私たちは悔い改めと信仰をもって、裁きに出るのです。完全に十分な義認があたえられ、七つの災害を通過できるようにして下さる、そして、生きてイエス様を迎えることができる準備をさせて下さるのです。

一般公演 1

「3つの災い」

デイビット・カン

タイトルは「3つの災い」です。聖書にはこの地上に降ってくる災いについて書いてあります。どのようなものかと言うと、預言は私たちにどのようなかわりがあるのか。預言、災いが私たちの生活にどのような影響を与えるのでしょうか？預言からどのようなことを学べるのでしょうか？過去に起こった出来事事件が私たちの時代だけでなく、将来も起こるかもしれません。これから取り上げる聖書の預言は比較的長いものです。ヨハネ黙示録にある7つのラッパの箇所です。その預言を出来るだけ単純化して縮小して1時間で話したいと思います。この預言をこまごまと研究はしません。少なくとも預言に皆さんが関心を持ちさらに研究していただきたいと思います。今晚の研究を聞いて、さらに学びたいとリクエストを持ってくるのを願っています。後でサンライズミニストリーの方々にフォローアップしてもらいたいと思っています。今日の話で、皆さんの食欲が

ますます出るようにと考えています。前菜を頂いた皆さんが近い将来、多くの方々に影響を与えられるようにと願っています。地球の最後の時代に私たちは生きています。疑いの余地はありません。ある人は去年2012年12月に地球歴史が終わっていたかもしれないとっていたと思います。このような人は決して少なくありません。しかしその日は過ぎ去ってしまいました。過去にフランスの占星術者ノストラダムスが有名です。彼の本は世界中で読まれました。世間の人々は世界に起ころうとしている最終事件に関心を持っています。私の家族は、国はどうなってしまうのだろうか？地震が来て災害によって滅びるのだろうか？津波の犠牲になるのだろうか？多くの人は東日本の災害に勝る大災害で日本は沈没するのではないだろうか？日本は決して沈むことはありません。この世界はこのような形では終わりません。聖書は異なることをのべています。かえって私たちの将来には大きな希望があります。多くの人々はさらに破壊的な災害が起こって大変なことになるのではないかと恐れています。あるいは世界的な疫病が蔓延して死ぬのではないかと恐れています。しかし聖書はそのようなことをのべていません。聖書で述べられているのはかえって反対のことで新しい世界のことが書いてあります。この古

い地球、ふるい世界は溶け去ってしまうのです。大気汚染の問題は深刻になっています。水の汚染、公害問題は決して小さくはありません。最近口にする野菜や果物は栄養が不足しているいろんな問題を引き起こしかねないと言います。ある研究によると15年前は1個のリンゴから得る栄養が今では15個のリンゴが必要だそうです。今日食する食べ物のビタミンやミネラルが不足しています。地球は下り坂で自滅に向かっていきます。神様の助けがなければ滅んでしまいます。聖書によると様々な出来事がいつきに起こって加速して滅びるとあります。それは遠い先のことではありません。そしてそのような実情を聖書からではなく、声を大にして叫んでいる科学者からも聞くことも出来ます。地球歴史の最後の最後に来ています。宇宙は想像を絶する広大なものですが、多くの人たちは人生の本当の意義を尋ね求めています。生まれる理由、生きている理由。生きる価値はあるのだろうか？希望はあるのだろうか？将来の計画を知ることは可能だろうか？そのような疑問質問が多くの人から投げかけられています。宇宙に浮かんでいる地球は何処に向かっているのか？非常に美しい姿を持っていますが、多くの問題を抱えています。私は牧師として世界中を巡り歩いて多くの人と会ってきました。とてつもの

大金持ちや、貧困に苦しみあえいでいる人たちにあったこともあります。どちらも問題を持っています。教育を受けた人受けていない人、強い人弱い人、どのような人でも人生の問題を必ず抱えています。この地球自体がどうかしてくれ、新しくしてくれと叫んでいます。皆さんも問題を抱えているのではないのでしょうか？家族、仕事、国。そのような問題の解決を見いだせないかもしれません。しかし聖書の光に照らしてみるなら必ず解決できることが分かります。常識的な単純なことを見ましましょう。太陽、地球、天体のサイズを考えてみましょう。もし地球が今の位置がもう少し太陽に近かったら、私たちはとっくに滅んでいたでしょう。反対にもう少し太陽から離れていたなら人類は滅んでいたでしょう。これは奇跡なのです。太陽とちょうどいい距離を保ちながら、きっちりと軌道を回っています。ですから私たちの存在は奇跡そのものなのです。地球は時速107,534Kmの速さで太陽の周りをまわっています。私たちは地球と呼ばれるスペースシャトルに乗って相当の速さで回っています。ですから時々クラクラするのでしょうか。これは銀河という宇宙があって太陽系もその中に存在しています。その銀河にも真ん中にブラックホールがあります。そして常にブラックホールはとてつもない

速さでぐるぐる回っています。ブラックホールの吸引力から逃れることは出来ません。ただしブラックホールの影響から少しでも外れたら、宇宙のどこかに飛んで行ってしまうのです。この銀河系の安全地帯から少しでも外れてしまったら、ブラックホールに吸引されてしまいます。この円のなかにはいなければ安全ではありません。この円から出てしまうと宇宙で迷子になってしまいます。神様の恵みによってこのあたりに私たちは常に位置しています。このことを思うとどうして進化論を考えることが出来ますか？私たちの安全を考慮された驚くべき神様の考慮なのです。コペルニクスは「神は宇宙を、われわれが生存できるような秩序をもって創られた。」と言いました。聖書の神様を信じようが信じまいが神様の奇跡によって、一人一人の命を存在させているのです。神様が私たちの将来を意義あるものとして下さっているのです。この美しい花々を見て下さい。素晴らしい色彩をしています。自分の住んでいる所から出てきたとき、この素晴らしい野生のバラを見つけました。朝思いました。一つの植物3種類のバラに気が付きました。白と赤と紫です。小さい花ですが、奇跡だと思えます。繊細な花の美を。美しい葉。このような色彩を誰が色付けしたのでしょうか？同じ地面から同じ水を吸い上げているにもか

かわらず3種類の色を示しています。素晴らしい神様のことをもっと知りたいと思います。今にも枯れかかっている葉からも神様の素晴らしさを知ることが出来ます。神様の自然界の業の美しさを私たちに語っています。2ペテ1：16－18変貌の山の出来事を目の当たりにしたペテロがのべました。「ご威光の目撃者なのだからである。・・天から出たこの声を聞いたのである。」19節「こうして、預言の言葉は、わたしたちにいつそう確実なものとなった。あなたがたも、夜が明け、明星がのぼって、あなたがたの心の中を照らすまで、この預言の言葉を暗やみに輝くともしびとして、それに目をとめているがよい。」私は光り輝く神の栄光を見たと言っています。これは本当に起こったことです。そして信頼のおける確実な言葉が聖書にはあります。正直な人たちが聖書の確かな預言の言葉から学んでいきました。黙示録をかいたヨハネはパトモス島で幻を見せられました。その幻で驚くべき光景を見ました。その幻を見せられた後の時代の私たちが理解できるように預言として残しました。私も長年にわたって研究しました。結論として聖書の預言は信頼に値します。この黙示録には7つのラッパについて書いてあります。聖書の預言を理解するために解釈するキーワードを見つけなければなりません。聖書の言葉で

聖書を解釈しなければなりません。聖書の神秘的な言葉を、解き明かすことが出来ます。学者に信頼を置かなくとも。多くの人々が獣の刻印に関心を持っています。獣の権力とは何であろうかと。ある人はナチスのアドルフ・ヒトラーのことだという人もいますし、リンカーンのことだという人もいます。様々な解釈を持っています。あるときには獣の権力は日本の田中元総理と言っている人もいます。ばかげています。人騒がせです。しかし私たちは聖書の言葉をもって聖書の解釈をしなければなりません。先ほど申し上げたように聖書の預言を詳しく掘り下げることはこの時間では出来ません。単純な入門編だと思って聞いて下さい。

7つのラッパはこの世界におこる戦争の預言です。黙示録前半で、7つの教会、7つの封印、7つのラッパと出てきます。7つの教会は地上歴史の神の民の霊的状态をあらわしたものです。7つの封印はそれぞれの教会にくだる神の裁きです。7つのラッパも同じ時代について述べておきながら、特に戦争について述べています。ラッパというのは警告です。最初の4つのラッパは詳しくのべられていません。特に背教した教会に下る神様の裁きが書かれています。神様は何

等かの軍隊、国をもって、罰する罰についての預言です。神はあるときには、支配的な国を興して、別の権力を起こすことをなさっています。神様が国々の興亡を許されています。ある民族、国家を目覚めさせるために戦争、自然災害をお許しになっています。暴君や独裁者、教会を罰するために、強力な権力を用いられました。神様はご自分の目的をなすために歴史を動かしてきました。その目的とは人間を救うことです。初めの4つのラッパは西ローマ帝国の滅亡です。神様はご自分の教会を罰するために様々な国々の戦争などをお許しになっています。あるときは教会を罰するため、あるときは教会をたすけるため、国々の興亡をお許しになりました。そして5, 6, 7のラッパについて聖書は3つの災いと言っているのです。黙示録8:13「また、わたしが見ていると、一羽のわしが中空を飛び、大きな声でこう言うのを聞いた。『ああ、わざわざいだ、わざわざいだ、地に住む人々は、わざわざいだ。なお三人の御使いがラッパを吹き鳴らそうとしている』」。聖書自体が、5, 6, 7のラッパは地に住む人々にたいする災いと言っています。神様は地を支配していることを示すためにこの聖句が書かれました。聖書にわざわざいと3回書かれています。災いは、背教した教会を手助けする国々に対する神の裁きを象徴しています。

第一の災い—第五のラッパ

黙示録 9：1－10

- 1 第五の御使いが、ラッパを吹き鳴らした。するとわたしは、一つの星が天から地に落ちてくるのを見た。この星に、底知れぬ所の穴を開くかぎが与えられた。
- 2 そして、この底知れぬ所の穴が開かれた。すると、その穴から煙が大きな炉の煙のように立ちのぼり、その穴の煙で、太陽も空気も暗くなった。
- 3 その煙の中から、いなごが地上に出てきたが、地のさそりが持っているような力が、彼らに与えられた。
- 4 彼らは、地の草やすべての青草、またすべての木をそこなってはならないが、額に神の印がない人たちには害を加えてもよいと、言い渡された。

(この聖句をご覧ください。興味深いのは7つのラッパは過去の出来事をのべたものです。実際に過去においてイスラム世界でおこりました。アブ・カカールという將軍がいました。このころイスラム軍を

組織してローマ帝国に対抗しようとする動きがありました。コーランか剣かということばで有名です。アブ・カカールは兵士に言いました。占領した時、その土地にある野菜や果物に害を加えてはいけない。果物の木に害を加えてはならない。自分の栄養のために少しそこから取って食べていい。そういう意味ではイスラム軍は紳士的でした。1400年代のころの話です。また將軍は兵士に言いました。髪の毛をそったクリスチャンに会った時は、特に森の奥まった修道院にいる髪をそったクリスチャンに会ったら、彼らの頭蓋骨を割ってしまえ。但し、第七日を守るクリスチャンにあった時は殺してはならない。興味深い話です。こうして1400年代の東ローマの人々を苦しめました。5か月間苦しめました。聖書の預言を解釈する時は1日を1年で計算します。5か月は150日間です。1か月とは30日でした。象徴的に解釈するなら、150年間です。)

- 5 彼らは、人間を殺すことはしないで、五か月のあいだ苦しめることだけが許された。彼らの与える苦痛は、人がさそりにさされる時のような苦痛であった。
- 6 その時には、人々は死を求めても与えられず、死にたいと

願っても、死は逃げていくのである。

7 これらのいなごは、出陣の用意のととのえられた馬によく似ており、その頭には金の冠のようなものをつけ、その顔は人間の顔のようであり、

(ヨハネが見た幻はどういう意味でしょうか？イナゴの大群が農場を荒らすとき、音がします。恐るべき音です。ゴー。イナゴが攻めてくる時の音です。ヨハネが示した預言で、軍隊が奇妙な音を立てて攻めてきたのです。)

8 また、そのかみの毛は女のかみのようであり、その歯はししの歯のようであった。

(女性のような長い髪を兵士たちはしていたのでしょうか？)

9 また、鉄の胸当てのような胸当てをつけており、その羽の音は、馬に引かれて戦場に急ぐ多くの戦車の響きのようであった。

10 その上、さそりのような尾と針とを持っている。その尾には、五か月のあいだ人間をそこなう力がある。」

その力は滅ぼすためではなく、苦しめるためでした。150年

間苦しめるためでした。当時のオットマン帝国はそういう状態でした。馬にのって、人びとが恐れるような音をたてて襲ってきました。頭にはターバンがありました。ヨハネにはこれが金の冠のように見えたのでした。東ローマに害を加える為に襲ってきたイスラム軍をヨハネは見たのでした。長官たちは長い髪の毛をしていました。幻に描かれたのはこの軍隊であったことがわかるのです。兵士たちはいろんな色の服を着ていました。ヨハネは幻でこれらの様子を見て、書き残したのでした。これらのイスラム軍の様子絵は、聖書の預言の描写に酷似しています。7つのラッパの最初の4つは西ヨーロッパ帝国に対するもの、最後の3つのラッパは東ヨーロッパにたいするもの。ローマ教会はキリスト教会を迫害するようになりました。中世時代にカトリックは5000万から1億のクリスチャンを迫害しました。5か月とは150年間です。軍隊は背教した教会を攻撃したのでしょうか？1299年8月27日から1449年7月27日までイスラムが東ローマ帝国を攻撃しました。東ローマ帝国がイスラムに屈するまでこういう状態が続きました。150年間続きました。こうして預言が成就したことを歴史的事実から知ることができます。神様自身がイスラムを用いて、ローマの力が弱ることを許されました。黙示録9：

11 - 12 「11 彼らは、底知れぬ所の使いを王にいただいております、その名をヘブル語でアバドンと言ひ、ギリシャ語ではアポロンと言ふ。12 第一のわざわいは、過ぎ去つた。見よ、この後、なお二つのわざわいが来る。」

黙示録 9：13 - 18 第二の災い — 第六のラッパ

「13 第六の御使いが、ラッパを吹き鳴らした。すると、一つの声が、神のみまえにある金の祭壇の四つの角から出て、

14 ラッパを持っている第六の御使いにこう呼びかけるのを、わたしは聞いた。『大ユウフラテ川のほとりにつながれている四人の御使いを、解いてやれ』。(ここで言われている4人はイスラムの4つの勢力です。)

15 すると、その時、その日、その月、その年に備えておかれた四人の御使いが、人間の三分の一を殺すために、解き放された。(これはどういう意味ですか？ 3分の1であつて全てを滅ぼすのではなかつたのです。)

16 騎兵隊の数は二億であつた。わたしはその数を聞いた。

17 そして、まぼろしの中で、それらの馬とそれに乗っている者たちとを見ると、乗っている者たちは、火の色と青玉色と硫黄の色の胸当てをつけていた。そして、それらの馬の頭はししの頭のものであつて、その口から火と煙と硫黄とが、出ていた。

(ここに3つの事柄がえがかれている。まず、4人の主だった人がイスラムをもちあげた。その結果東ヨーロッパ帝国を傷つけた。非常に合理的な武具を身に付けていた。そして馬を見ると、ライオンの頭のものであつた。その口から火と煙と硫黄が出ていた。黙示録の幻でヨハネが見たのは大砲であつた。こういった武器をもちいた最初の軍隊はイスラムであつた。こういう武器を馬で持ってきて用いた。そして「その口から火と煙と硫黄が出ていた。」と描写している。そして敵をたくさん殺した。このような武器を描写するのにヨハネはこのような言葉を述べた。)

18 この三つの災害、すなわち、彼らの口から出てくる火と煙と硫黄とによって、人間の三分の一は殺されてしまった。」

この記述を見て頂きたいのですが、1年は360日です。ヘブルのカレン

ダーでは1月は30日でした。

1年は360日、1月は30日、1時間は15日にあたります。360 + 30 + 1 + 15日は391年15日です。神様は預言を信じてもらう為にあえてこのような数字を用いました。

年、月、日、時間 = 391年 15日

1449年7月27日 + 391年15日

= 1840年8月11日 (ジョサイア・リッチ)

その後イスラムパワーは終わる
そ
というのです。その計算を足すと、1840年8月11日となります。この時何が起こったのでしょうか。聖書の預言は信頼に値します。1838年にバプテストの牧師ジョサイア・リッチという人が大胆な発表をしました。聖書の預言から大胆な解釈をした。何度も研究をしました。これは間違いではないという確信を持ちました。当時のオットマントルコの権力は今のアメリカのような権力を持っていました。ジョサイア・リッチは予告をしました。1840年8月11日にオットマントルコは滅びると預言しました。みんなそれを信じられませんでした。年だけでなく、月日も示した。みんな彼を馬鹿にした。彼をあざ笑う記事や、漫画も出版されました。アメリカ

に紳士の集いがありました。彼らは無神論者でした。彼らはジョサイア・リッチを嘲笑しました。3000人の紳士はその預言があたったら、聖書を信じてクリスチャンになると言ったのでした。当時の紳士は言ったことは必ず守るのでした。1840年が来て、7月になりました。エジプトがオットマントルコ帝国を攻撃したのでした。当時エジプトの宗教もイスラム教でした。そのエジプトがトルコを攻撃してきたのでした。その出来事を見たヨーロッパ諸国は、権力を奪おうとしていると思いました。これを何とかしてとめなければとの気運が上がりました。同盟を組んでエジプトに大使を送りました。トルコを攻撃してはいけないと。トルコも大使を送り助けて下さいといいました。もしトルコを攻撃するなら黙っていないとヨーロッパ諸国はいいました。この同盟がエジプトに大使を送った時に、大使の乗った船が嵐に遭いました。エジプトのカイロにやっとたどり着いたのは1840年8月11日でした。攻撃を止めなければ我々が攻撃するとの警告にオットマン帝国は屈したのでした。自分たちの権力をヨーロッパ諸国に明け渡したのでした。正確に聖書の預言が当たりました。多くの人々があり得ないと言いました。どうして世界的な事件を一介の牧師があてることが出来るのか？しかしそれは神様の預

言をジョサイア・リッチが受け入れたからです。予告通りになったら神様のことを受け入れると言った全員がクリスチャンになりました。彼らは高貴な心の紳士でした。当時センセーショナルな事件でした。神様は私たちが神の言葉に信頼できるように預言を与えたのでした。日本の皆さんに申し上げたい。皆さんがクリスチャンであろうとなかろうと、男性女性に関係ありません。聖書を信じようと信じまいと神様が言われたことはそうなります。第三の災いについて述べます。黙示録 11:14-19 から学びます。第一、二を通して背教下勢力を神様は罰しました。第三の災いも背教した教会を罰するためにイスラムを起こされました。イエス様が再臨なさる直前の時代のことです。黙示録 11:14、15 「第二のわざわいは、過ぎ去った。見よ、第三のわざわいがすぐに来る。

15 第七の御使いが、ラッパを吹き鳴らした。すると、大きな声々が天に起こって言った。『この世の国は、われらの主とそのキリストとの国となった。主は世々限りなく支配なさるのであろう。』この世の国がキリストの国になることは世の終わりです。18 節「『諸国民は怒り狂いましたが、あなたも怒りをあらわされました。そして、死人をさばき、あなたの僕なる預言者、聖徒、小さき者も、大いなる者

も、すべて御名をおそれる者たちに報いを与え、また、地を滅ぼす者どもを滅ぼして下さる時が来ました。』」

聖書によるとこの時が裁きと報いの時であるとあります。地を滅ぼす者も神様です。人間が作った原子爆弾水素爆弾恐ろしい武器はこの地球を滅ぼす力を持っています。過去何千年にわたって地を滅ぼす武器はありませんでした。私たちの命を保ち救いに至る研究をするために地の四隅を保っています。ぜひ時間を無駄にしてほしくありません。恵みによって私たちの命は守られています。間もなくイエス様はこの地を支配なさいます。この地を滅ぼそうとしている者たちを滅ぼします。そのとき教会を破壊してきた背教した教会も滅ぼされます。彼らはバビロンのぶどう酒をもって誤った偽の福音を通して、教会の魂を滅びに至らせました。神様はお許しになってその報いを与えます。第三の災いを見てみましょう。彼はオサマビンラディンです。911の出来事を覚えていますか？ニューヨークのツインタワーが一日の内にアッという間に崩されました。一つのテロ事件によって世界旅行をするのが困難になってしまいました。この勢力が再び起こって背教した教会、背教した国を攻撃してきました。第三の災いです。この絵や写真を覚えていますか？こ

の建物全体が崩れ落ちました。新たなイスラム勢力が起こって第三の災いが始まったことを全世界の人々に知らしめました。イラク戦争などが世界のあちらこちらで見られます。テロ事件がおこっています。イスラム勢力がキリスト教勢力に戦いを挑んでいます。世界の大都市が抱えている問題は、イスラム人口がどんどん増加していることです。これはフランスのパリです。祈りの時間になったらある個所の道路がストップしてしまいます。私たちは今現在第三の災いの時代に來ています。この第三の災いの期間にイエス様がおいでになって世界に裁きを下されます。同時に聖徒に対してよい報いをお与えになります。神様を信じて信頼するなら何等かの報いを与えると約束しています。間もなくそのことがやってきます。私たちは経済的に一つになっています。キプロスで起こった経済危機を知っていますか？ヨーロッパ中央銀行が個人の貯蓄を抑えようとしてしました。ヨーロッパ中央銀行によって個人的な貯蓄の15パーセントが抑えられました。政府が負債を防げなかったからです。ポルトガル、イタリア、スペイン、ギリシャにもこの問題が飛び火します。さらにアメリカにも。日本は安全だと思いませんか？韓国はどうでしょうか？同じ壺の中にいるようなものです。一つの経済界にいるようなものです。一瞬にし

て一斉に世界経済は破綻をきたします。他に選択肢はありません。皆さんが判断していただきたい。それに加えて大きな自然災害が続けて起こるでしょう。東日本大震災よりも大きな大災害が起こる可能性があります。私が皆さんだったら神の言葉に信頼を置きます。神様に自分の運命と家族の運命をゆだねます。様々な疫病が起こっています。洪水がいたるところで起こっています。世界は多くの問題を抱えています。聖書は7つの災いを予言しています。この世界は永遠の住まいではありません。聖書は私たちを救う為に地球を新しくするためにイエス様が來られることを示しています。私たちを愛するがゆえに。皆さん個人個人の人性に関心を持っておられます。天国で一緒に過ごしたいと思っています。聖書に述べられているイエス様はおいでになります。イエス様のみ全的信頼を寄せることができます。イエス様に祈ることができます。私たち、家族を憐れんでください。どうか助けて下さい。信仰について教えてください。私に理解力を与えて下さい。罪の縄目から私を解き放ち清い新しい心を与えて下さい。あなたがおいでになるとき私の名前を覚えて下さい。そのような祈りをする時、神様は皆さんのことを覚えて下さいます。聖書はこの言葉をもって終わっています。「黙示録22：20 これらのことをあかしす

るかたが仰せになる。『しかり、わたしはすぐに来る』。アアメン、主イエスよ、きたりませ。」この世界の問題の唯一の解決方法です。私たちは第三の災いの中に生きているのです。この世界は残り少ないのです。もっと神様について学びたいのです。あなたがおいでになるときに、どうぞその時私の名前を覚えて下さい。そのように思っている方は手をあげて下さい。皆さんの心を神様はご覧になっています。このような研究をなさりたい方は金城先生に申し出て下さい。

一般公演 2

「偽福音の欺瞞を暴露する」

デイビット・カン

聖書から特別なテーマでお話しします。助けて下さるように聖霊が臨在して下さる必要があります。わたしが正しい言葉を語れるように。天の知恵を分け与えられるように。皆さんの救いは、御言葉を受け入れて信じることに掛かっています。明日は、獣の刻印についてお話しします。クリスチャンであろうとなかろうと、多くの方が獣の刻印は何であろうと考えています。明日もぜひお越しください。しかし、その前に聖書の大事な学びをしましょう。お祈りしましょう。「天のお父様、あなたの祝福、靈感を感謝します。今晚、是非あなたの助けが必要です。聞く耳を与えて下さい。理解できる心をくださり、御心をつかむことが出来ますように。聖霊も御臨在ください。イエス様の名によってお祈りします。」

今晚は、預言と福音を混ぜていっしょに学んでいきたいと思ひます。イエス・キリストが語られた預言から福音を学んでいきたいと思ひます。皆さんの関心を引き起こすでしょう。最初にマタイ 24:33「そのように、すべてこれらのことを見たならば、人の子が戸口まで近づいていると知りなさい。 24:34 よく聞いておきなさい。これらの事が、ことごとく起るまでは、この時代は滅びることがない。」聖書にのっとった福音を理解しなければなりません。さもなければ、皆さんの運命は好ましいものとはなりません。さもなければ、皆さんの人生に聖書の祝福を受けられなくなるでしょう。信仰は水路とか経路のようなものです。皆さんの聖書の理解はどのようなものでしょうか？皆さんの生涯の先、前途はどのようなものであると理解していますか？イエス様が仰った言葉にのっとって理解しないと祝福がありません。イエスの御言葉を本当に知りたいと言う願望がある事を心から願ひます。これは人生における生死にかかわる問題です。私はクリスチャンではないから関係ないと仰るかもしれませんが、しかし、クリスチャンであろうとなかろうと、人生は御言葉に掛かっています。信じようと信じまいとほとんど関係ありません。人間の運命を決定するのはイエス様の言葉なのです。ですから、

御言葉を理解していただきたいのです。牧師だからそういうんだらうと仰るかもしれませんが、人生の運命は御言葉に掛かっています。福音に関して多少異なった理解を持っておられるかもしれませんが。どの宗派に属しているかは関係ありません。聖書の言葉をそのまま信じなければなりません。南から北に運転しているとします。福岡から東京へ。にもかかわらず、私は北から南に向かって運転しているとします。私は沖縄に向かってるんだと信じ込んでもそこにつけるとは言えません。ある人は聖書に書かれていることを吟味しようとしません。今日は世界の終末事件、イエスの福音について吟味する機会にしたいと思います。みなさんは知的な人々だと思います。日本人は世界中で知的で、正直だと評判です。ですから日本が作った製品は世界中で信頼されています。私も日本製を信頼しています。ですから、私のパソコンはソニーです。もし私が申し上げることが真実であるならば、自分の生涯、生活を再吟味する必要があります。もし私が言っていることが間違いであるならば、これをこぼんでもいいですが、私は正直にお話ししたいと思っています。

マタイ 24：33 – 35 「そのように、すべてこれらのことを見たならば、人の子が戸口まで近づいていると

知りなさい。よく聞いておきなさい。これらの事が、ことごとく起こるまでは、この時代は滅びることがない。(この時代(この世代)とはなんでしょう？この時代にイエス・キリストが予告されたことがことごとく起こると言われているのです。ではこの時代とはどの時代のことでしょうか？私たちの世代ですか？あるいは次の世代でしょうか？イエス様は、この時代とは地球最後の世代のことを言っておられます。)天地は滅びるであろう。しかしわたしの言葉は滅びることがない。」

マタイ 24 章の最初の部分に戻ってみましょう。マタイ 24：1 – 2 「イエスが宮から出て行こうとしておられると、弟子たちは近寄ってきて、宮の建物にイエスの注意を促した。そこでイエスは彼らに向かって言われた。『あなたがたは、これらすべてのものを見ないか。よく言うておく。その石一つでもくずされずに、そこに他の石の上に残ることもなくなるであろう。』」ユダヤ人たちは神殿をほこりに思っていました。豪華(ごうか)絢爛(けんらん)の美しい建物でした。それは神様からの祝福の象徴でした。ユダヤ人たちはそれを見るたびに神が彼らを見捨てることはないと考えました。弟子たちはそれを誇りに思っていました。それに対して

イエスはショッキングなことを言われました。やがて神殿は完全に破壊されるでしょうと言ったのです。弟子たちはショックで信じる事が出来なかったのです。ユダヤ人が神によって滅ぼされると言うことだろうか？これを目の当たりにした人々を驚かせました。イエスさまはことごとく完全に破壊されると言われました。想像を絶することでした。しかし、イエス様はそう語られたのでした。歴史によりますとローマの軍隊がエルサレムを滅ぼしたのは70年のことでした。将軍は神殿だけは破壊するなど兵士に命令していました。世界でも貴重な建物だったからです。ですから、絶対に神殿を破壊したり、火を投げたりしないようにとの命令がだされていきました。しかしユダヤ人の抵抗は強く、ローマ兵は激しく戦わざるを得ませんでした。30万人ものユダヤ人を十字架につけたそうです。人類の戦いでもっとも恐ろしい戦いでした。神殿の近辺で戦っていましたが一人の兵士が神殿に火を誤って投げ入れてしまいました。神殿の壁は純金でおおわれていました。分厚い純金です。火事になったら、この金が溶け出したのです。そして流れ落ちて金は床にしみこんでいきました。それをローマ兵は見ていました。そこでローマ兵はユダヤ人を皆殺しにしたあと、溶けた金を取り出そうと試みましたが、槍や

剣をもって床にしみこんだ金や石を削って取り出しました。そうしているうちに、イエス様が預言された通りに一つの石も他の石の上にはのこらないほど、粉々に神殿は破壊されました。イエス様がこの神殿について言われた通り成就したならば、その直後に言われたことばも成就するはずです。当時完全に破壊された神殿を見たイエスを信じる人々はその後のことばも信じました。このように完全に破壊されました。予言通りです。これが最近のエルサレムの光景です。かつてのエルサレム神殿はどこにも見当たりません。イエス様が言われた通りに破壊されました。マタイ24：3「またオリブ山ですわっておられると、弟子たちが、ひそかにみもとにきて言った。『どうぞお話し下さい。いつ、そんなことが起こるのでしょうか。あなたがまたおいでになる時や、世の終わりには、どんな前兆がありますか。』」弟子たちは完全に神殿が滅ぼされるのはいつだろうかと考えました。エルサレム滅亡の時とイエス様再臨の時と一つにしてしまいました。ですからこのような聞き方をしました。しかしイエス様は完全に滅ぼされたからと言って、最後の時代ではないと言いました。最終時代にどのようなことがおこり、どの時代が最後の時代かを示そうとなさいました。あなたたちがそのような時代は見ないである

うが後の子孫たちが、その時代に生きてその時代を過ごすであろうと示しました。マタイ 24 章を見る必要があります。マタイ 24：4－8「そこでイエスは答えて言われた。『人に惑わされないように気を付けなさい。多くの者がわたしの名を名乗って現れ、自分がキリストだと言って、多くの人を惑わすであろう。』」多くの人が神を語り惑わし多くの偽預言者が起こると言いました。どうして多くの偽預言者たちから騙されるのでしょうか？多くの人は恐れて心に平安がないからです。希望を持つために何かにしがみつきたいと思っています。その時代というのはいい時代ではありません。「また、戦争と戦争のうわさとを聞くであろう。注意していなさい。あわててはいけません。それは起こらねばならないが、まだ終わりではない。」イエス様はなぜここでも終わりではないと仰ったのでしょうか？重要な事が起こらなければいけません。戦争と戦争の噂、地上歴史を振り返ると様々な戦争が起こりました。最後の時代の戦争はこれまでの戦争と異なってきます。核兵器を有しています。最終時代を生きるのは容易ではありません。イエス様は重要な事を言っています。「民は民に、国は国に敵対して立ち上がるであろう。またあちこちに、ききんが起こり、また地震があるであろう。しかし、すべてこれらは産みの苦しみの初めである。」この言葉を是非覚えて下さい。この時代にさらに何かが起こると言っています。世界のあちこちで疫病災害が起こると言っています。すべてこれらは産みの苦しみの初めであると言っています。最終時代にあつて悲しみの時代の始まりに生存していると皆さんは思われますか？家族崩壊があちこちで起こっています。疫病も。南アフリカに参りました時に、常にそこでは疫病への恐れがあります。中国でも、ヨーロッパでも、日本でも例外ではありません。アメリカの CDC という政府の機関の発表で、世界中で 244 種類の治すことのできない疫病が発生しているそうです。疫病がどこかで勃発したら何百万人の死者が出るそうです。過去にこのようなことが起こったことがありますか？そうなら私は考え方を換えなければなりません。「民は民に、国は国に敵対して立ち上がるであろう。」過去でもあちこちで戦争が起こりました。しかし次の部分はどうか？過去に起こったことがないのです。「またあちこちに、ききんが起こり、また地震があるであろう。しかし、すべてこれらは産みの苦しみの初めである。」その意味は、過去に地震が起こりましたね。疫病もありました。飢饉もありました。しかしかつては地震が起こって次の地震が何年か後に起こりました。しかしイエ

しみの初めである。」この言葉を是非覚えて下さい。この時代にさらに何かが起こると言っています。世界のあちこちで疫病災害が起こると言っています。すべてこれらは産みの苦しみの初めであると言っています。最終時代にあつて悲しみの時代の始まりに生存していると皆さんは思われますか？家族崩壊があちこちで起こっています。疫病も。南アフリカに参りました時に、常にそこでは疫病への恐れがあります。中国でも、ヨーロッパでも、日本でも例外ではありません。アメリカの CDC という政府の機関の発表で、世界中で 244 種類の治すことのできない疫病が発生しているそうです。疫病がどこかで勃発したら何百万人の死者が出るそうです。過去にこのようなことが起こったことがありますか？そうなら私は考え方を換えなければなりません。「民は民に、国は国に敵対して立ち上がるであろう。」過去でもあちこちで戦争が起こりました。しかし次の部分はどうか？過去に起こったことがないのです。「またあちこちに、ききんが起こり、また地震があるであろう。しかし、すべてこれらは産みの苦しみの初めである。」その意味は、過去に地震が起こりましたね。疫病もありました。飢饉もありました。しかしかつては地震が起こって次の地震が何年か後に起こりました。しかしイエ

ス様は最終世代には同じ時代同じ世代に同時に世界中のあちらこちらで起こると言いました。過去にそのような状況で飢饉疫病が起こったことがありますか？そうなら正直に私が皆さんに教えてきたマタイ 24 章の考えは間違っています。飢饉は洪水災害を含んでいます。飢饉が一つの場所で起これば別の場所で大水害が起こり多くの犠牲者が出ます。疫病は不治の病です。至る所で同時にこのようなことが起こります。この真実な事実をしっかりと受け止めましょう。このような状況が起こった時、人類の生みの苦しみの始めとなります。遅かれ早かれ世界中の多くが患難を通ります。病の苦しみにストレスとなります。世界中に食糧難があります。穀物の値段は暴騰する一方です。来年までには穀類が危機的状況を迎えるでしょう。豆類トウモロコシが不足します、水不足を日本の島国は経験します。海の水は飲めませんね。日本の水道設備は素晴らしいです。しかし水道からいつまでも水が得られるという信頼は得られません。疫病は人々を脅かしています。どうすればいいのでしょうか？驚くべき世界的問題に直面しています。ある日突然、水、穀類が世界で売られている武器よりも価値のある値段となるでしょう。皆さんが信じようと信じまいとこの世には希望がありません。遅かれ早かれ困難に直面しま

す。地震についてはどうでしょうか？日本に限られたものではなく世界中至る所で起こっています。韓国もまた地震の脅威にさらされて人びとは恐れおののいています。北朝鮮半島の火山がもし噴火したら、それによって地震が起こります。それが起こったら朝鮮半島の大部分が破壊されます。さらに日本の全土の半分が火山灰に覆われてしまいます。その結果は恐るべきものになるでしょう。科学者たちはこのような状況が数年以内に起こると言います。人々はこのようなことを話したがりませんが、真実なことです。日本の人々は朝鮮半島の火山が噴火しないように祈ってほしいものです。アフガニスタンの洪水をご覧になった方々がいると思います。33 万人の犠牲者が出ました。日本を襲った津波を私もビデオで見ました。信じられない程の驚きを覚えました。犠牲になった人々、家族のことをおもうと心が痛みました。聖書によれば最後の世代には世界中同時におこるとあります。イエス様の言われたことが真実ならばもしかしたら私たちの住んでいる時代が最終時代です。私は 37 年アメリカに住んでいます。アメリカの近代歴史も知っています。しかしアメリカで最近起こっている災害はかつて見られませんでした。様々な嵐や竜巻が起こっていて規模は増す一方です。本当に恐るべきものです。サンディー

というアメリカで起こった超大型ハリケーンを知っていますか？その被害に遭ったところは回復していません。ニューヨークのマンハッタンのあたりを襲いました。海水が飛んできて地下鉄に入ってきました。その結果多くの機械が破壊されました。完全に回復するのに10年かかると言われています。機械はもう治せません。嵐ひとつで大変な結果が起こったのです。ニュージャージーの海岸付近で大変な損失を与えました。アメリカ国民は信じられませんでした。多くの方が私の生涯でこのようなことを見たことがなく、祖父の時代にもこのようなことが起こったことはないと言いました。しかも科学者たちが今後もアメリカを襲うハリケーンは大規模なものだと言っています。イエローストーン国立公園というのがあります。毎時間大量の水蒸気が吹き上げられる場所があります。行ってみる価値のあるところです。このイエローストーン国立公園が一つの火山です。その火山の表面は薄くなっています。マグマが地下でぐつぐつしています。神様の恵みで噴火が抑えられています。神様の啓示をもっと多くの人々が理解できるようにマグマはとどめられています。その近辺ではお湯が沸き立っています。表面は非常に薄くなっています。科学者たちはなぜ噴火しないのだろうかと思議がっています。神様の恵みで

未だに留まっています。もし噴火したら広島に投下された原爆の1万倍の威力を持っているそうです。だとすればアメリカを全滅させる威力です。最終時代にいるといってもいいのではないのでしょうか？神様が天地の四隅を抑えています。私たちには時間がありません。人生を再吟味する時です。この悲しみの始まりに私たちは生存しています。

様々な自然を研究して、私は、これが最後の時代だと思います。それをみとめるかどうかはみなさん次第です。みなさんには自由が与えられています。しかし、よく考えてみてください。創造主の神とお会いすることを考えてみてください。私たちは天国に行って、ふらふら雲の周りを飛んで、暇な時間をすごすのではありません。天国は素晴らしいところです。永遠にわたって私たちの理解を拡張していくでしょう。みなさんがなさる決断、皆さんの家族や友人に影響を及ぼすでしょう。皆さんの自由ですが、もう一度考えなおしていただきたいのです。マタイ24：14「そして御国の福音は、すべての民に対してあかしをするために、全世界に宣べ伝えられるであろう。そしてそれから最後が来るのである。」こうしたことがこの世代に起こると言うのです。核戦争、北

朝鮮、イランについて考えてみてください。何ものかが興奮すると、本当に起こり得ます。私たちが時間をかけてもっと考えるようにイエス様は望んでおられます。北朝鮮の人達は信頼できませんね。私自身朝鮮半島のもですが、本当に悲しく思います。そういった状況で彼らが次何をするのか理解できません。祈っていききたいものです。こうした様々な事件が世の終わりをもたらすのですが、イエスが言われたことはこれです。マタイ 24:14 「そして御国の福音は、すべての民に対してあかしをするために、全世界に宣べ伝えられるであろう。そしてそれから最後が来るのである。」イエス様はそれから最後が来ると言われました。何が起こったら最後がくると書いてありますか？この御国の福音が全世界に伝えられたら最後がくるというのです。この御国の福音について2つのことをイエス様は言われました。1、全世界に伝えられること、2、全世界の人がそれを見るところ。全世界の人が福音の力を目の当たりにするでしょう。この時代にさまざまな驚くことが起こります。御国の福音が伝えられ、それから最後が来る。イエスが復活後天に行かれた後で、キリストの福音は一世代のうちに全世界に伝えられました。使徒パウロは30年後に「福音は全世界に伝えられた」と言いました。インターネットも

飛行機もない時代にそういうことが起こりました。30年の内におこりました。何がそれを可能にしたのでしょうか？聖霊です。2階で120人ほどの人々が集まっていたときに、このようなことが起こりました。さらに福音を聞いた人がまた出て行きました。昔の時代に福音があつという間に世界に伝えられました。アフリカで、ふるい十字架の絵を見たことがあります。トマスは中国の北京まで福音を伝えたと言う歴史的事実があります。私たちは悲しみの時代の始まりにいます。患難が世界のあちこちで起こっています。御国の福音があちこちで伝えられています。サタンはこの世代にイエスの御国の福音が伝えられることを知っているのです。世界の民がこの福音の力を目撃するでしょう。聖書の福音を学んでいようとしまいと関係ないのです。聖書のことばを大切にしていようとしまいと関係ないのです。神様が御言葉通りに成就していきます。御国の福音は全世界にのべつたえられるでしょう。それから最後がくるのです。

黙示録 14:6,7 「わたしは、もうひとりの御使いが中空を飛ぶのを見た。彼は地に住む者、すなわち、あらゆる国民、部族、国語、民族に宣べ伝え

るために、永遠の福音をたずさえてきて、大声で言った。(イエス様の言われた御国の福音は黙示録では永遠の福音とされています。永遠の福音とはどういう意味でしょうか？わたしは永遠にあなたを愛しているといえ、永遠に変わらない愛という意味です。永遠の福音は、永遠に変わらない福音ということです。皆さんごぞんじですか？永遠の福音ということばは多くの学者やクリスチャンに誤って理解されています。多くのクリスチャンは偽の福音を聞き、それを信じているのです。かれらの益にならない教えを聞いているのです。「主よ、主よ、私は教会で説教をしました。人々を癒しました。異言を語りました。長年教会で働きました。」復活の時に彼らはそういいます。イエス様が栄光の雲にかこまれるときイエス様に人々はそういいます。しかしかれらは暗闇に包まれてしまいます。将軍がいます。サタンです。よみがえった時に永遠に朽ちないからだを得たとおもったのですが。彼は生きていた間ずっとキリストの教会で説教をしていたのですが、彼のよみがえりの姿は前と同じく、病氣です。そして新エルサレムが天から下りイエス様が座っておられます。「主よ、わたしです。まちがっておられませんか？」イエス様は言われます。「私はあなたを知らない。私はあなたを愛して道案内をしてきた。しか

し、あなたは間違った福音を執拗に信じてきた。自分の考えに基づいた誤った福音を信じた。神様の道を選ばずに自分の自己中心的な道を選んできた。」「主よ、私です。間違っていないませんか？」) 7『神をおそれ、神に栄光を帰せよ。神のさばきの時がきたからである。天と地と海と水の源とを造られたかたを、伏し拝め』。』

□ 一マ 1：16、17「16 わたしは福音を恥としない。それは、ユダヤ人をはじめ、ギリシャ人にも、すべて信じる者に、救いを得させる神の力である。17 神の義は、その福音の中に啓示され、信仰に始まり信仰に至らせる。これは、『信仰による義人は生きる』と書いてあるとおりである。」この聖句を理解しなければなりません。多くのクリスチャンたちは間違っていて理解しています。福音は神の力です。聖書にかいてあるとおりの福音を信じて受け入れる時、皆さんを変えます。皆さんの心、思い、人びととの関係を変えます。罪の力から解放されます。習慣的な罪からも変えられます。皆さんを不幸にしてきたものから解放されるでしょう。福音はそういうものから皆さんを解放されるでしょう。誤った福音は、自分の罪を心配する必要はない。イエス様が十字架で解決したから。たとえ罪を犯し続けても心配ない。イエス様が十字架で死んで

くださったから。私は神の子だ。神をたたえよ。これは間違った福音です。多くの人々が偽預言者に欺かれているのです。福音とは罪から開放する神の力と聖書は教えています。イエス様に会う為に屋根から降り降ろされた中風患者に何と言われましたか？子よ、あなたの罪は許されたと言いました。それをきいた律法学者は「神を冒瀆している。人間が人間を赦すことができるだろうか？」と言いました。イエスは、私は神だから罪を赦す権利があると言われました。許されたと言うのと起きて床をあげて歩きなさいというのとどちらがたやすいか？中風の患者に言われました。起きて床をあげて歩きなさい。そのようになりました。家に帰りました。これが許しです。神が罪を赦されるとき、本当に許され、罪意識を取り除き、弱さを取り除き、サタンの力から解放してくださいます。クリスチャンとして立ち上がります。幸福感に満たされながら歩きます。勝利に次ぐ勝利を経験します。これがイエス・キリストの福音の力です。ただよき知らせだけではなく、皆さんを解放する力があります。家族の問題がありますか？友人との問題がありますか？皆さんが抱えてきた罪がありますか？高慢、利己心に振り回されていませんか？人間関係にあまりにも繊細で傷ついていませんか？テレビの番組を止め

られない状態ですか？性的な問題、憎しみ、皆さんの問題は何でしょうか？皆さんの不幸の原因は何ですか？神様をご存知です。イエス様に向かって叫んでください。あなたの福音の力を信じます。罪の縄目から解き放ってください。この御国の福音が皆さんを解放してくださいます。そのときみなさんは義人として変えられます。「ローマ8：1-2 こういうわけで、今やキリスト・イエスにある者は罪に定められることがない。2 なぜなら、キリスト・イエスにあるいのちの御霊の法則は、罪と死との法則からあなたを解放したからである。」 本当の意味で神様の許しを経験したいものです。罪が消されただけでなく心の罪の問題を解決し解放してくれる力を頂きたいですか？今このことをイエス様に尋ね求めて頂きたいと思います。サタンは偽の福音を持ち込んできました。心から皆さんに申し上げたいのです。ローマ6：12-14 「12 だから、あなたがたの死ぬべきからだを罪の支配にゆだねて、その情欲に従わせることをせず、13 また、あなたがたの肢体を不義の武器として罪にささげてはならない。むしろ、死人の中から生かされた者として、自分自身を神にささげ、自分の肢体を義の武器として神にささげるがよい。14 なぜなら、あなたがたは律法の下にあるのではなく、恵みの下にあるので、罪に支配される

ことはないからである。」恵みとは聖霊の働きです。牧師の働きをしていた時、教会でいい説教を語っていた時に真のクリスチャンではありませんでした。私は聖人のようにふるまっていました。教会の人は私のことを素晴らしいとほめたたえました。しかし私の心は本当のクリスチャンとなっていませんでした。真の状態は自分自身でよく知っていました。家庭では悪魔のように行動していました。心にはいろんな秘密の罪がありました。私はいつも妻と口論していました。怒りにまかせて子供たちをたたいていました。ある日私は神のみ前に罪の告白をしました。主よ、私は牧師であるのに、幸福感がありません。家族といっても幸せではありません。罪の力に翻弄されています。イエス様どうかどうか助けて下さい。そうでなければ死んでしまいます。サタンから救われたいのです。と正直に神様に向かって叫びました。そうしたら私の魂を救う働きを神様はしてくれました。当時私の魂は罪に支配されていました。しかし神の恵みによって罪から解かれました。聖書を心の底から研究しました。イエス・キリストの真の福音を理解することが出来、私の魂や妻や子供の魂を救ってくれました。本当の永遠の福音をのべ伝える牧師となることが出来ました。神様は今、真のクリスチャンを探しています。真の信者を集めています。真

の福音の力を信じている信者を集めています。その信者が短期間のうちに御国の福音を述べ伝えるのです。この悲しみの時代に、飢饉災害疫病の患難が世界中同時に起こる時代に御国の福音が述べ伝えられます。心から皆さんに言いたいのです。最後の時代に私たちは生きています。イエス様の預言のとおりです。現在永遠の福音が世界中に伝えられています。皆さんが耳を傾けて聞いたら聖霊が語ってくださいます。そうすれば皆さんの心が変わります。本当の意味において義人に変えられるのです。そのように変えられた人は神の戒めを完全に守ることが出来ます。皆さんのためにお祈りをしたいのです。今晚自分自身の心を誠実に再吟味できるように祈りたいのです。

一般公演 3

「獣の刻印」

デイビット・カン

殆どのクリスチャンは獣の刻印が何かということを知りたいと思っています。多くの憶測があります。獣の刻印はアドルフ・ヒットラーか、オサマ・ビンラディンと思っています。ある人は、オバマ大統領と思っています。クリスチャンの間ではもっとも話題になる預言です。聖書の預言は聖書でもって解釈しなければなりません。人間の考え、論理を当てはめてはいけません。聖書には理解できる鍵があるのでこれを知らなければなりません。また多くのクリスチャンは獣の刻印はマイクロチップを体に埋め込むことだと思っています。世界中にそう考えている人がいます。しかし、どうやって、これを理解したらよいのでしょうか？獣の刻印は地上のすべての魂におされようとするものです。避けることは出来ません。ある日、近いうちに、皆さんひとりひとりに迫ってきます。その時、神の印か、獣の印かどちらかを受けます。獣の刻印を押されることは、滅びにつながり

ます。知りませんでしたと言う人がいるかもしれませんが。しかし、神はこれについて研究する時間を十分にあたえるので、だれも弁解の余地はないでしょう。これはきわめて深刻な問題です。北に向かって運転しながら、南に運転しているんだと信じてても、実際に南に行くことはできません。まごころから南に行っていると思ってもだめです。これを一時間ではなすことは到底できません。出来るだけ早くしたいと思います。混乱するかもしれません。シートベルトをしてください。食欲が出る方法で話します。更なる研究の願望がでますように。その後サンライズミニストリーの牧師やスタッフに尋ねてください。忍耐強くついてきてください。少なくとも、基本的な預言の流れを見ることが出来ると思います。

獣の刻印です。もっとも興味深いトピックです。多くの方がこれを調べています。聖書における厳粛な警告のほとんどは、獣の刻印に関する預言です。獣の刻印とは何でしょうか？と私は人々に尋ねます。殆どの方が「それを受けなければいいんでしょ。」といえます。しかし、それが何であるかが分からなければそれを避けることは出来ません。獣の刻印の獣とは何でしょうか？黙示録 3：

22 「耳のある者は、御霊が諸教会に言うことを聞くがよい。」この奥義を解く知恵を聖霊からもらえることを願っています。

黙示録 13：11 – 18 「11 わたしはまた、ほかの獣が地から上ってくるのを見た。それには小羊のような角が二つあって、龍のように物を言った。12 そして、先の獣の持つすべての権力をその前で働かせた。また、地と地に住む人々に、致命的な傷がいやされた先の獣を拝ませた。13 また、大いなるしるしを行って、人々の前で火を天から地に降らせることさえした。14 さらに、先の獣の前で行うのを許されたしるしで、地に住む人々を惑わし、かつ、つるぎの傷を受けてもなお生きている先の獣の像を造ることを、地に住む人々に命じた。15 それから、その獣の像に息を吹き込んで、その獣の像が物を言うことさえできるようにし、また、その獣の像を拝まない者をみな殺させた。(黙示録 13章を研究すると、二つの獣の権力が登場します。一つは海から、第二は地から上ってきます。第二の獣が第一の獣に力を貸すことになります。第二の獣が全地の人々に獣の刻印を強制します。しかし、背後には第一の獣がいます。第二の獣が獣の像を作って拝ませます。獣の像とは第一の獣のことです。つま

り、第一の獣の権力を尊重しなければ、第二の獣が、その人たちを罰するということです。ですから、第二の獣は第一の獣のためにそのような行為にでるのです。) 16 また、小さき者にも、大いなる者にも、富める者にも、貧しき者にも、自由人にも、奴隷にも、すべての人々に、その右の手あるいは額に刻印を押させ、(興味深い聖句です。この獣の刻印というのは右手あるいは額におされるのです。頭にスタンプをおすのですか？違いますよね。この獣の教えを信じるならば、その刻印を押されると言う象徴です。しかし、その獣の教理を信じずに同意しなくても圧力に負けて屈するなら、右手にその刻印を押されます。ローマ帝国に刻印を押されたのは、奴隷や軍人でした。彼らには自由がありませんでした。) 17 この刻印のない者はみな、物を買うことも売ることもできないようにした。この刻印は、その獣の名、または、その名の数字のことである。(ここである一つ単純なことを理解しなければなりません。獣の刻印とは何であるかということです。ある人は、バーコード、皮膚に埋め込まれるマイクロチップ、またはクレジットカードだと思っています。しかし、聖書はそういいていません。まちがった憶測です。人間の理論に耳を傾けず、聖書の神の御言葉を聞かなければなりません。これは獣の名、または名の数字と

書いてあります。バーコードはこの記述にそいません。第一の権力のことで。第一の獣の名から数字を出す必要があります。) 18ここに、知恵が必要である。思慮のある者は、獣の数字を解くがよい。その数字とは、人間を指すものである。そして、その数字は六百六十六である。」(知恵が必要です。思慮のあるものは獣の数字を解くがよい。それは人間を指す。これはクレジットカードでも、マイクロチップでもない。これは人間の名の数字です。666。人間の憶測によって、多くのクリスチャンが混乱しています。南に向かっていながら、自分は北に向かっていていると思っている人と同じです。何かをまごころから信じて、まごころから間違っているのです。)

番兵は寝ずの番をします。民衆を守るために守りの番をします。敵が来たら、真っ先に町の人々に知らせる責任があります。火事があったら、人びとに警告する責任があります。みなさんはその責任があります。この地上のすべての魂にかかわる問題です。目を閉じて私は知らないと言うことは出来ません。それから逃れることはだれもできません。獣の刻印とは何か、まず獣とは誰でしょうか？

黙示録 13 章の獣を特定する九つのポイント

1. それは、ヨーロッパにおけるローマ帝国の分裂後に起こる。
2. それは、宗教的権力をふるう。
3. それは、神を大いに冒瀆する言葉を吐く。冒瀆とは何か？私は神である。罪を赦す権威があるといえればこれは冒瀆です。
4. それは、政治的権力をふるう。それは教会権力でありながら聖徒を政治的権力で、迫害する。
5. それは、聖徒たちを迫害する。それは神の民を迫害します。
6. それは、1260日のあいだ支配する。1260年間迫害しました。
7. それは、十戒を変えようと試みる。十戒を変えました。
8. それは、死ぬほどの傷から復活する。この権力は一度剣によって死んで、後に、復活し、人びとの尊敬を得ました。これだけの証拠があるのに、なぜ多くの人々が推測して誤った理解をしているのでしょうか？それは聖書を研究しないからです。
9. それは、名に 666 の数字を帯

びている。ダニエル7章に興味深いものがあります。全部読めませんが、後で読んで、確認してください。ダニエル書は旧約聖書の預言の書で、黙示録は新約聖書の預言の書です。

ダニエル書7章には黙示録13章の獣の描写があります。ダニエル7章ではダニエルが4つの獣が登場するのを見るのです。第一は鷲の姿。これはバビロニア帝国。第二はクマの姿。三本肋骨をくわえていた。片方があがっていた。これは、メド・ペルシャをあらわして、一方が他方より権力があつたことをあらわしています。第三は、ヒョウ。これはアレキサンダーがものすごいスピードで帝国を築いていった様子です。さらに羽が生えているので、とても速かったということです。聖書の幻で、頭というのは王を表しています。この帝国には4つの頭があつたので、4人の王がいたのです。アレキサンダーがインドまで征服した時、これ以上征服する場所がないと言って酒を飲み過ぎて死んでしまいました。まだ33歳でした。死ぬ前に将軍たちは彼に聞きました。「今死んだら、だれがこの帝国を継ぐのですか?」「最も強いものが継ぐだろう。」そして、4人の将軍が継ぎました。第四の獣は恐ろしい姿でし

た。鉄の歯を持っていました。人々を八つ裂きにしました。これはローマ権力以外の何ものでもありません。イエス様はローマ兵によって十字架につけられました。この獣から10の角が生えてきました。これはローマ帝国から10の国が出てきたということです。そして、3つの角がおちて、小さな角が出てきました。この角は神を冒瀆する大言を吐きました。他の角とは異なっていました。これは神の民を迫害する宗教権力でした。ダニエル7章を読み進めると、この小さな角のことがさらに詳しく書かれています。24節にこう書かれています。「十の角はこの国から起こる十人の王である。その後にもまたひとりの王が起こる。彼は先の者と異なり、かつ、その三人の王を倒す。」これは宗教権力でありながら、政治権力であり、他の3つの権力を倒したのでした。この小さな角の権力に対抗した3つの地域は結局制圧されて倒されたのでした。25節によると、「彼は、いと高き者に敵して言葉を出し、かつ、いと高き者の聖徒を悩ます。彼はまた時と律法とを変えようと望む。聖徒はひと時と、ふた時と、半時の間、彼の手に渡される。」かれは特に礼拝の時を変えます。黙示録13章を見ると、第一の獣がこのような様子で出てきます。この水から出てきた獣の権力を研究すると、ヨーロッパから出てきたということが分かり

ます。宗教改革者たちもまた、同様の解釈をもっていました。私の意見ではなく、先の宗教改革者たちによって確立された解釈です。この豹のような獣は七つの頭で、十の角、頭はしし、鉄の爪。ダニエル7章の4つの獣の性質をすべて持っています。これらはヨーロッパからでてきました。バビロン、メド・ペルシャからではなく、ギリシャからではなく、ローマ帝国から出てきました。実際、ローマ帝国は10の帝国に分裂しました。どうしてそのことが分かるのでしょうか？聖書の預言の記述を研究すると解ってきます。週末時代に獣の刻印が強要されるということはこの獣と関係があります。冠はどこにありますか？7つの頭に乘っかっているのですか？角の上にありますか？ダニエル7章の獣の頭を足すと、 $1 + 1 + 4 + 1 = 7$ つの頭です。しかし歴史によると、ローマ帝国は10の国に分裂します。そのとき、黙示録13章の第一の獣が出てきます。ローマ帝国が滅びて10の国に分かれて、黙示録の獣がでてきたのです。急いでやっていますが、ついてきてくださいね。預言の細々なことではなく、大きな流れを理解してください。

聖書に立ち返った宗教改革者たちはローマ法王を反キリスト

と呼びました。宗教改革者たちは黙示録13章の第一の獣は法王であると同意しています。そして法王を不法のものと呼んでいます。しかし、多くのプロテスタント教会はその態度を翻してしまいました。ジョン・ウィクリフはいいました。「法王は、この地上における反キリストである。」マルチン・ルターはいいました。「私は聖書の言葉を味方につけてはいたが、あえて法王に対抗してたった一人で立ち上がり、彼は反キリストであるとの立場をとることには、・・・どれほどの痛みを伴ったことか！」「キリストが、ご自身の無謬のみことばにより、これらの疑念に対して私の心に要塞を築いてくださるまで、私は自分自身、またサタンと戦いつづけた。」

「ベリサリウスの軍事的な保護の下、・・・ヴィジリウスが法王の座についた（西暦538年）。」キリスト教会の歴史3巻、327ページ

彼らは法王に権力を与え、軍隊も持たせました。聖書は極めて正確なのです。そして反キリスト教の権力は西暦538年に確立されました。それから1260年間、1978年まで権力が続きました。聖書の預言が正確に成就しました。

アメリカ大百科事典にこう書かれています。「1798年、ベルティエ将軍がローマに侵攻。法王教を粉砕し、新たな政体を確立した。」聖書の預言通りに死ぬほどの傷を受けたのでした。1260年間権力をふるったあいだ、法王権は多くのクリスチャンを殉教させました。火あぶりにされたり、猛獣に殺されたりしました。黙示録13章には第二の獣が地から上って来ます。水は人々を表します。ローマ法王は多くの人々がいたヨーロッパから来ました。しかし第二の獣はあまり人々のいないところからきました。地から上ってきたのでした。第一の獣は恐ろしい獣でしたが、第二の獣はおとなしそうで、小羊のように温厚でおとなしいのでした。子羊というのはキリストをも表しています。この国はイエス・キリストの教会、クリスチャンの特徴で建国されました。二つの角がありました。一人の王もいませんでした。共和制を取っていました。こういう生き物を見たことありますか？バッファローですね、これはアメリカ合衆国にしかいません。バッファローの赤ちゃんは小羊にそっくりです。もしかしたら、黙示録にヨハネが見た、子羊に似たと書いてある動物はバッファローかもしれない。アメリカは聖書の原則にのっとって建国しました。この獣は第一の獣が傷を受けたところに現れたのでした。アメリカは

1776年に建国しました。第一の獣が傷を受けたのは、1798年でした。

1929年2月11日ラテラン条約のときに第一の獣は癒されました。ムッソリーニがローマ教会に108エーカーの土地を与え、バチカンが建国されました。「そこで、全地の人々は驚きおそれて、その獣に従い・・・」黙示録13:3

多くの人々は法王を恐れ、従おうとしています。先月、新しい法王が選出されました。南米アルゼンチンから選出されました。フランシスコ1世という名となりました。史上最初のイエズス会出身の法王です。全地の人々は驚き恐れると書いてあります。「われわれは、地上で、全能の神の座につくものである。」法王レオ13世

冒流ではないでしょうか。ローマの司祭たちに罪を告白するように指導されます。獣の刻印はなんでしょうか？運転免許？マイクロチップ？クレジットカード？バーコード。ゴマの種よりも小さいマイクロチップ。

日曜日 曜日の訪問者 1945年4月18日によると「法王の公式名は、ビカリウス・フィリ・デイである。」聖書はこの数字は人間の数字と書いてありました。これらの預言の特徴がすべて法王に当てはまるのです。歴史上多くの法王がいました。法王をあらゆる公式を数字に直すと、Vというのは5をあらわします。Iは1です。こうして、計算すると、

Vicarius Filee Dei

ビカリウス・フィリ・デイは、神の代理人という意味です。これを全部足すと、666です。これは人間を指す数字です。興味深いですね。

獣の刻印は字義通りか、それとも象徴的か？

獣—霊的象徴、像—霊的象徴、名前—霊的象徴、数字—霊的象徴、封印—霊的象徴、ならば、刻印も—霊的象徴です。獣の刻印の主な争点は礼拝です。第一の獣を拝まなければ、売ったり買ったりできないぞというのです。黙示録4:11「われらの主なる神よ、あなたこそは、栄光とほまれと力とを受けるにふさわしいかた。あなたは万物を造られました。御旨によって、万物は存在し、また造られたのであります。」創造主

だけが、私たちの礼拝を受ける権利があります。人間の権威ではありません。十戒はローマによって変更されました。礼拝日の変更4条の変更。第一条の変更マリヤ、赤ん坊イエスの像。この写真で十字架についているのはイエスではなくマリアです。間違った教えがなされています。聖人の彫刻が飾られています。神は彼らを聖なる者として聖別するように命じられたことはありません。ローマ・カトリック教会は、獣の刻印について何と言っているのでしょうか？ギボンズ枢機卿

1895年11月11日「無論、カトリック教会は、変化は自らの行為によるものであったと主張するものである。他の方法では起こり得ないし、教会が行動しなければ、当時の人々が、霊的また教会の、そして宗教的な事柄において何らかの行動を起こそうとは、夢にも思わなかったであろう。そしてその行為が、宗教の事柄においては、カトリック聖職者に権威があることのあるし〔印〕なのである。」何と言っているのですか？カトリックが礼拝日を第7日から第一に変更し、それが印であると自ら言っているのです。第4条の変更です。礼拝日を変更しているのです。カトリックの枢機卿は日曜日がカトリックの権威の印と言っているのです。カトリックの記録文書 1923年9月1日「教会は、聖書の上に位置する。そして、この安息

日を日曜日に移したことは、その事実を裏づける証拠である。あなたが教会の権威を否定するならば、神の戒めの第三条（プロテスタントの第四条）における土曜日を日曜日に取って代わらせたことを、適切に、または道理にかなって説明したり、正当化したりすることはできない。」なんという大胆な主張でしょう。我々が神の律法を変えたとはばからないのです。神の律法を変えて、礼拝日を土曜日から日曜日に変えたといい、偶像を拝ますようにしました。彼らは言います。プロテスタントはわたしたちの権威の印である日曜日を守っているではないか。日曜日を教えている聖句はどこにもありません。しかし彼らが礼拝日を変更しました。

「日曜礼拝こそは、われわれの権力のしるし〔印〕である。」カトリックの記録文書 1923年9月1日

しかし、聖書は十戒第4条でこのように述べています。「安息日を覚えて、これを聖とせよ。……主は六日のうちに、天と地と海とそのなかのすべてのものを造って、七日目に休まれたからである。それで主は、安息日を祝福して聖とされた。」出エジプト記 20：8， 11

「わたしはまた彼らに安息日を与えて、わたしと彼らとの間のしるしとした。これは主なるわたしが彼らを聖別したことを、彼らに知らせるためである。」エゼキエル 20：12

私たちが人間のいましめではなく、神の戒めにしたがうように命じておられます。

ヨハネ 14：15「もしあなたが私を愛するなら、私の戒めを守りなさい。」

I ヨハネ 5：3「神を愛するとは、すなわち、その戒めを守ることである。そして、その戒めはむずかしいものではない。」

神の戒めの中央には、神の印が押されています。

印は権威を証明するものです。これはアメリカ大統領の印です。名前と称号が書いてあります。第4条にも名前と称号がかかれています。創造主なる神。第4条には神の権威の印が押されているのです。イエス様は言いました。ヨハネ 14：15「もしあなたが私を愛するなら、私の戒めを守りなさい。」

ペンギンがみんな海に飛び込む写真—集団思考〔所属する集団の支配的な意見や考えに同調しがちなこと〕

私たちの韓国人の協力者が日本にいました。運転をしていました。世界の多くの国ではたいてい右側通行です。彼女が日本で運転をはじめたとき、彼女は右側を運転してしまいました。すると、周りのひとびとが警笛をならして彼女に知らせました。しかし、彼女は彼らが間違っていると思って警笛をならしました。あとで気が付いて彼女は謝りました。韓国人の女性の方がまちがっていたのです。聖書の正しい日に礼拝するならば、間違った日に礼拝してますよといわれるでしょう。しかし、聖書は第7日を礼拝しなさいと述べています。

現代の真理—その世代の人々を試験する真理

神さまを真剣に信じていながら、神様が命じる通りに行動をしなければ、たとえ、まごころから信じていたとしても滅びてしまうのです。ノアの時代の人々はノアを馬鹿にしました。ほんとうに嵐がきたとき、もはや人々は彼をあざわらうことはできませんでした。

バプテスマのヨハネの時代における人を試みる真理

われわれの先祖は子々孫々こうして

きたんだとして神の子を受け入れなかったらどうでしょうか？

へネディクト 16 世です。ヨハネパウロ 2 世が亡くなった時、国々の要人が参列しました。国々はカトリックに従うでしょう。これはカトリックのシンボルです。「混沌からの脱出」と書いています。あたらしい秩序が必要だと訴えています。これはオサマ・ビンラディン氏です。彼が世界に混乱をおこし、世界に秩序が必要だと言う世論を作る助けをしました。彼はフリーメーソンであったそうです。1 ドル紙幣のオベリスク、バチカンのオベリスク、ワシントン DC のオベリスク、みな同じです。これは太陽礼拝の象徴です。これはフリーメーソンのシンボルです。世界秩序を目指しています。これはワシントン DC です。これはワシントン DC の上空写真です。道路がフリーメーソンのシンボルにデザインされています。これはバチカン市の衛星写真です。何が見えますか？カギです。法王は天と地のカギを解くと主張しています。

賢い乙女たちは油を持っていませんでした。おろかな乙女は持っていませんでした。教会へ行くとき聖書を持っていきますね。皆さんが持っていたのは自分で持っていたもので

はなく、教会からもらったものでした。教会からはみだしたものは救ってくれません。その時に余分の油を持っていなければなりません。自分で聖書を研究しなければなりません。闇の中を進むことが出来るようにして下さい。そのような聖霊の油を持っていますか？ネブカデネザルは多くの人々に金の像を拜むように強要しました。人々はここにつどって像を拜むように強要しました。3人のヘブルの青年はその像を伏し拜むのを拒みました。すべてのユダヤ人、権力者たちが強要されたのに、この3人は拜みませんでした。なぜでしょうか？神様が第2条で偶像を拜んではならないと言っておられるからです。かれらは神を愛していたから、そのようなことをしませんでした。神様の戒めのみに従ったのでした。今後、別の像が建てられます。拜まなければ売り買いが禁じられて売り買いが出来なくなります。このことを真剣に考えて下さい。あなたは誰を拜むか、人間を拜むのか、神を拜むのか？彼ら自身が日曜日は彼らの権威だといっているのです。多くのクリスチャンが聖書を研究しないがゆえに正しい理解をしていないのです。多くのクリスチャンが牧師や神学者たちに耳を傾け過ぎているのです。バビロンの3人の周りの人々は「君たちも頭を下げなさい。一度だけやれば、無事に帰れるのだ。」と言

いました。彼らはその勧告に従いませんでした。彼らは死ななければならないのなら死にます。神様は私たちに救ってくださるのだから、神様だけに従います。彼らの間にはイエス様がありました。王は言いました。3人の人しか火の中に入れなかったのに、第4の神の様な人がいる。彼らは火の中から呼び出されました。衣も焼けていませんでした。焼けていたのは彼らを縛っていた縄だけでした。神様の戒めに愛によって従うとき真の平安幸福を味わうことが出来るでしょう。律法に従う時に、真の自由があります。世俗の権力からの自由です。イエス様はこの地球を見下ろしています。ヨーロッパのキプロスで何が起こっていますか？政府が個人の銀行預金を抑えたのです。遅かれ早かれ、他の国々にも飛び火するでしょう。金融システムがいまにも破綻しそうになっているのです。このような中で獣の刻印が発布されるでしょう。ローマ権力がもう一度権力をふるう時が来ています。災害が勃発しています。みんなが教会へ行こうと考えるようになります。そして、教会が権力をふるうでしょう。中世時代に実際に起こりました。神の戒めをやぶることであると彼らは宣言するので迫害されるでしょう。神の権威ではなく、人間の権威に服従する人々が現れるそして獣の刻印を押される。少数の人々だけが神の印を押さ

れる。この危機にあって、神様だけに忠誠をつくす人々。このような事件が間もなくやってくるでしょう。イエスがこのような人々を助けるためにやってくるでしょう。獣の刻印ではなく、神の印を皆さんがうけるように願っています。獣の刻印を押されると、7つの災害で被害を受けると言われています。聖書を研究してください。神様はみなさんや、家族を救おうとしておられるのです。祝福がありますように。

<了>